

地球温暖化に関するアンケート調査結果報告書

(市民・事業者)

令和3(2021)年 12月

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 市民へのアンケート集計結果	3
3.1 回答者の属性	3
3.2 地球温暖化による影響拡大への認識（問4、問5、問6）	4
3.3 日常的に行っている地球温暖化防止の取り組み（問7）	8
3.4 国の「温室効果ガス実質的排出量ゼロ」宣言による取り組み姿勢の変化（問8）	13
3.5 電力小売全面自由化を受けての自宅の電力会社の変更について（問9、問10）	14
3.6 太陽光発電システムの導入について（問11、問12）	16
3.7 自動車の保有状況について（問13、問14）	20
3.8 地球温暖化防止に関連する言葉の認知状況（問15）	23
3.9 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための手法（問16）	24
3.10 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策（問17）	27
4. 高校生へのアンケート集計結果	29
4.1 回答者の属性	29
4.2 地球温暖化による影響拡大への認識（問2、問3、問4、問5）	29
4.3 日常的に行っている地球温暖化防止の取り組み（問7）	33
4.4 国の「温室効果ガス実質的排出量ゼロ」宣言による取り組み姿勢の変化（問7）	35
4.5 地球温暖化防止に関連する言葉の認知状況（問8）	36
4.6 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための手法（問9）	37
4.7 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策（問10）	39
5. 高校生及び市民のアンケート集計結果比較	40
5.1 地球温暖化による影響拡大への認識	40
5.2 日常的に行っている地球温暖化防止の取り組み（問6）	43
5.3 国の「温室効果ガス実質的排出量ゼロ」宣言による取り組み姿勢の変化（問7）	45
5.4 地球温暖化防止に関連する言葉の認知状況（問8）	46
5.5 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための手法（問9）	47
5.6 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策（問10）	48
6. 事業者へのアンケート集計結果	49
6.1 回答者の属性	49
6.2 地球温暖化防止の取り組みをどのように位置づけているか（問5）	51
6.3 温室効果ガス排出量の削減に向けて、削減目標や方針を定めているか（問6）	54
6.4 事業所において取り組んでいる地球温暖化防止の取り組み（問7）	56
6.5 国の「温室効果ガス実質的排出量ゼロ」宣言による取り組み姿勢の変化（問8）	59
6.6 自動車の保有状況について	61
6.7 電力小売全面自由化を受けての自宅の電力会社の変更について	66
6.8 再生可能エネルギーを利用した設備、機器の導入について	69

6.9 「ZEB」、「BEMS」、「FEMS」の導入状況（問16）	73
6.10 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための手法（問17）	74
6.11 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策（問18）	75
7. アンケート調査票	77
7.1 市民アンケート調査票	77
7.2 高校生アンケート調査票	86
7.3 任意事業者アンケート調査票	92
7.4 枚方市地球温暖化対策協議会の事業者アンケート調査票	99
8. 自由回答一覧	107
8.1 市民アンケート調査	107
8.2 高校生アンケート調査	124
8.3 事業者アンケート調査	129

1. 調査の目的

枚方市では2018（平成30）年度に策定した「枚方市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の計画期間が2022（令和4）年度に終了することから、新たな計画の策定に取り組んでおり、その計画策定にあたって市民や枚方市内の高等学校に通う学生、事業者の地球温暖化に対する考え方や取組状況などを把握し、参考にすることを目的に実施した。

2. 調査概要

アンケート調査概要は以下のとおり。

表 2.1 市民アンケート調査概要

	市民アンケート
対象	市民3,000人 (※市に住民登録がある18歳以上から無作為に抽出)
調査方法	直接郵送法 (回答は郵送又はWebを選択)
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・ 属性・ 地球温暖化影響の拡大認識・ 地球温暖化対策の必要性認識・ 日常的地球温暖化防止の取り組み・ 国の宣言による取り組み姿勢変化・ 電力小売自由化による電力会社変更・ 太陽光発電システムの導入について・ 自動車の保有状況について・ 地球温暖化防止関連語の認知状況・ 地球温暖化対策関連情報の取得手法・ 市に期待する地球温暖化対策
実施時期	令和3年8月27日(金)～9月10日(金)
回収率	59.3% (1,780人)

表 2.2 高校生アンケート調査概要

高校生アンケート	
対象	市内高校生 4,866 人 回答数 2,074 件
調査方法	直接配布（回答は「学校回収」または「Web」を選択）
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 属性 ・ 地球温暖化影響の拡大認識 ・ 地球温暖化対策の必要性認識 ・ 日常的地球温暖化防止の取り組み ・ 国の宣言による取り組み姿勢変化 ・ 地球温暖化防止関連語の認知状況 ・ 地球温暖化対策関連情報の取得手法 ・ 市に期待する地球温暖化対策
実施時期	令和3年8月25日(水)～11月16日(火)

表 2.3 事業者アンケート調査概要

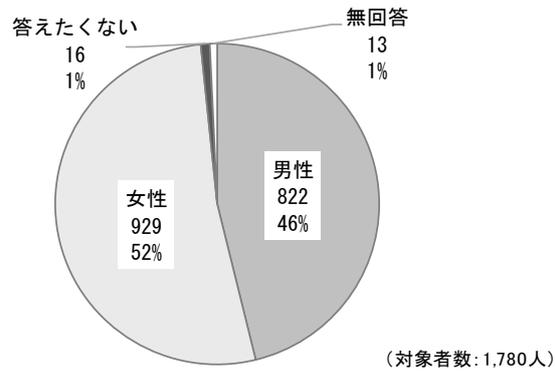
事業者アンケート		
対象	市内事業者 200 社 (※市内の事業者から無作為に抽出)	市内事業者 128 社 (※地球温暖化対策協議会に入会している企業)
調査方法	直接郵送法	インターネット (一部事業者は郵送)
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 属性 ・ 地球温暖化防止の取り組み位置づけ ・ 温室効果ガス排出量削減目標等設定 ・ 地球温暖化防止の取り組み ・ 国の宣言による取り組み姿勢変化 ・ 自動車の保有状況について ・ 電力小売自由化による電力会社変更 ・ 再エネ利用設備等の導入について ・ ZEB、BEMS、FEMS の導入状況 ・ 地球温暖化対策関連情報の取得手法 ・ 市に期待する地球温暖化対策 	
実施時期	令和3年8月27日(金)～9月10日(金)	
回収率	40.5% (81 事業所)	39.8% (51 事業所)

3. 市民へのアンケート集計結果

3.1 回答者の属性

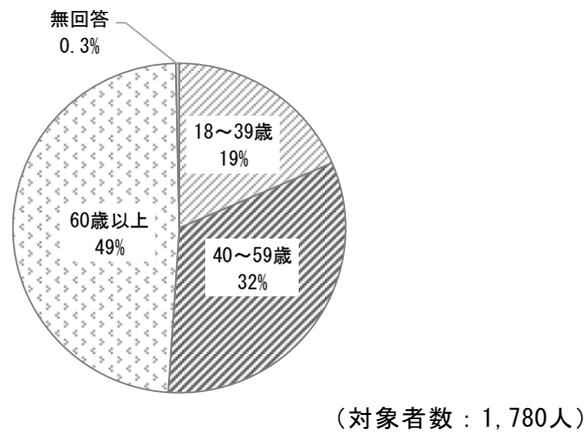
■性別（問1）

性別による大きな違いは見られなかった。



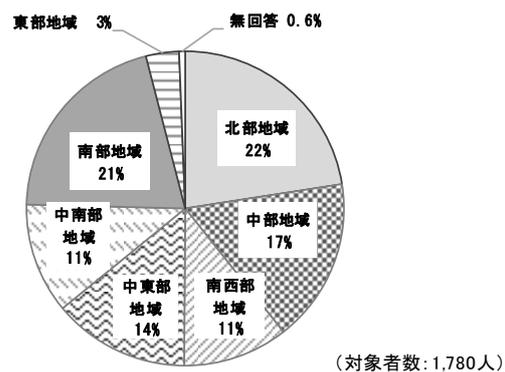
■年齢（問2）

回答数は、「60歳以上」（全体の49%）、「40～59歳」（32%）、「18～39歳」（19%）の順に多かった。



■居住地域（問3）

地域別で比較すると、極端に回答数の少なかった東部地域を除き、各地域で11～22%の回答率であった。



3.2 地球温暖化による影響拡大への認識（問4、問5、問6）

（1）地球温暖化による影響が拡大していると思うか（問4）

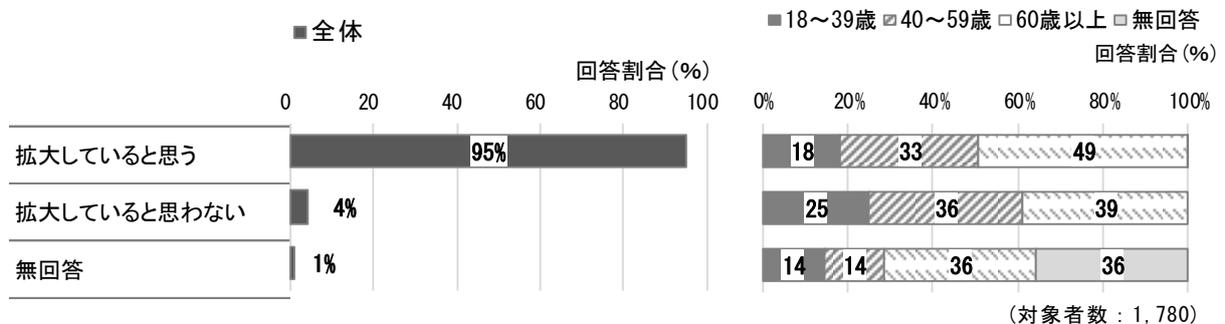
■全体

「地球温暖化による影響が拡大していると思うか」について聞いたところ、全体で大部分の95%が「拡大していると思う」としていた。

■年齢区分

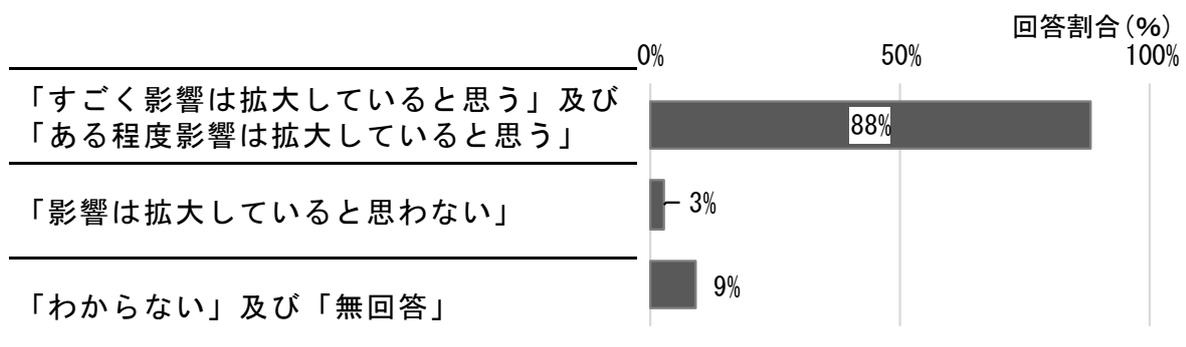
「拡大していると思う」の回答について、その年齢区分の構成は全体の「年齢別」結果と同程度で、「60歳以上」（全体の49%）、「40～59歳」（33%）、「18～39歳」（18%）の順に多かった。

「拡大しているとは思わない」の回答における年齢区分の順位は全体結果と同様ではあるが、「拡大していると思う」よりも「18～39歳」の回答数が多い傾向にあった。



■前回調査との比較

前計画の策定時に調査した結果と比較したところ、「影響は拡大していると思う」の回答は88%であり、今回の調査結果より回答が少なかった。今回の調査結果よりも、「わからない」及び「無回答」と答えている方が多かった。



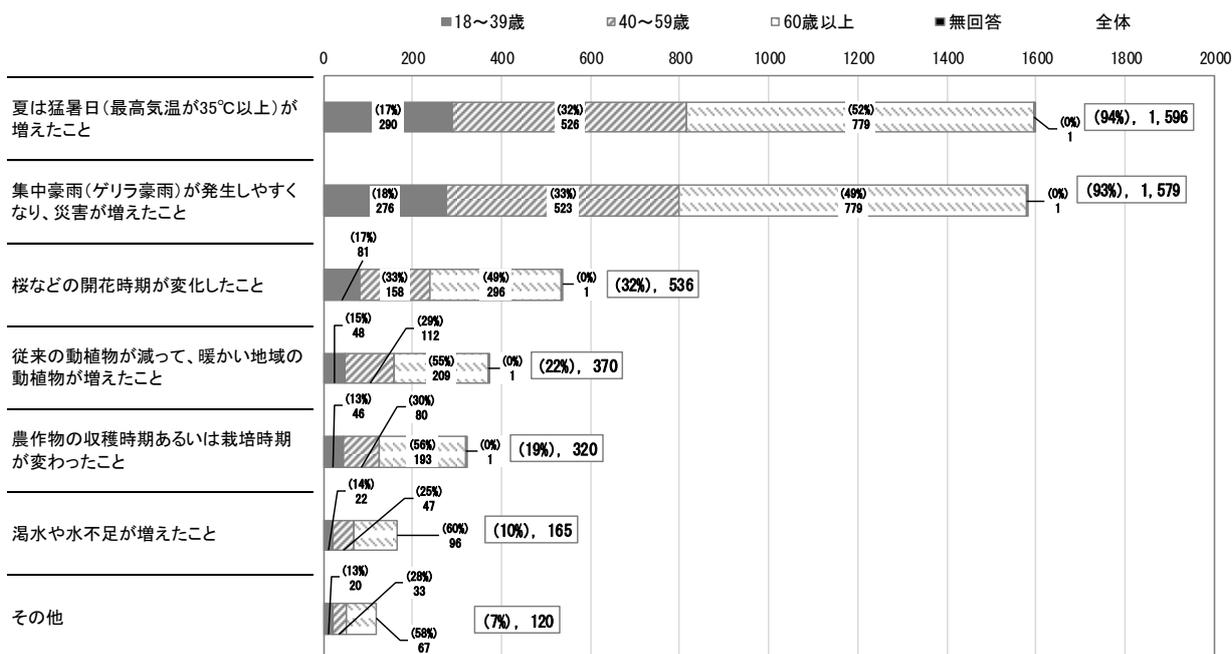
(2) 地球温暖化による影響が拡大していると思う理由（問5）

■全体

地球温暖化による影響が「拡大していると思う」と回答された場合の理由としては、「夏の猛暑が増えたこと」94%、「集中豪雨が発生しやすく災害が増えたこと」が93%で高かった。

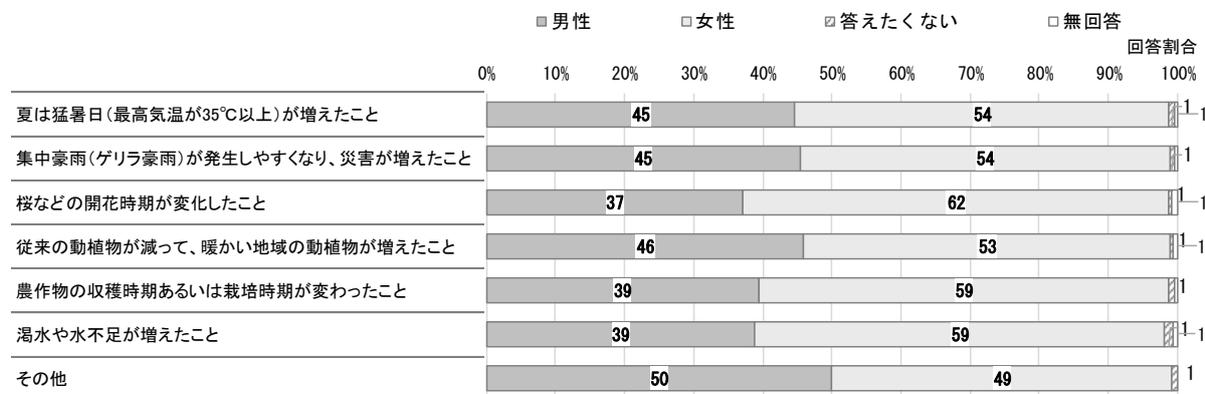
■年齢区分

年齢別では「70代」において、「桜の開花時期の変化」、「農作物の収穫時期等の変化」、「渇水や水不足」などを、「60代」において「動植物の分布変化」を理由とする率が高かった。



■性別区分

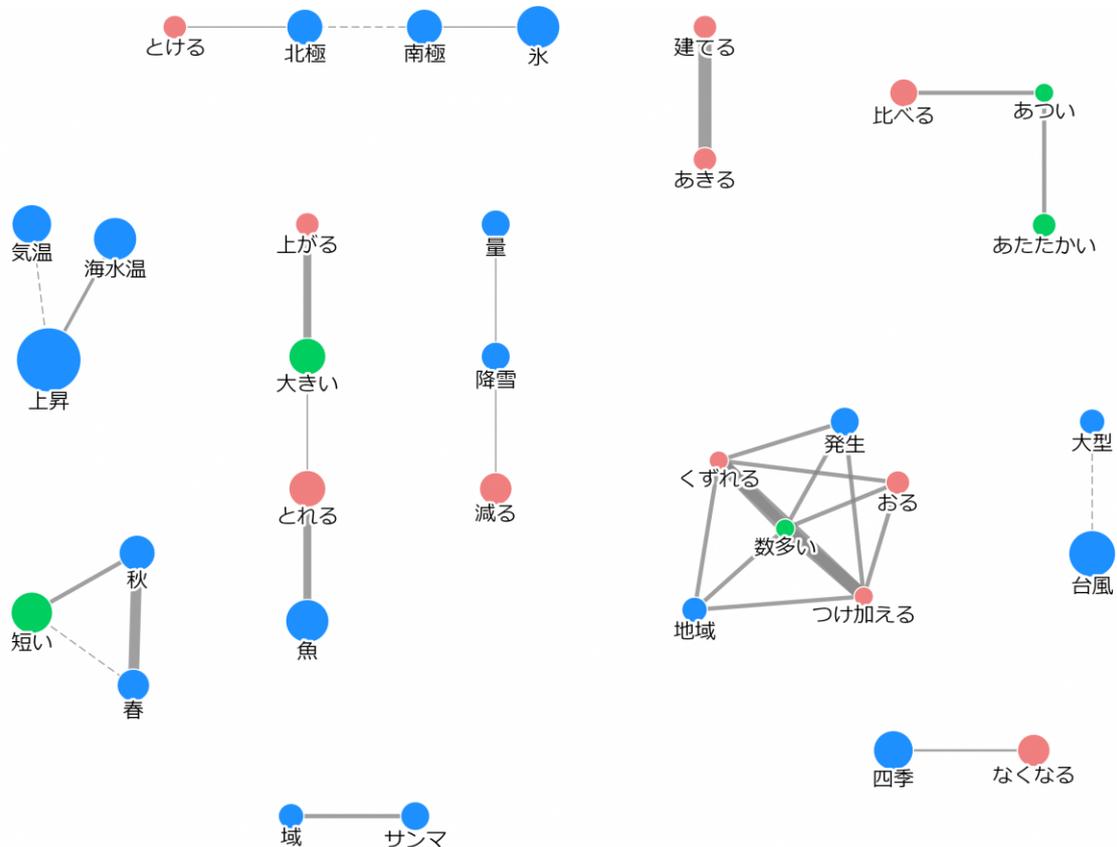
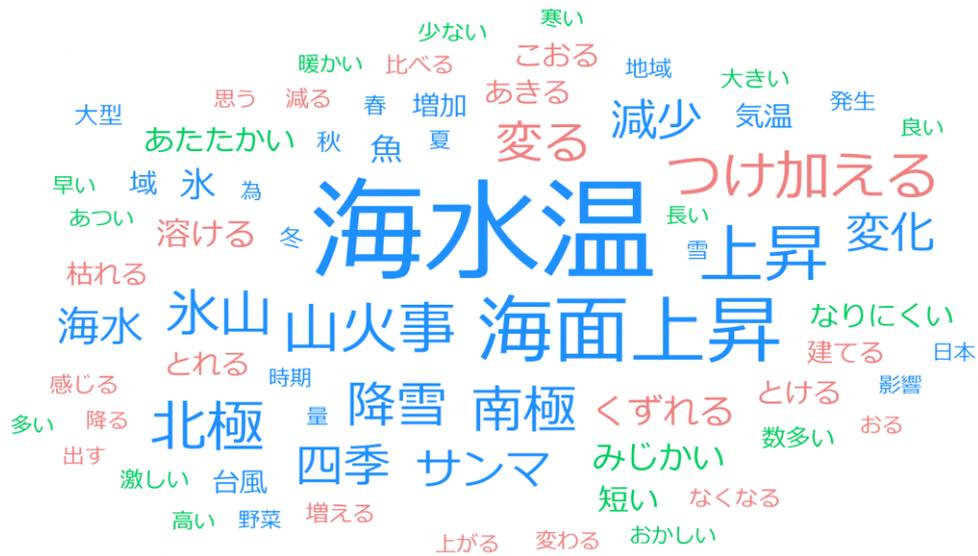
性別で見ると全体で32%の「桜などの開花時期が変化したこと」において、「女性」の方が理由として挙げる率が高かった。



【地球温暖化による影響が拡大していると思う理由（問5の自由回答）の概要】

地球温暖化による影響が「拡大していると思う」と考えた理由の自由回答を、テキストマイニングを用いて解析した。

海を中心にした内容で、海水温の上昇や氷河の融解について変化を感じる人が多く、漁獲量に関して心配する意見も見られた。「四季がなくなる」といった季節に関する意見も多数あった。



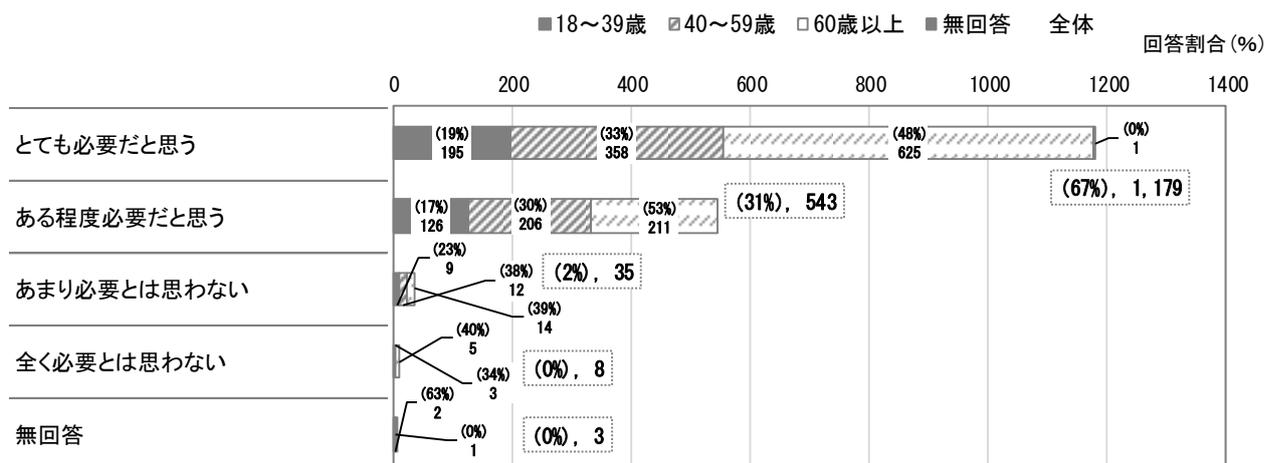
(3) 地球温暖化対策は必要だと思うか（問 6）

■全体

「地球温暖化対策は必要だと思うか」の質問に対しては、「とても必要だと思う」との回答が最も多く全体で67%、「ある程度必要だと思う」と併せて98%が「必要だと思う」としていた。

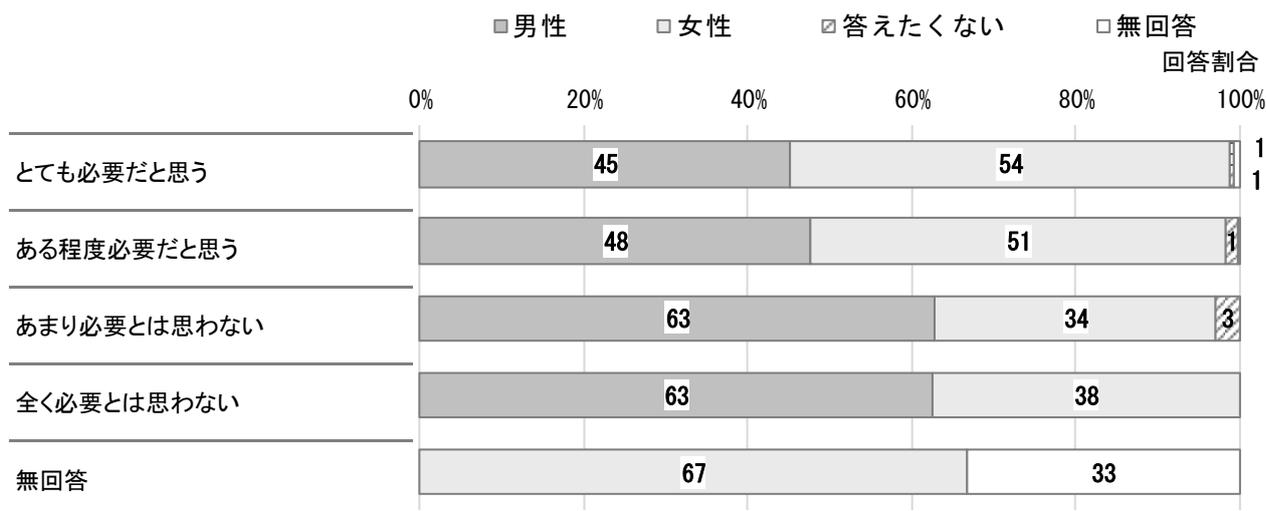
■年齢区分

年齢別では「60歳以上」において「とても必要だと思う」とする傾向が高く、「18～59歳」では「ある程度必要だと思う」とする傾向が高くなっており、この2項目を合わせた「地球温暖化対策は必要だと思う」の割合は全体の98%となった。



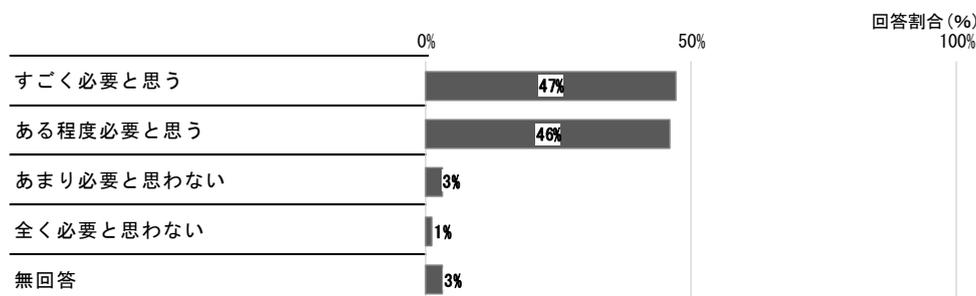
■性別区分

性別では「あまり必要とは思わない」との回答が、「男性」に比較的多く見られる傾向があった。



■前回調査との比較

前計画の策定時に調査した結果と比較したところ、「すごく必要と思う」の回答は47%、「ある程度必要と思う」の回答は46%となった。「すごく必要と思う」の回答については、今回の調査結果の方が大幅に回答が多くなっており、地球温暖化対策の必要性を多くの市民が感じていることがわかる。

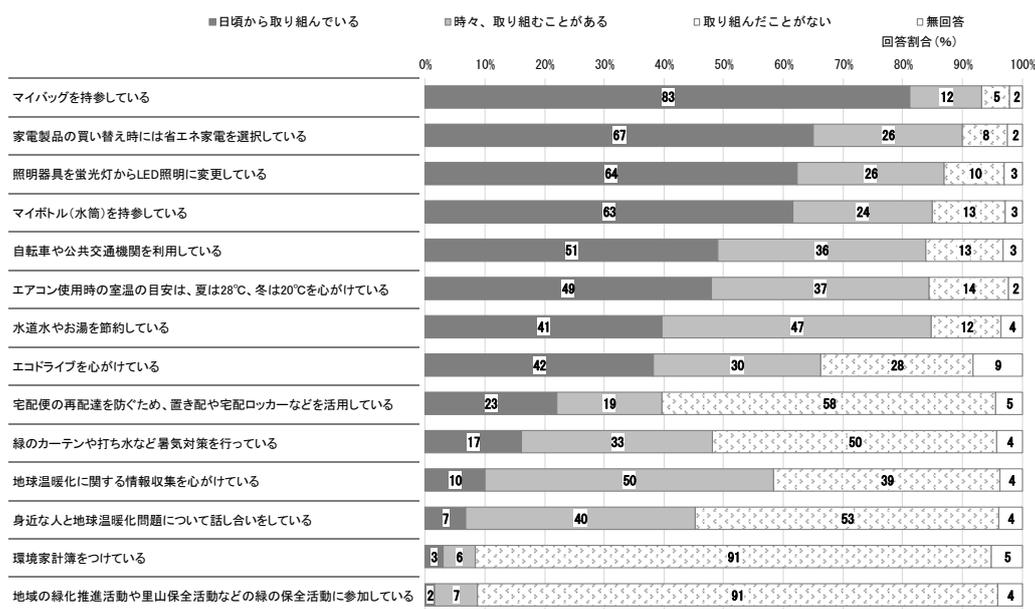


3.3 日常的に行っている地球温暖化防止の取り組み（問7）

■全体

地球温暖化防止の取り組みとして、「日ごろから取り組んでいる」との回答が最も多かったのは「マイバッグの持参」で83%。次いで「省エネ家電の選択」が67%、「LED照明への変更」が64%、「マイボトル持参」が63%であった。「時々、取り組むことがある」を含めた「取り組んだことがある」項目で見ると、上記4項目に加え、「自転車や公共交通機関の利用」、「エアコン使用時の室温の心がけ」、「水道水やお湯の節約」が9割となった。

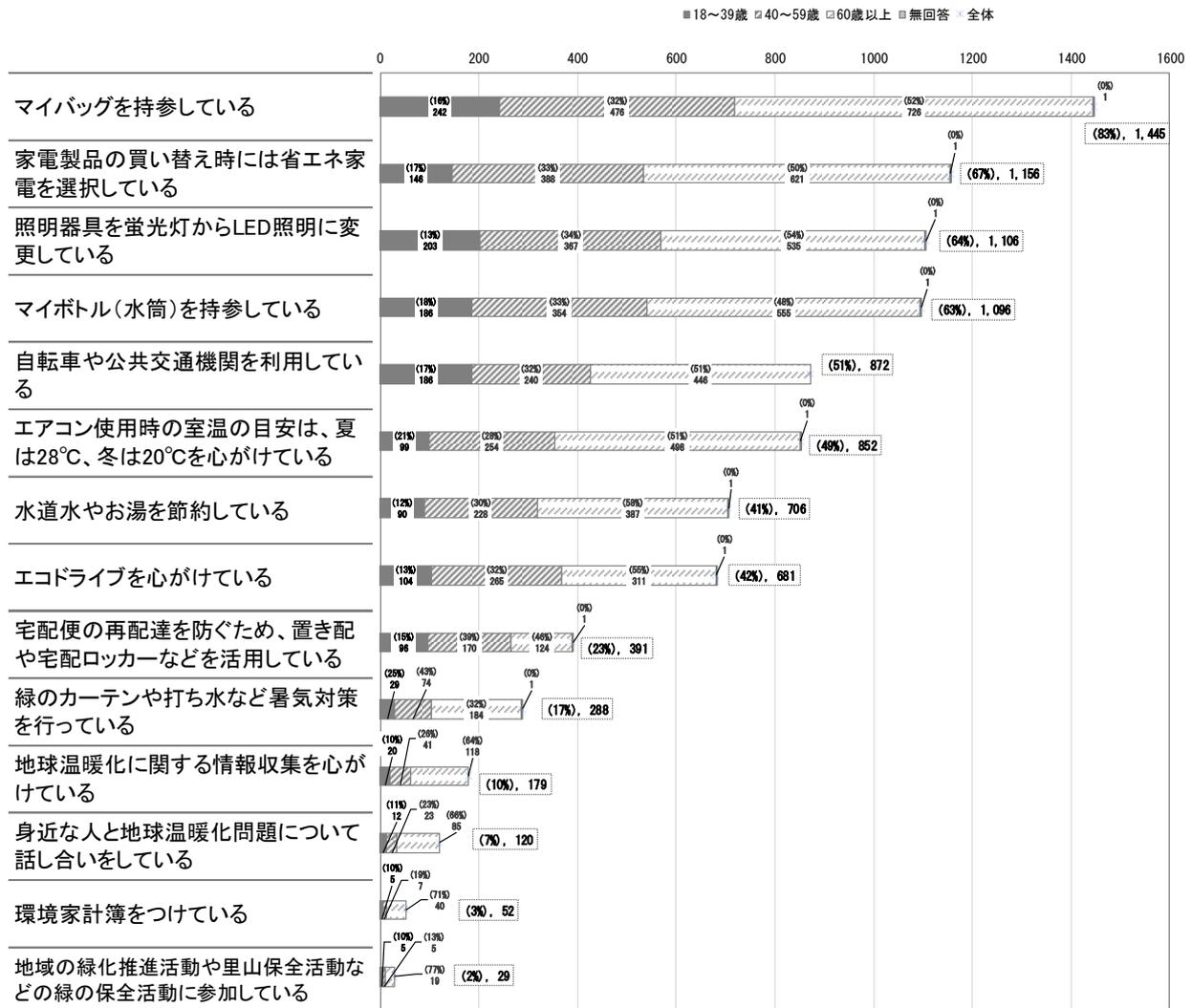
一方で、「地球温暖化に関する情報収集に心がけている」や「身近な人と地球環境問題について話し合っている」、「環境家計簿をつけている」、「緑の保全活動に参加している」といったことに「日ごろから取り組んでいる」人は1割以下となった。



(対象者数：1,780)

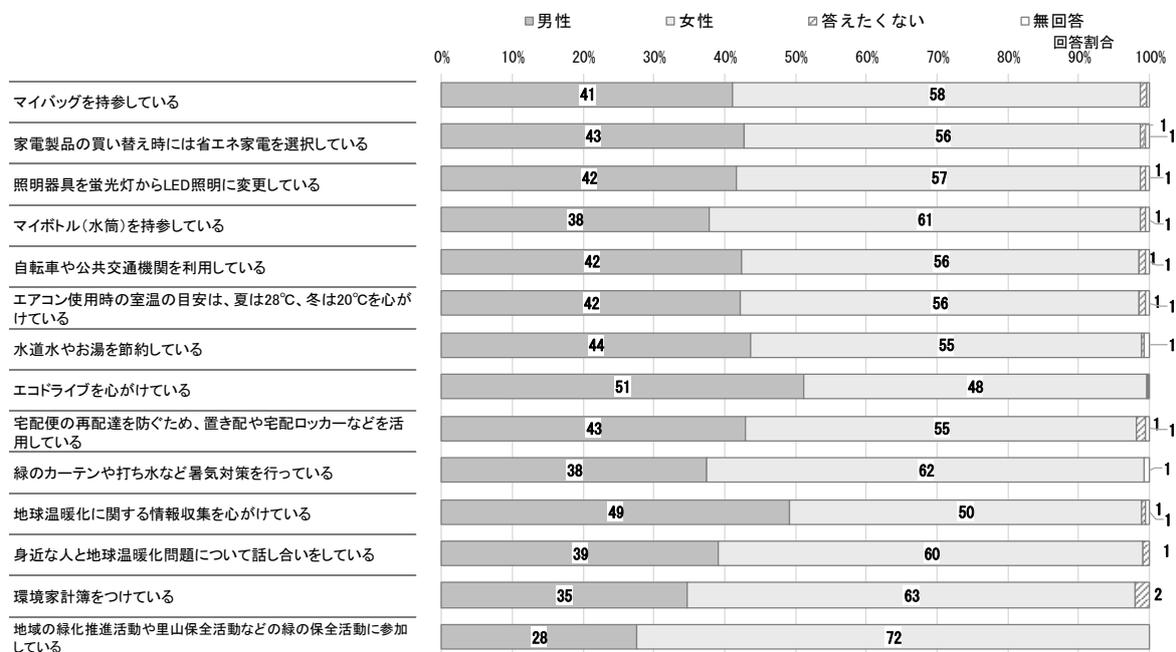
■年齢区分

年齢別で「日ごろから取り組んでいる」との回答が最も多かったのは、「18～39歳」では「自転車や公共交通機関の利用」及び「照明器具を蛍光灯からLED照明に変更している」、「40～59歳」では「エコドライブ」、「18～59歳」では「宅配便の再配達防止」への取り組みが比較的多かった。また、「60歳以上」においては、「エアコン使用時の室温の心がけ」、「緑のカーテンや打ち水など暑気対策」、「地球温暖化に関する情報収集の心がけ」、「身近な人との地球温暖化問題についての話し合っている」、「環境家計簿をつけている」が比較的多い傾向が見られた。



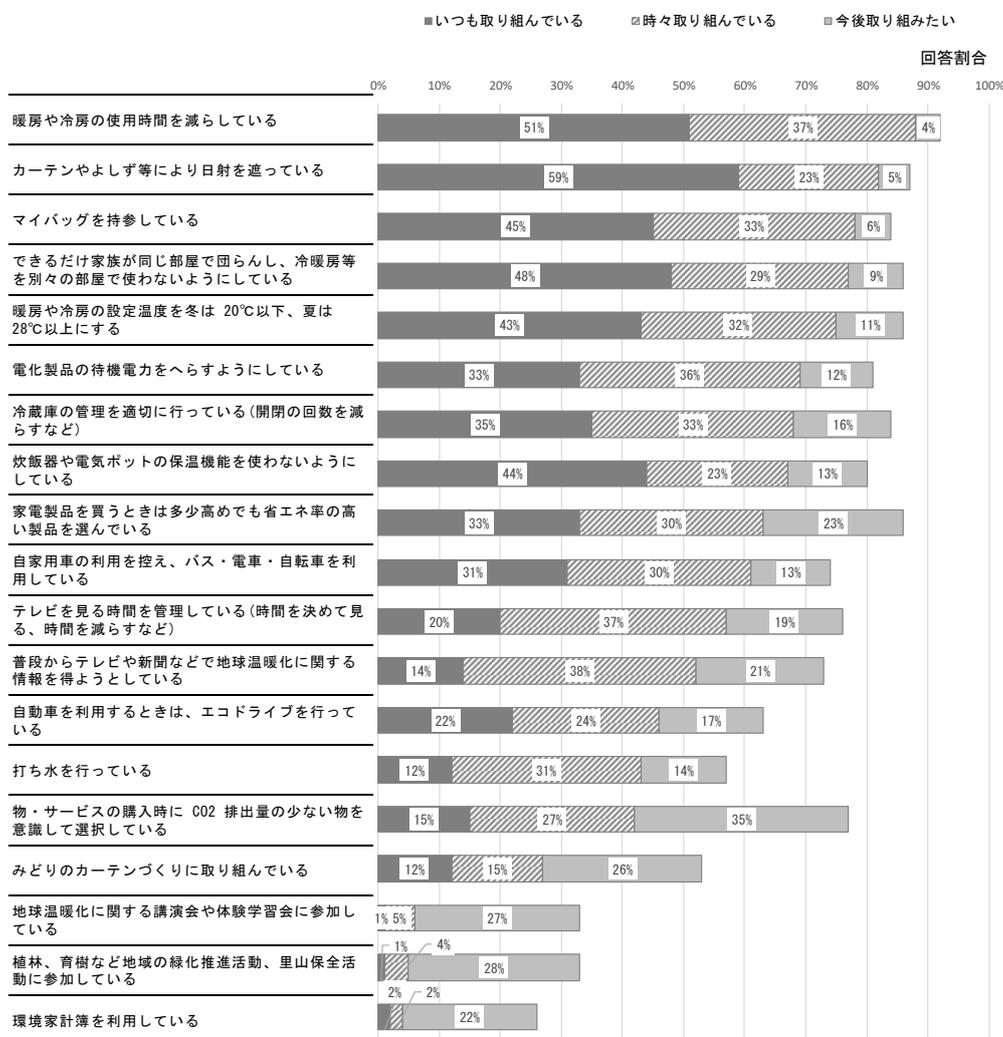
■性別区分

地球温暖化防止の取り組みとして「日ごろから取り組んでいる」項目について着目すると、性別では女性に「マイボトル持参」、男性に「エコドライブの心がけ」が比較的多い傾向がみられた。



■前回調査との比較

前回の調査に比べ、今回の調査の方が、「マイバッグの持参」の取り組みの割合が増えている。また、前回の調査では「エアコン等の使用抑制」の取り組みが最も多かった。前回の調査においても「環境家計簿」や「緑の保全活動」に関しては実施回答数が少ない傾向にある。



■総括

取り組んでいる回答が少なかった項目である「環境家計簿」や「緑の保全活動」、「宅配便の再配達抑制」、「身近な人との話し合い」、「緑のカーテンや打ち水など暑気対策」については、その効果も合わせて広く情報提供することが重要である。

3.4 国の「温室効果ガス実質的排出量ゼロ」宣言による取り組み姿勢の変化（問8）

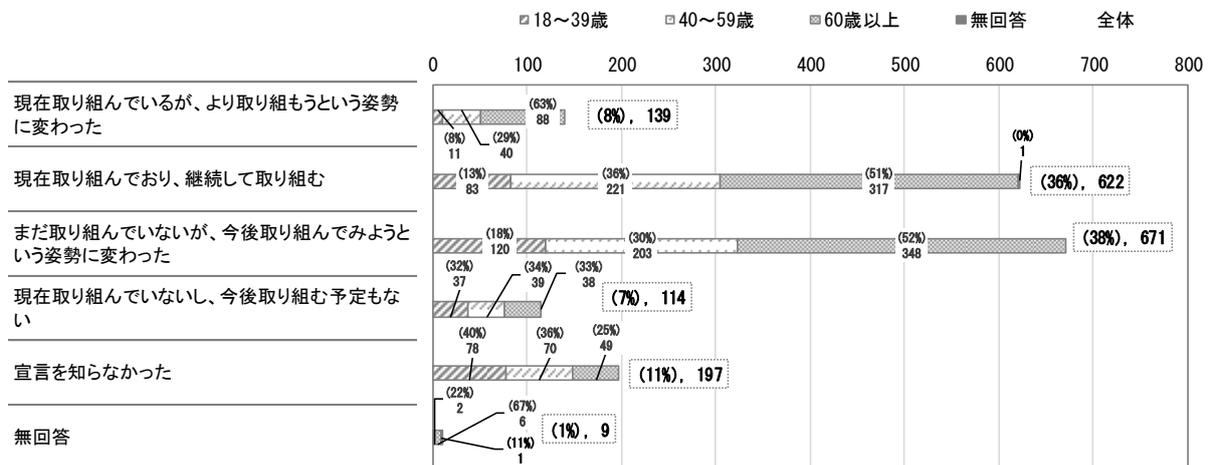
■全体

2020年に国により「2050年までに二酸化炭素を含む温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを目指す」と宣言されたことによる地球温暖化対策への取り組み姿勢の変化については、有効回答者全体の38%が「まだ取り組んでいないが、今後取り組んでみようという姿勢に変わった」、36%が「現在取り組んでおり、継続して取り組む」と回答していた。一方で、11%は「宣言を知らず」、7%で「現在取り組んでいないし、今後取り組む予定もない」としていた。

■年齢区分

「現在取り組んでいる」の回答については、年齢が上がるにつれて回答が多くなっていた。

また、「現在取り組んでいないし、今後取り組む予定もない」とする回答は、各年齢層で30%程度存在し、「宣言を知らなかった」については「18～39歳」の回答が多かった。



■総括

高年齢層ほど様々な取り組みが実施されていた。これを継続してもらう工夫として、取り組み事例の紹介等を行えば、取り組みを実施している市民の継続意欲を高めつつ、まだ取り組めていない市民に対しても活用を検討してもらえると考えられる。

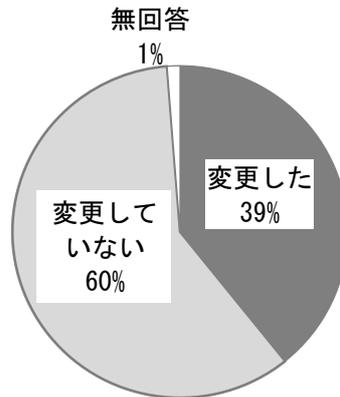
比較的若年層に関しては、「宣言を知らなかった」が多いので、広報等の多くの市民が活用する掲示板に「温室効果ガス実質的排出量ゼロ宣言」について触れることが重要だと考えられる。

3.5 電力小売全面自由化を受けての自宅の電力会社の変更について（問9、問10）

（1）電力小売全面自由化を受け自宅の電力会社を変更したか（問9）

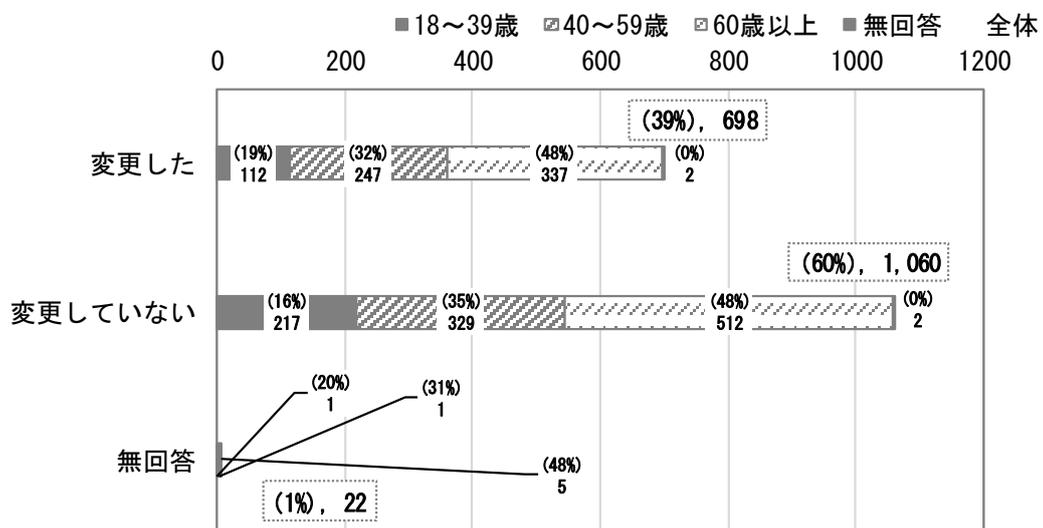
■全体

2016年4月の電力小売全面自由化を受け、自宅の電力会社について「変更した」のは、有効な回答者数のうち4割で、6割は「変更していない」状況であった。



■年齢区分

年齢区分別では、「18～39歳」では「変更していない」の回答がやや多く、「40～59歳」では「変更した」の回答が多い傾向にあった。「60歳以上」においては特に傾向は見られなかった。



（2）電力会社を選ぶ際に最も重要視した点（問10）

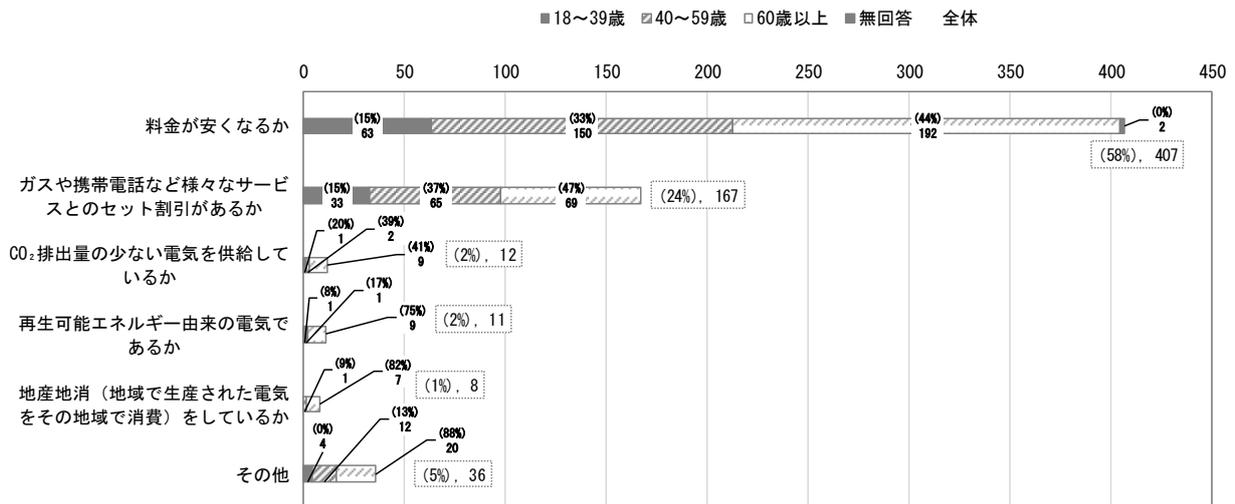
■全体

電力小売全面自由化を受け自宅の電力会社を「変更した」と回答した人において、電力会社選択時に最も重視した点は、「料金が安くなるか」が最も多く58%、次いで「ガスや携帯電話など様々なサービスとのセット割引があるか」が24%であった。

■年齢区分

「18～59歳」では「セット割があるかどうか」、「料金が安くなるか」といった料金に特があるかを基準に電力会社を変更しており、「60歳以上」では「料金が安くなるか」に加えて「再生可能エネルギー由来であるか」等の環境に配慮されているかを重視して選ぶ傾向にあった。

これにより、市民の関心ごとに環境への配慮も含まれており、市より電力会社の見直しが経済的である点に加え、環境に対する効果があるのかについても情報提供する必要がある。

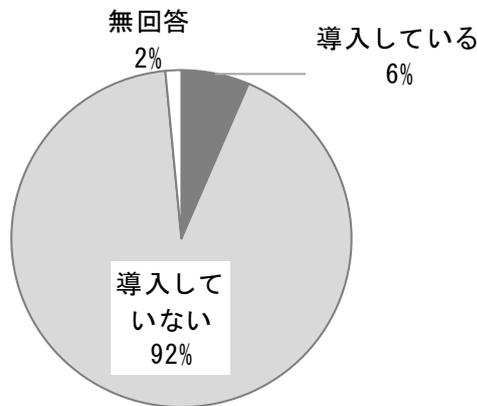


3.6 太陽光発電システムの導入について（問 11、問 12）

（1）太陽光発電システムの導入状況について（問 11）

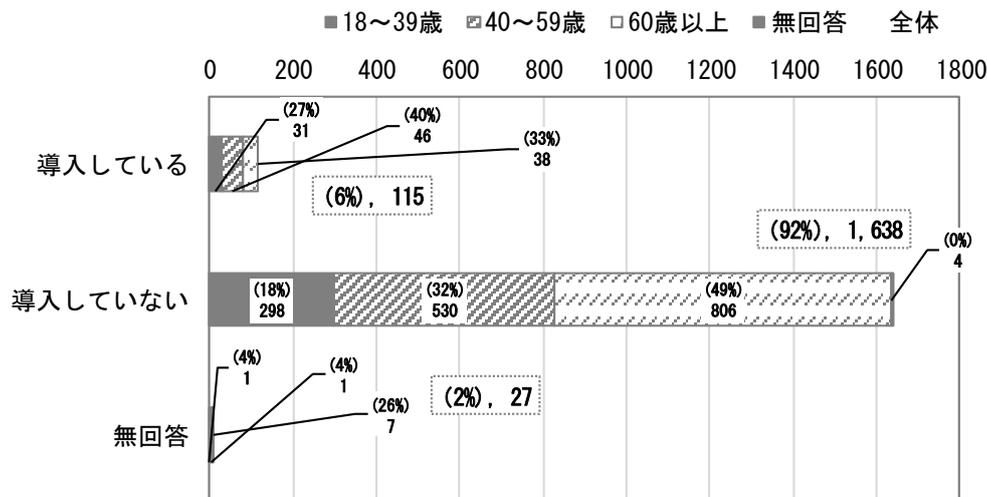
■全体

太陽光発電システムを導入しているか否かについては、全体で「導入している」が6%で、92%が「導入していない」状況であった。



■年齢区分

年齢別では、「導入している」の回答は「40～59歳」で最も多く、「導入していない」の回答は「60歳以上」で多い傾向が見られた。



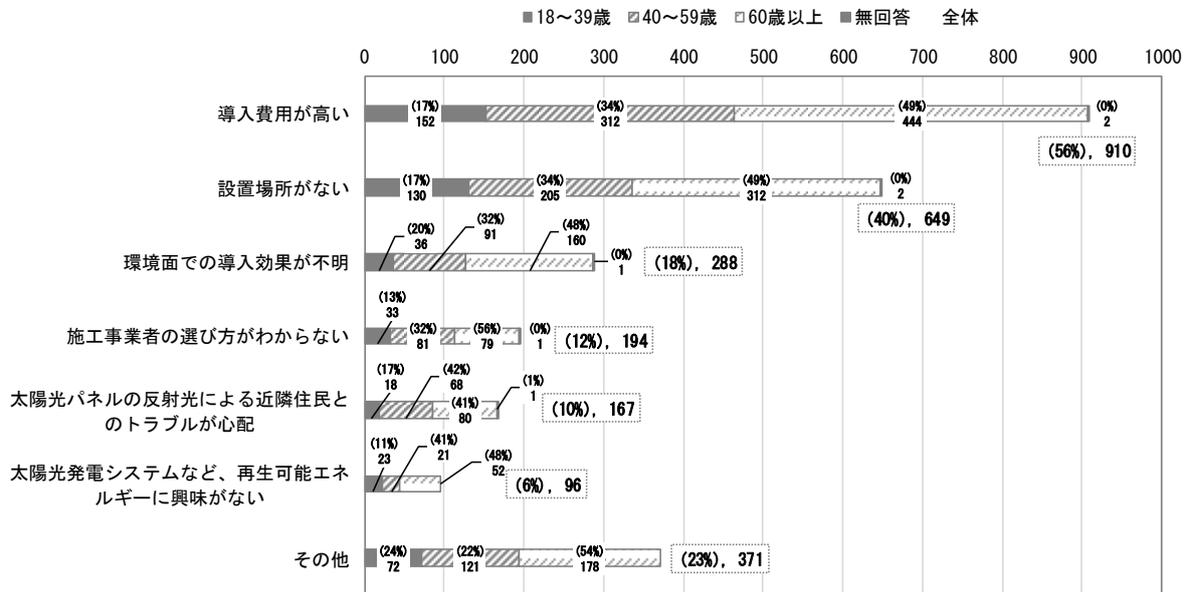
（2）導入していない場合の理由について（問 12）

■全体

太陽光発電システムを導入していない場合の理由としては「導入費用が高い」ことが最も多く56%、次いで「設置場所がない」が40%であった。その他に、「導入効果が不明」、「業者の選定が分からない」、「設置後のトラブルが心配」といった理由が40%程度あった。自由回答では、「メンテナンス費用が心配」、「台風等での破損が心配」、「廃棄時の方法や環境への負荷が心配」、「賃貸等で権利がない」といった意見も多数でている。

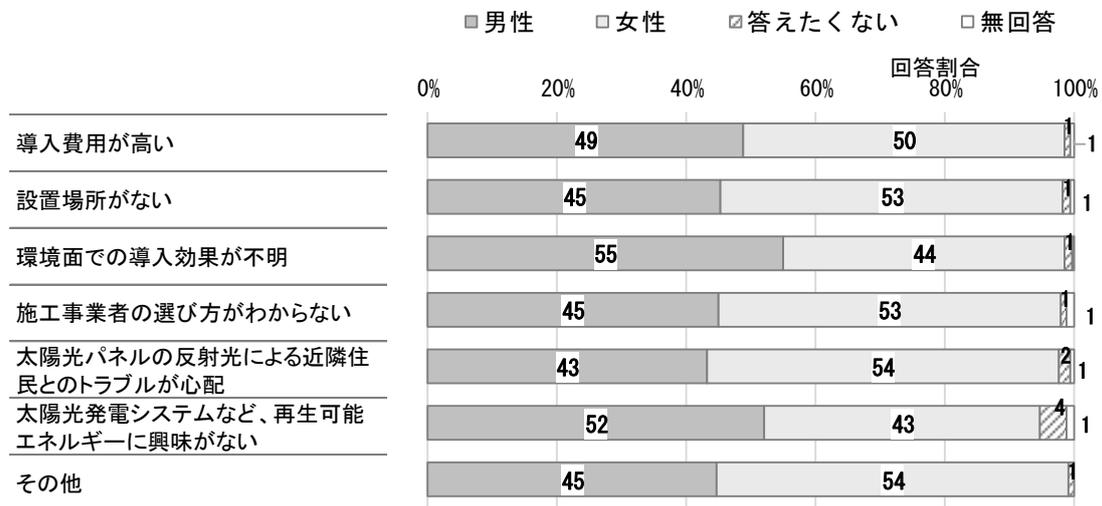
■年齢区分

年齢別では、「18～39歳」で「設置場所がない」、「40～59歳」で「施工事業者の選び方がわからない」及び「設置後のトラブルが心配」、「60歳以上」で「導入効果が不明」を理由とする傾向が比較的多く見られた。



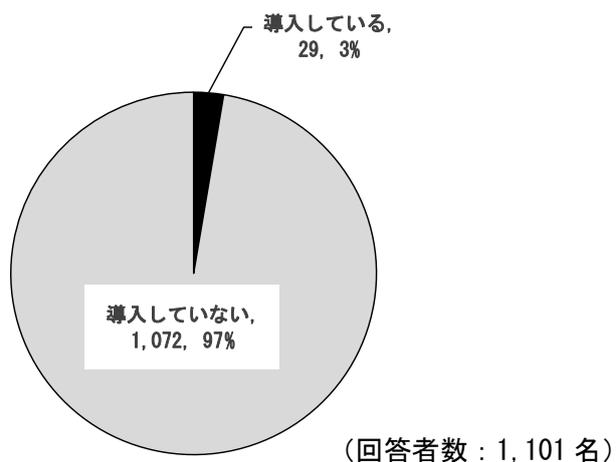
■性別区分

さらに「環境面での導入効果が不明」が18%で、「男性」にやや多い傾向が見られた。



■前回調査との比較

前回の調査と比較すると、前回の調査結果では太陽光発電システムの導入者数は、1,101名中29名（全体の3%）だったのに対し、今回は、1,780名中の115名（6%）となっており、導入者数もその割合も大きく増えていた。



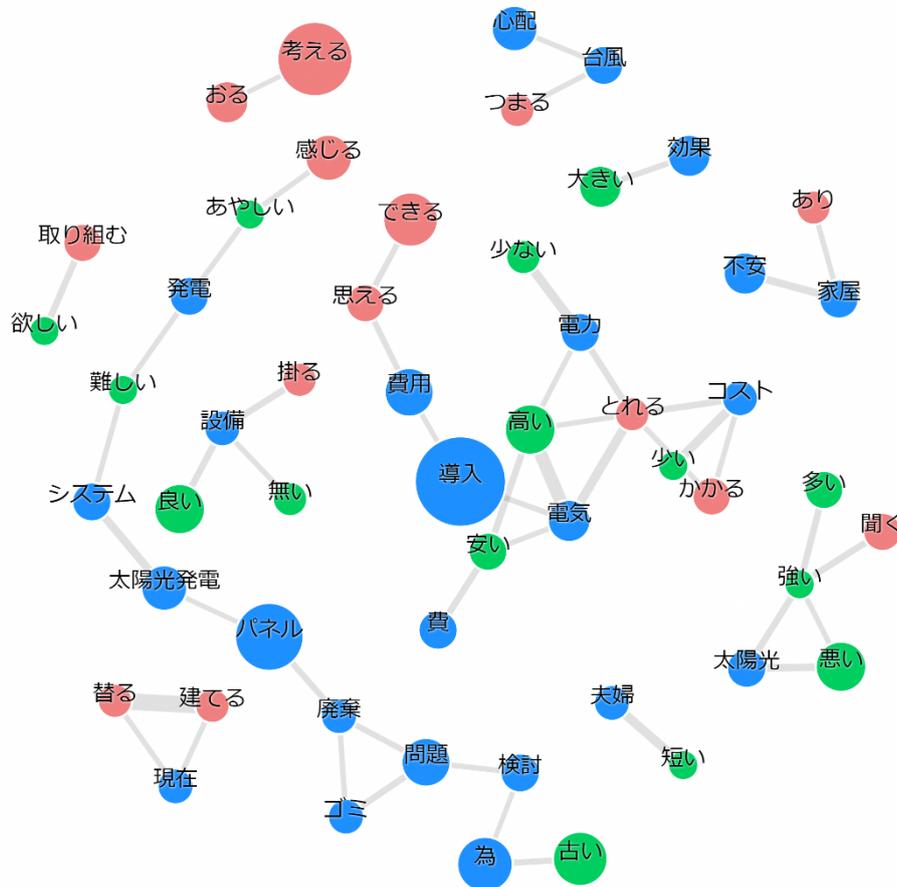
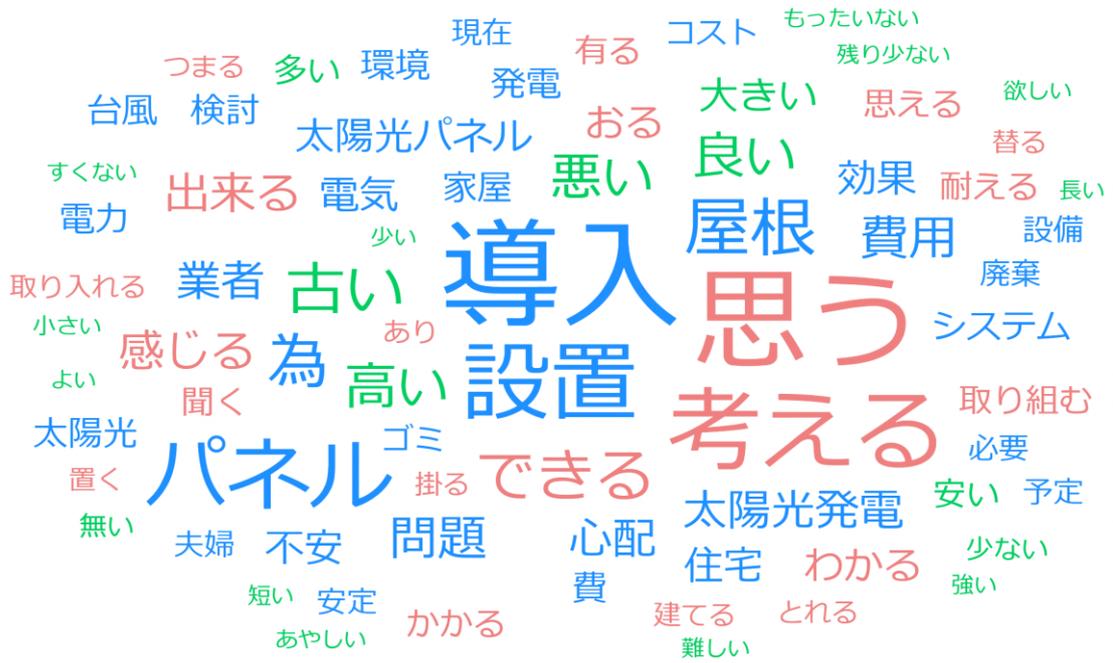
■総評

「導入費用が高い」等に関する対策は、行政（大阪府または枚方市）より補助金や費用対効果の認められる支援策を行い導入を促していく必要がある。設置場所の有無や設置権利に関する対策としては、集合住宅に対しても補助金や支援を行うことが重要だと考えられる。

また、太陽光パネルに関する疑問点や導入事例を市より広く情報提供することで、太陽光発電システムの導入を検討し易くすることが重要である。

【問 12 の自由回答の概要】

太陽光発電システムを導入しない理由の自由回答を、テキストマイニングを用いて解析した。費用が高いことと、パネルの廃棄におけるゴミ問題を心配する声が多くあった。



3.7 自動車の保有状況について（問 13、問 14）

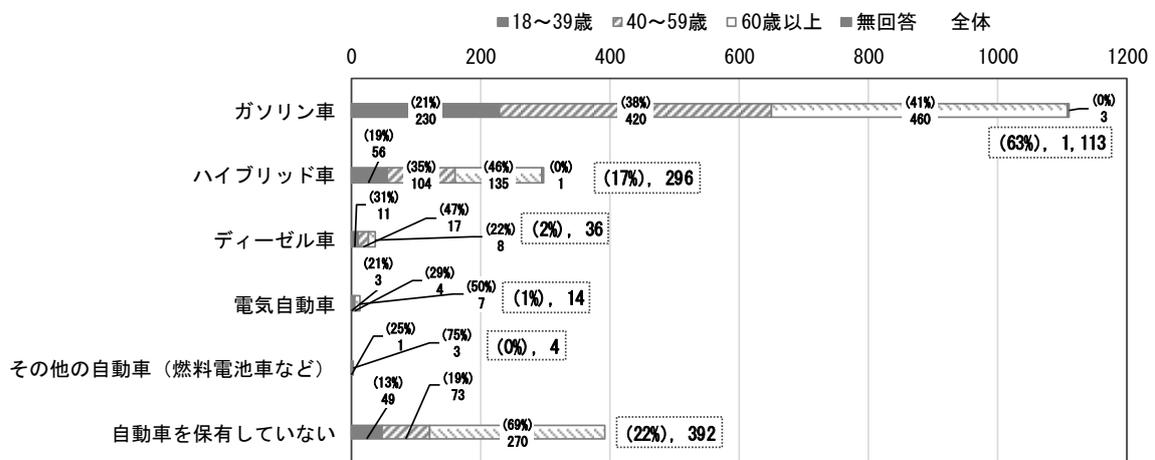
(1) 家庭での自動車の保有状況（問 13）

■全体

家庭で保有しているすべての自動車で最も多かった「ガソリン車」の保有率は63%、「ハイブリッド車」は17%、「電気自動車」は1%で、22%が「自動車を保有していない」状況であった。

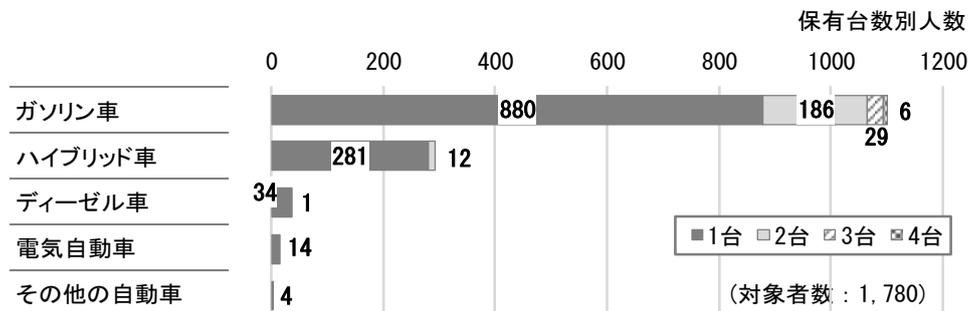
■年齢区分

「18～59歳」では「ガソリン車」の回答が多く、「60歳以上」では「車を保有していない」の回答が多い傾向にあった。



■保有台数区分

保有台数としては、「ガソリン車」保有の2割が2台以上の保有であったが、「ハイブリッド車」は「2台」が12人、「ディーゼル車」は「3台」が一人、「電気自動車」、「その他自動車」で2台以上の保有は見られなかった。



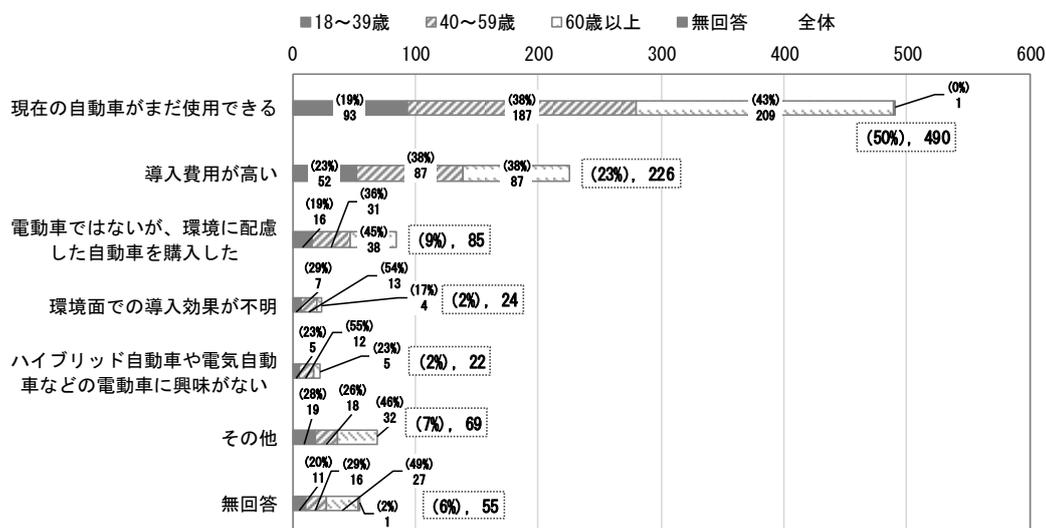
(2) 電動車を所有していない最大の理由（問 14）

■全体

自動車の保有状況として「ガソリン車」、「ディーゼル車」のみであった方における、電気自動車を所有していない最大の理由は、「現在の自動車はまだ使用できる」が最も多く 50%で、次いで「導入費用が高い」が 23%であった。「環境面での導入効果が不明」を理由としていた人は全体の 2%と少なかった。

■年齢区分

年齢別でも、全体の傾向とほぼ同様の結果であったが、「環境面での導入効果が不明」、「電動車に興味がない」については「40～59歳」で特に多い傾向にあった。



■総括

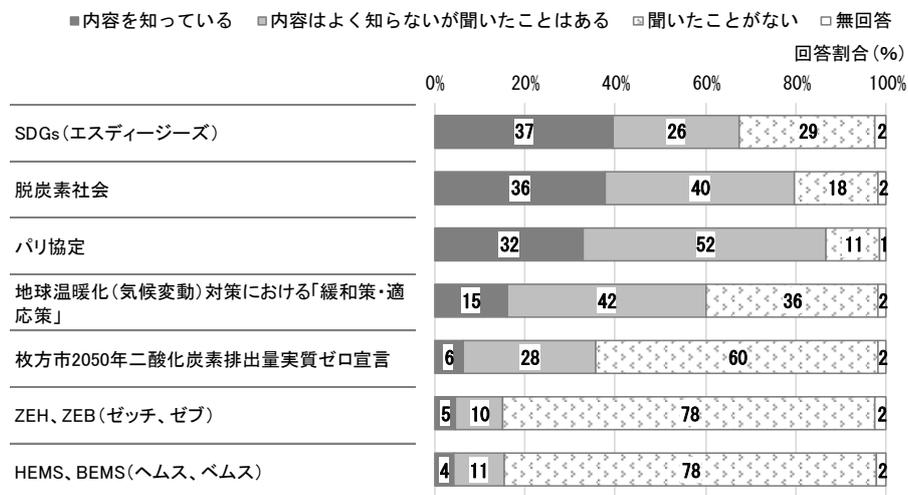
保有自動車の多くが「ガソリン車」であり、電動車を購入しない理由で最も多かったものは「現在の自動車はまだ使用できる」からであった。自動車の買い替え時に、電動車等の次世代自動車を選択肢に入るように、市より次世代自動車や活用できる補助金に関する情報発信を続けていく必要がある。

3.8 地球温暖化防止に関連する言葉の認知状況（問 15）

■全体

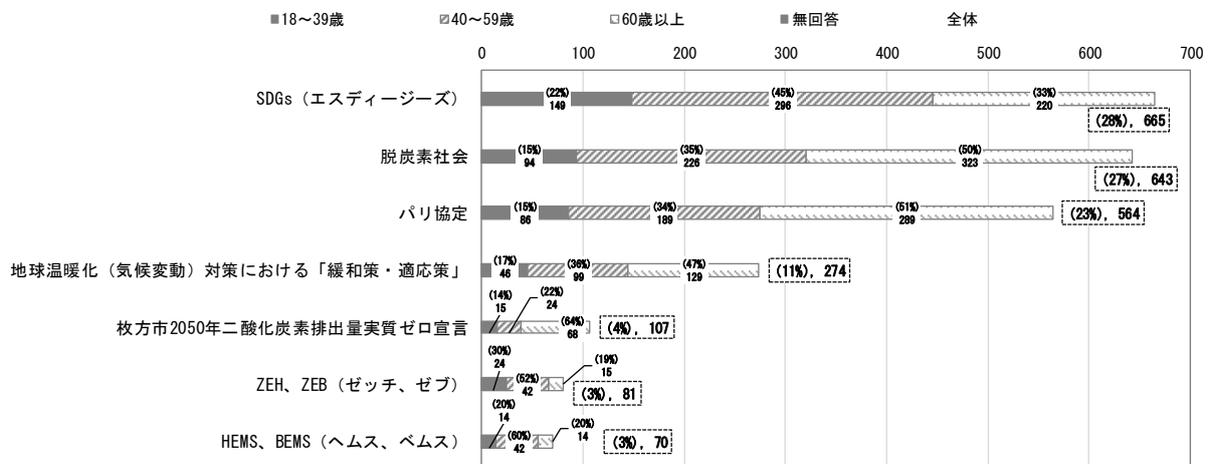
地球温暖化防止の取り組みに関する言葉の認知状況として、「SDGs」、「脱炭素社会」、「パリ協定」について「内容を知っている」の回答率は3割以上あった。この3項目について、「内容はよく知らないが聞いたことはある」を含めると、いずれも全体の半数以上となり、認知順は逆転した。つまり、「脱炭素社会」及び「パリ協定」について、言葉は知っているが内容を知らない人が多いことを示している。「地球温暖化対策における緩和策・適応策」についても「聞いたことがある」を含めれば半数近くであったものの「内容を知っている」割合は15%であった。

一方で「枚方市2050年CO₂実質ゼロ宣言」については「聞いたことはある」を含めても3割程度で、「ZEH、ZEB」、「HEMS、BEMS」についてもあまり認知されていなかった。



■年齢区分

「SDGs」及び「ZEH、ZEB (ゼッチ、ゼブ)」、「HEMS、BEMS (ヘムス、ベムス)」については「40～59歳」で回答が多く、それ以外項目では「60歳以上」で回答が多い傾向にあった。



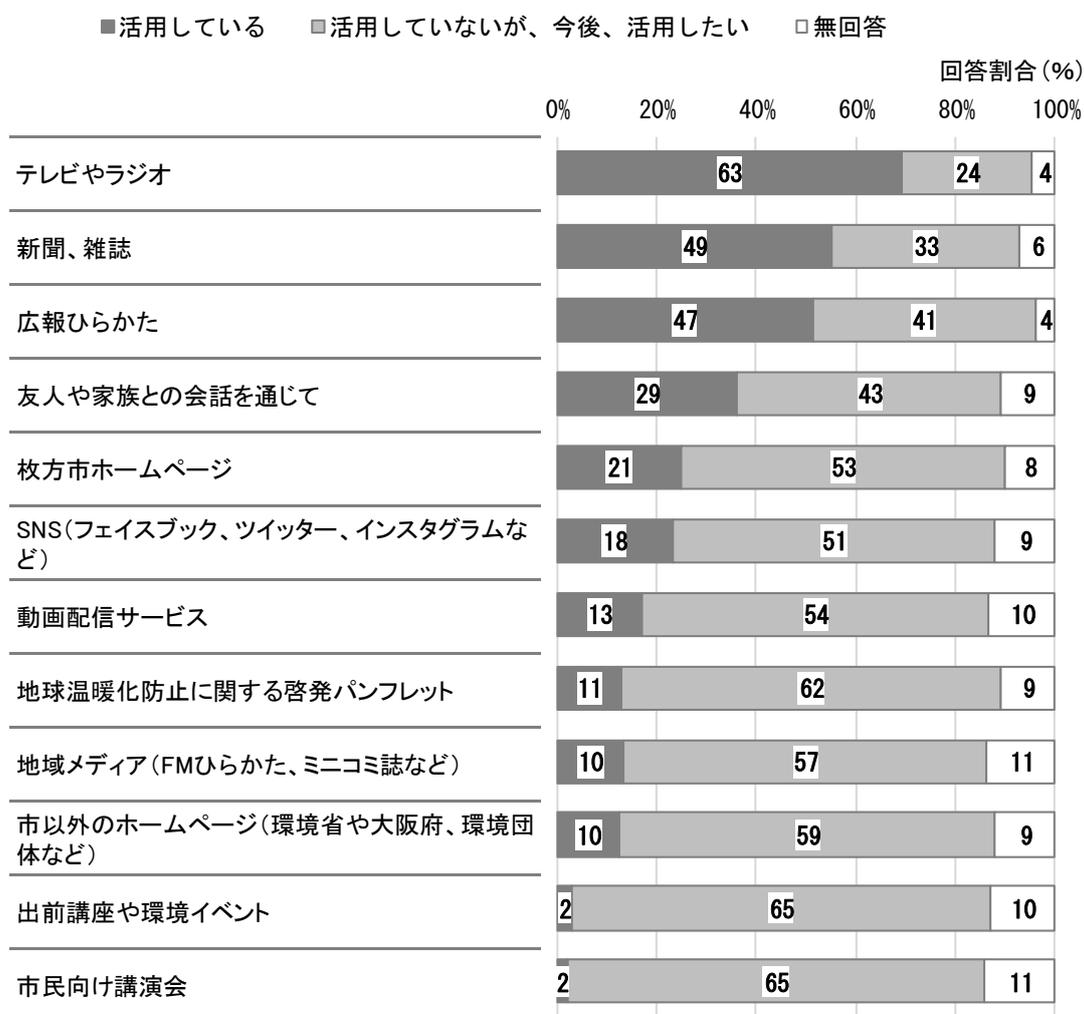
■総括

年齢層によって認知度に違いがでており、それぞれの用語について広報等で言葉の意味も含めて、広く周知する必要がある。特に、「枚方市 2050 年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言」については地球温暖化対策について協力を仰ぐためにも、幅広い年齢層に知ってもらう必要があるだろう。

3.9 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための手法（問 16）

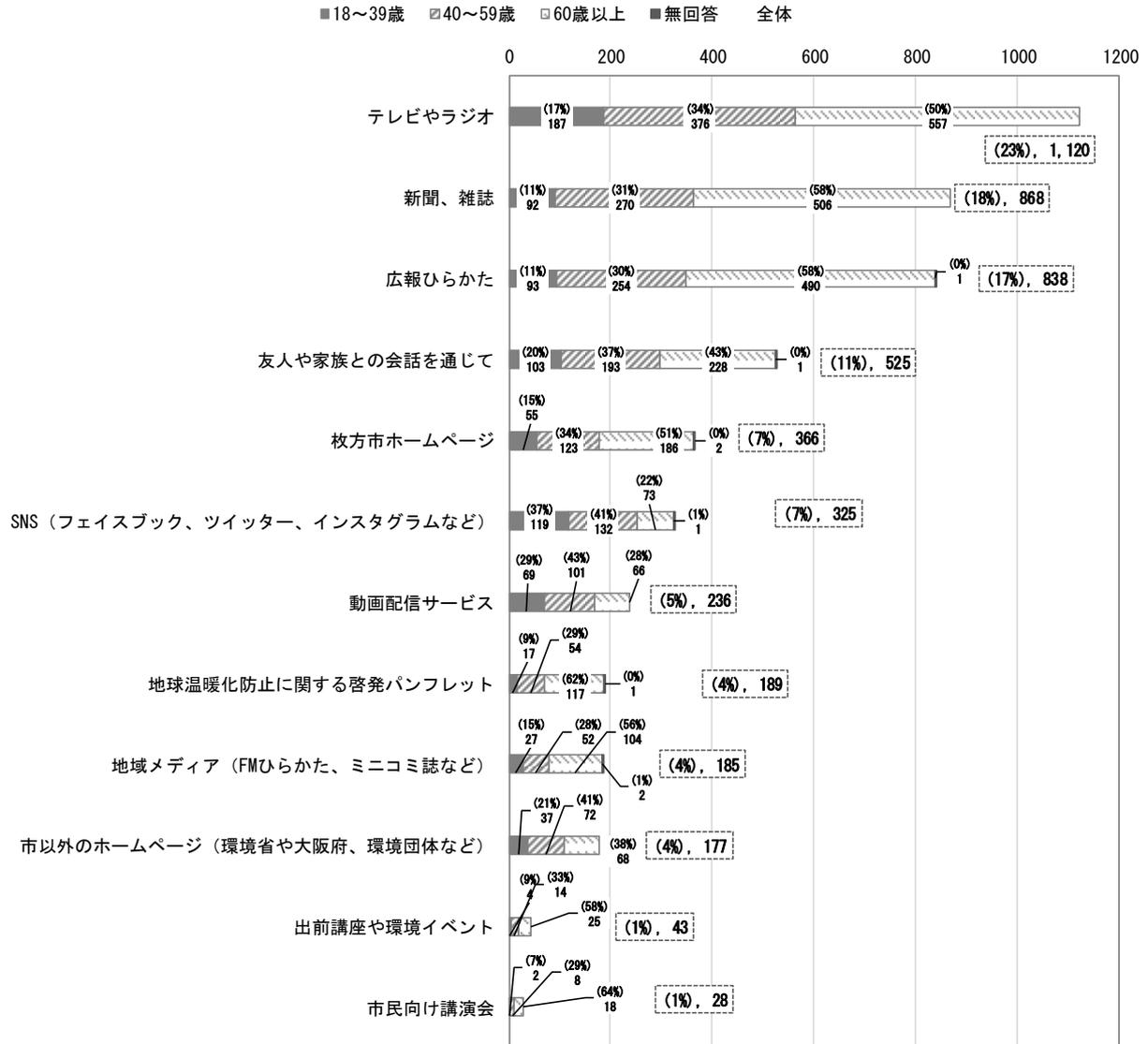
■全体

「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための方法として、「活用している」割合が最も高かったのは「テレビやラジオ」で 63%、次いで「新聞、雑誌」が 49%、「広報ひらかた」が 47%であった。「活用している」と「活用していないが、今後、活用したい」を合わせると、上記 3 項目で 95%、その他ほとんどの手法においても約 9 割となっていた。



■年齢区分

「活用している」手法について上位項目を年齢別でみると、「新聞、雑誌」、「広報ひらかた」、「啓発パンフレット」については「60歳以上」で多く、「SNS」、「動画配信サービス」は「18～59歳」で多い傾向が見られた。



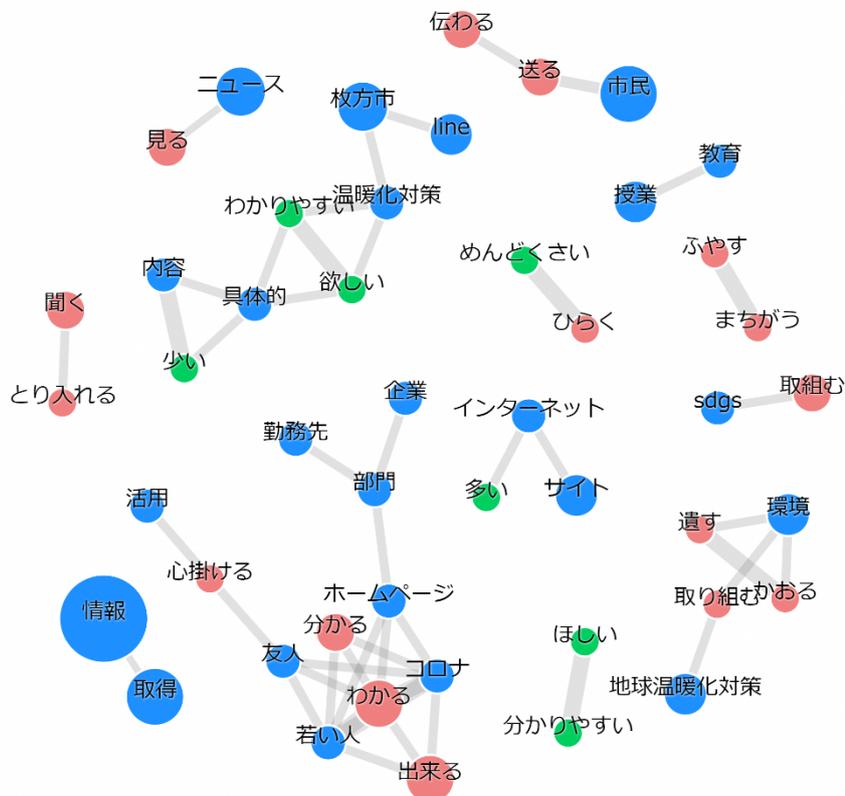
■総括

地球温暖化対策に関する情報を発信するのであれば、比較的多くの市民が利用している「広報ひらかた」を中心にしつつ、市のホームページやアプリ、SNS や動画配信サービスを適宜利用して効果的に発信することが望まれる。

【問 16 の自由回答の概要】

地球温暖化対策に関する情報を得る方法についての自由回答を、テキストマイニングを用いて解析した。

主に、会社での社員研修、学校の授業や書籍で情報を得ているという意見がある一方で、情報源が少ないため、もっと広報や市の Line 等で地球温暖化対策についての情報を提供してほしいといった意見もあった。



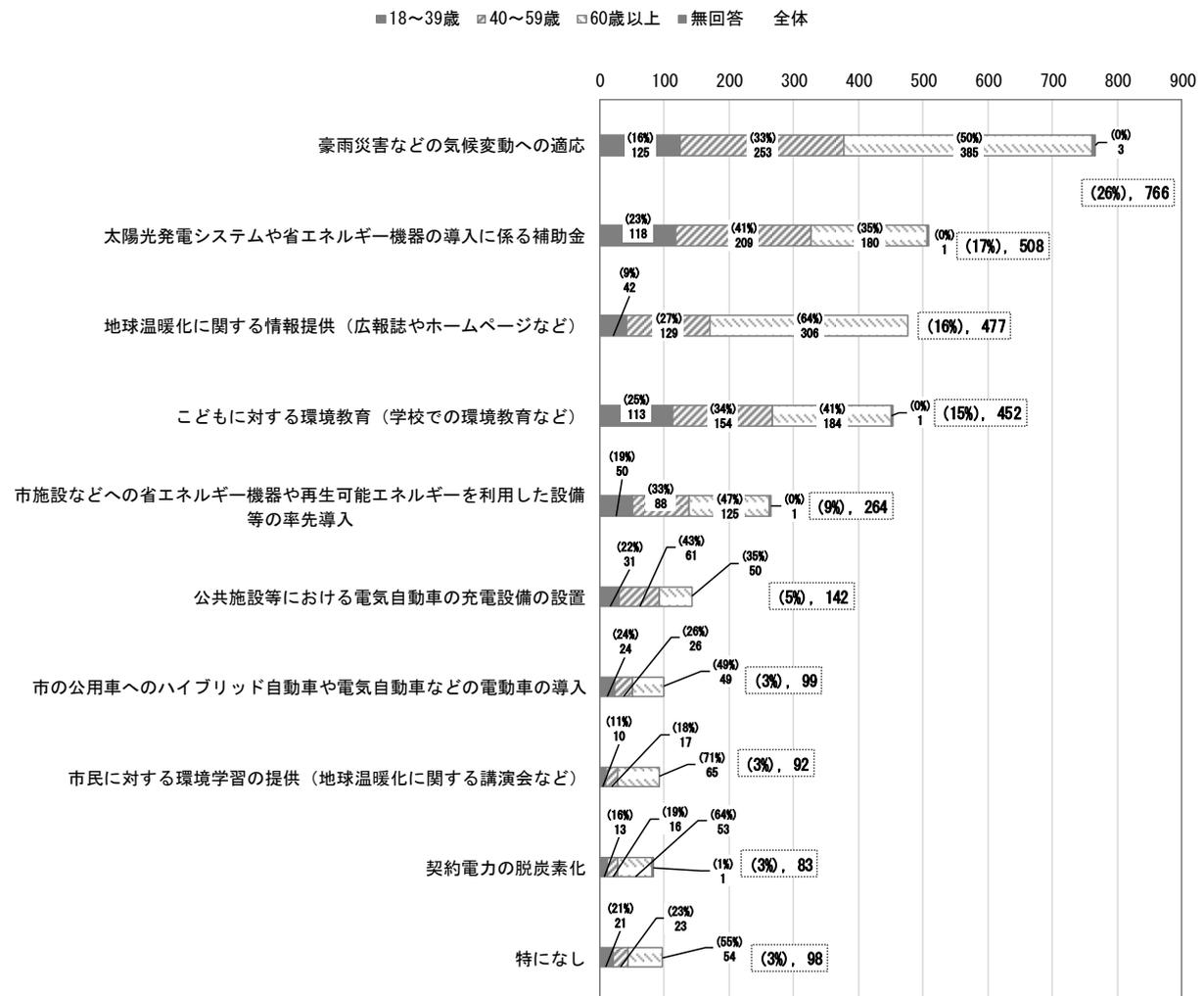
3.10 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策（問 17）

■全体

今後、枚方市に期待する地球温暖化対策としては、「豪雨災害などの気候変動への適応」が26%で最も多く、次いで「太陽光発電システムや省エネルギー機器の導入に係る補助金」が17%、「地球温暖化に関する情報提供」が16%、「こどもに対する環境教育」が15%であった。

■年齢区分

「補助金」、「こどもへの環境教育」、「公共施設等における電気自動車の充電設備の設置」に関しては「18～59歳」の回答が多く、「地球温暖化に関する情報提供」や「市民に対する環境学習の場の提供」、「契約電力の脱炭素化」に関しては「60歳以上」で比較的多い傾向が見られた。



■総括

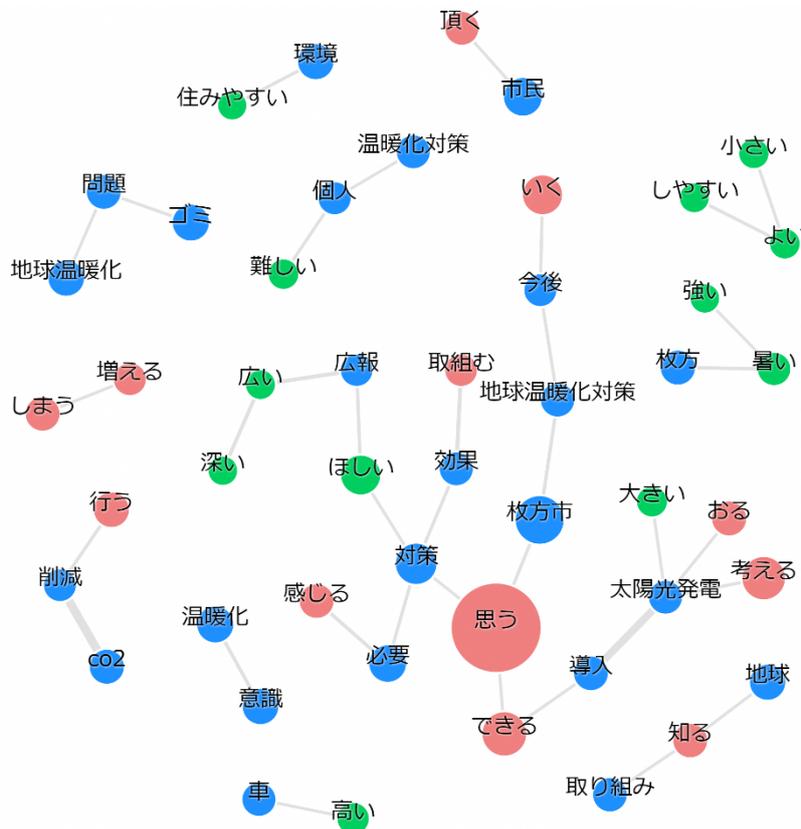
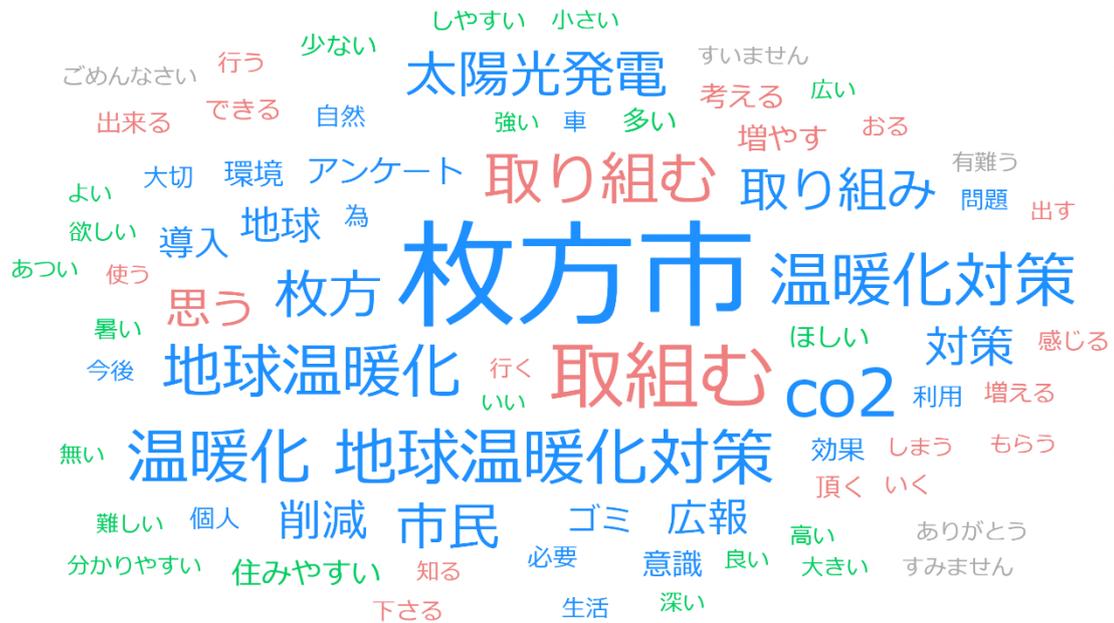
全体を通して最も市に期待している取り組みは、「災害等の気候変動への適応」であった。回答率の多さは年齢層問わずに多く世代問わず重要だと考える対策だと言える。

省エネ、再エネに関する補助や支援を中心とする地球温暖化対策に加え、温暖化による豪雨災害の頻発を危惧し、「災害への備えや情報提供」、「地球温暖化（気候変動）対策における適応策に関する情報提供」が必要となってくると考えられる。

【問 17 の自由回答の概要】

地球温暖化対策等に関する自由回答意見について、テキストマイニングを用いて解析した。

市の取り組みについて知らなかったという意見や、それをもっと周知してほしいといった意見が多くあった。また、前の質問での太陽光発電システムや電動車について、導入したいけど費用が高いので補助金が必要だという意見があった。

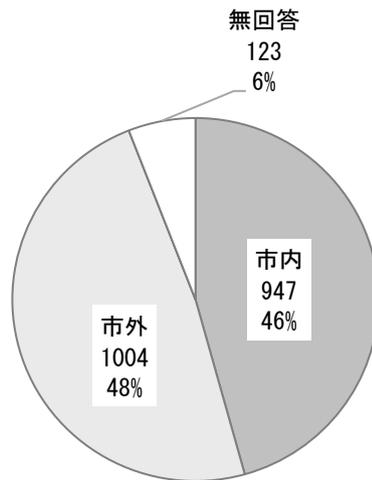


4. 高校生へのアンケート集計結果

4.1 回答者の属性

(1) あなたご自身のことについて、あてはまるものを選んでください。(問1)

回答者の46%が市内より学校に通っており、48%が市外区域から学校に通っているとわかった。



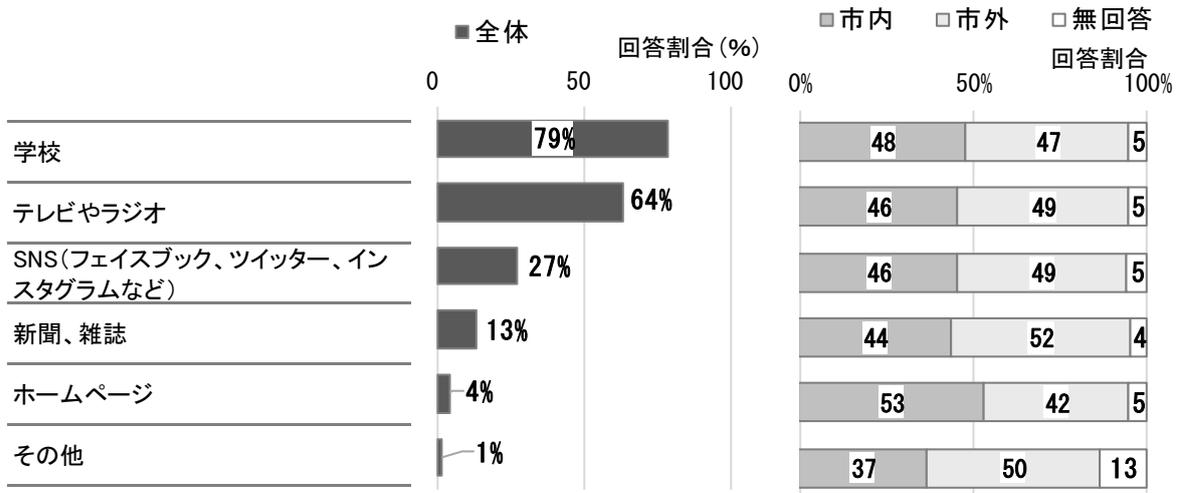
(対象者数: 2,074人)

4.2 地球温暖化による影響拡大への認識 (問2、問3、問4、問5)

(1) あなたは地球温暖化についてどこで知りましたか。(問2)

「地球温暖化についてどこで知ったか」について聞いたところ、最も回答が多かった項目は「学校」(全体の79%)、次いで「テレビやラジオ」(64%)であった。

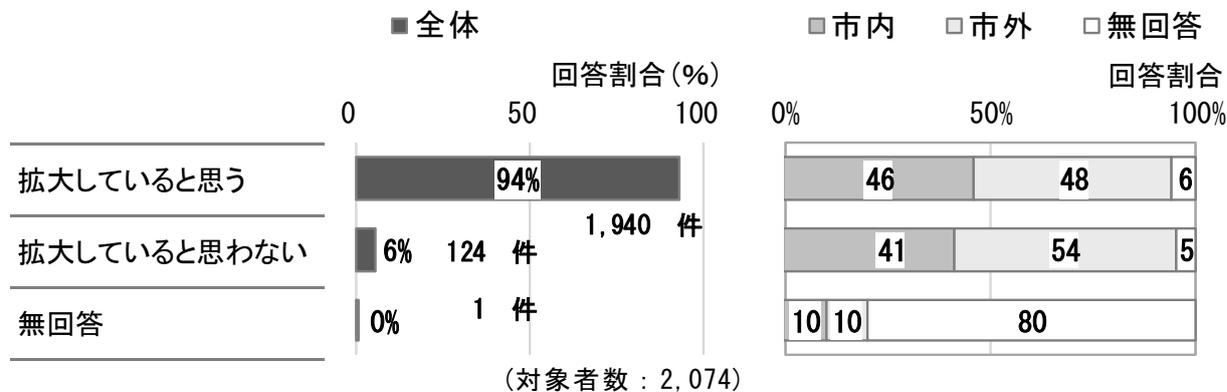
また、地球温暖化に関する情報を入手した方法については、市内在住の適否で傾向は見られなかった。



(対象者数 : 2,074)

(2) 地球温暖化による影響が拡大していると思う理由（問3）

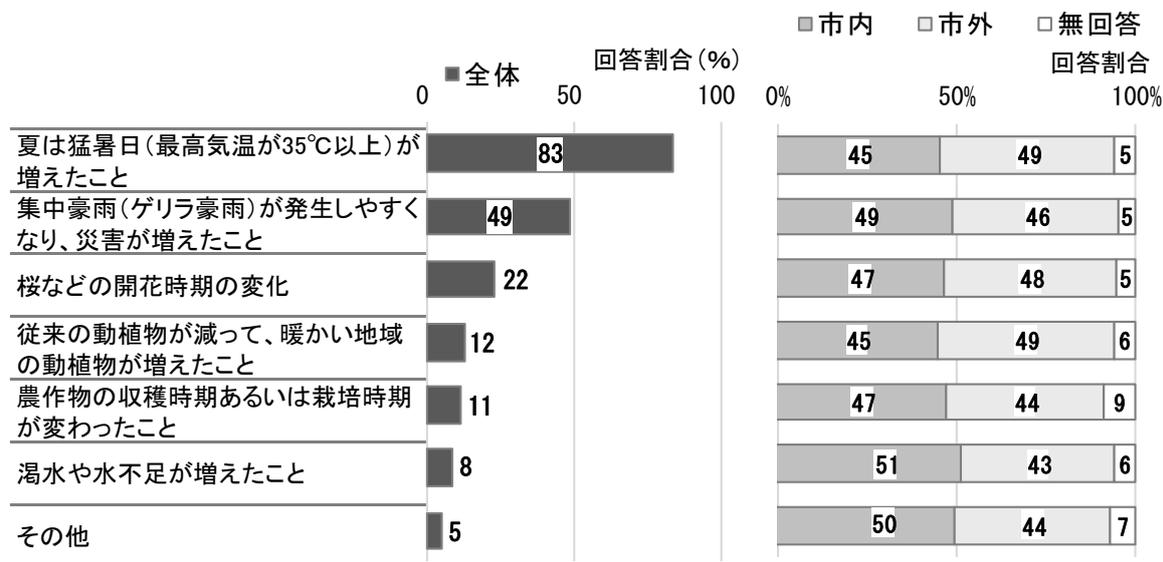
地球温暖化による影響が「拡大していると思う」と回答した人は、全体の94%（1,940件）でした。また、市内在住の適否で傾向は見られなかった。



(3) <問3で「1 拡大していると思う」を選んだ方にお聞きします>なぜそのように思いましたか。（問4）

「地球温暖化による影響が拡大していると思う理由」について聞いたところ、最も回答の多かったものは、「夏は猛暑日（最高気温が35℃以上）が増えたこと」（全体の83%）で、次いで「集中豪雨（ゲリラ豪雨）が発生しやすくなり、災害が増えたこと」（48%）となった。

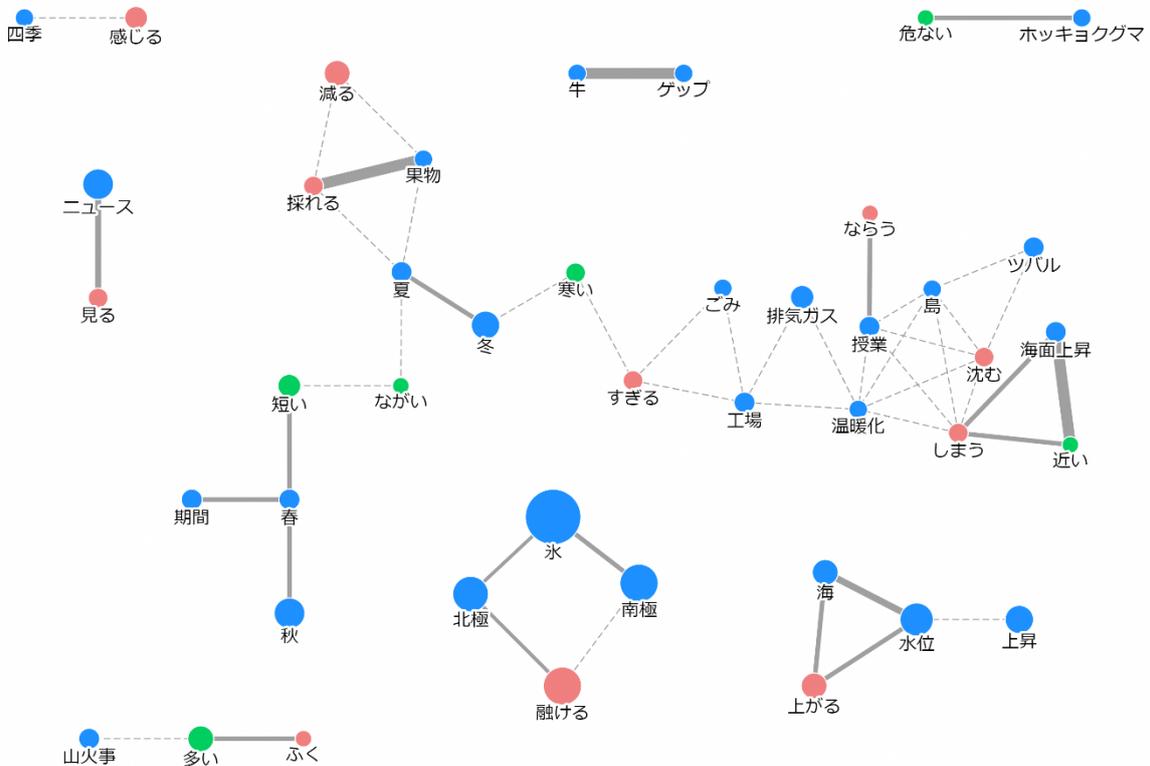
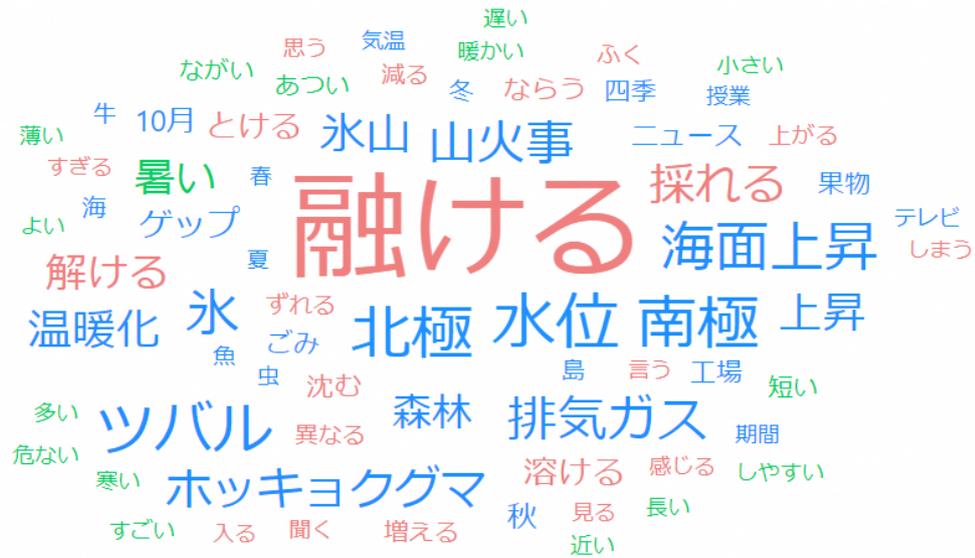
また、市内在住の適否で傾向は見られなかった。



【地球温暖化による影響が拡大していると思う理由（問4の自由回答）の概要】

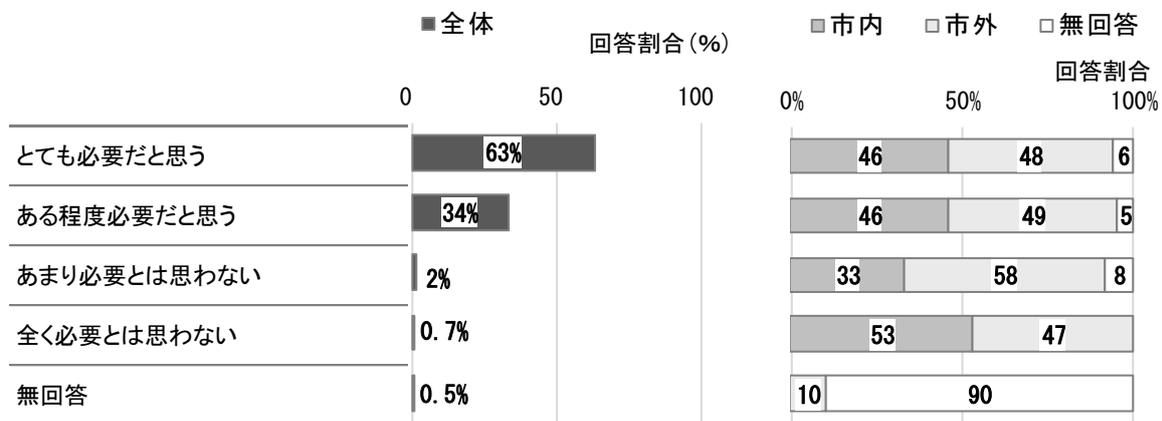
地球温暖化による影響が「拡大していると思う」と考えた理由の自由回答を、テキストマイニングを用いて解析した。

「融ける」を中心にした内容で、北極・南極の氷の融解のニュース等を見て、地球温暖化を感じる回答が多かった。また、学校等で習ったといった意見の他に、夏が長く春と秋が短くなっているように感じるといった意見も多数見られた。



(4) 地球温暖化対策は必要だと思いますか。(問5)

「地球温暖化対策は必要だと思うか」の質問に対しては、「とても必要だと思う」との回答が最も多く全体で63%、「ある程度必要だと思う」と併せて97%が「必要だと思う」としていた。



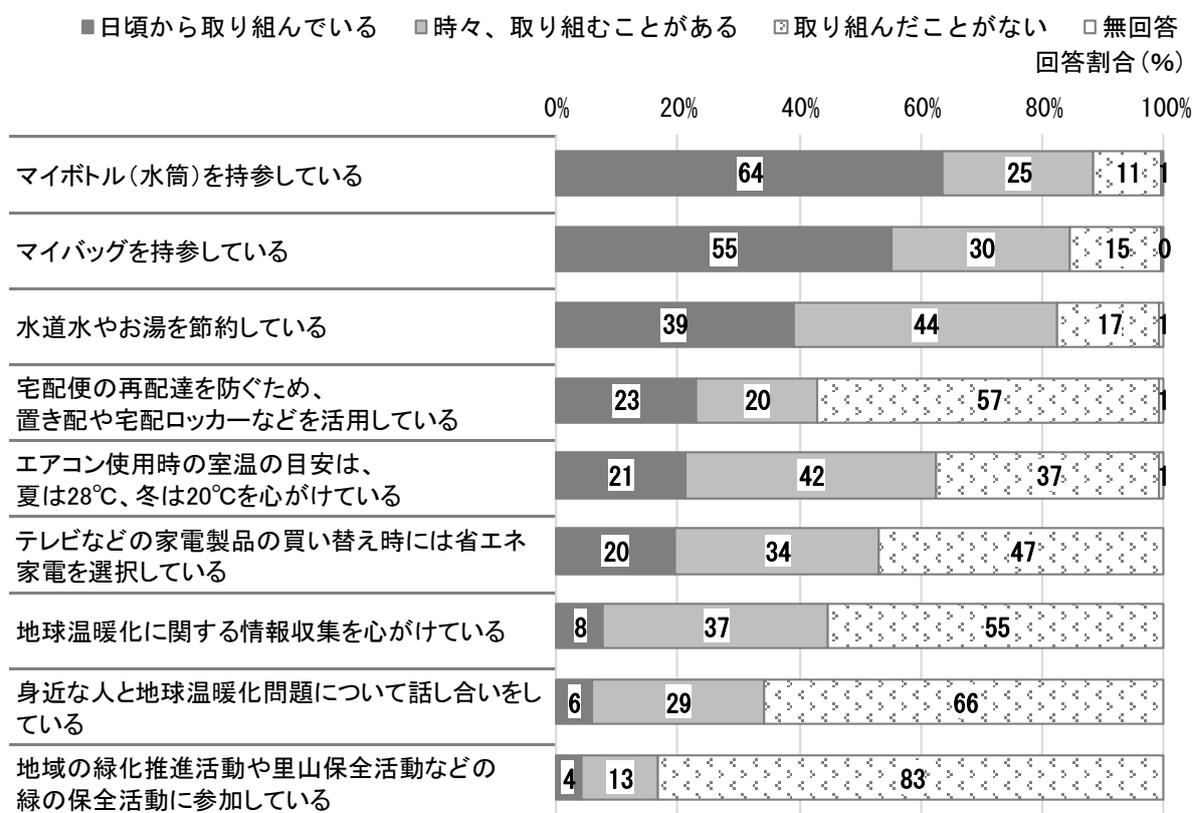
(対象者数 : 2,074)

4.3 日常的に行っている地球温暖化防止の取り組み（問7）

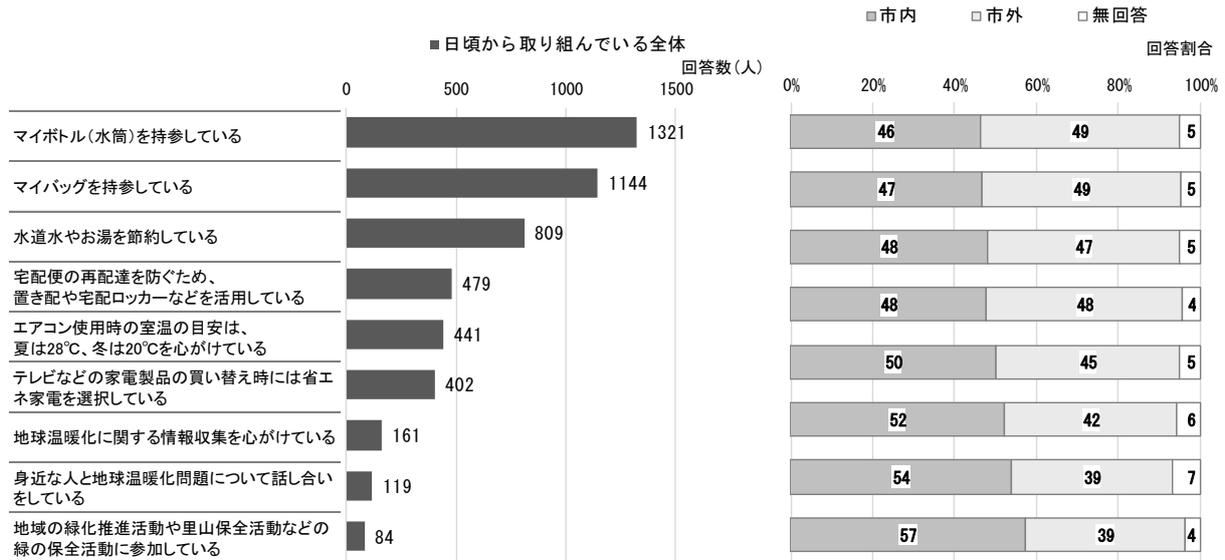
地球温暖化防止の取り組みとして、「日頃から取り組んでいる」との回答がもっと多かったのは「マイボトル（水筒）の持参をしている」で64%。次いで「マイバッグを持参している」が55%であった。「時々、取り組むことがある」を含めた「取り組んだことがある」項目で見ると、上記2項目に加え、「水道水やお湯を節約している」、「エアコン使用時の室温の心がけ」、「省エネ家電の選択」が5割以上で実施されていた。

一方で、「緑の保全活動に参加している」といったことに「日頃から取り組んでいる」人は2割以下の状況であった。

また、地球温暖化防止の取り組みにおいて、市内在住の適否で傾向は見られなかった。



(対象者数：2,074)



(対象者数：2,074)

【地球温暖化に関する取り組みの自由回答の概要】

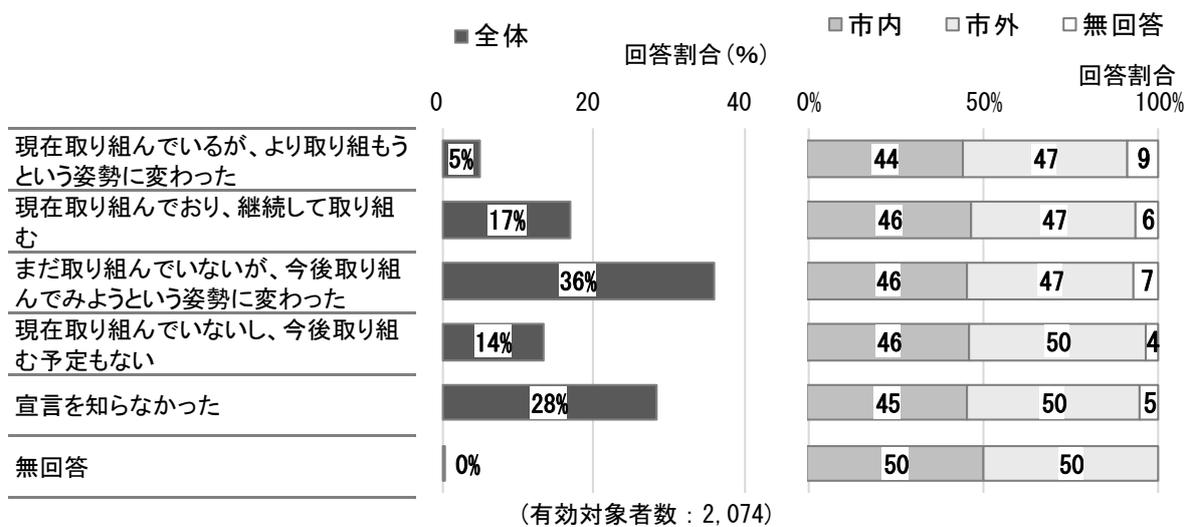
地球温暖化に関する取り組みの自由回答を一覧にまとめた。

内容
レジ袋をもらわない
ごみを分別しごみ箱へ捨てている
ポイ捨てをしない
使わない部屋の電気を消したりパソコンを省エネ設定にしたりするなど小さいことを取り組んでいきます。
SDG s の学習
中学校で本格的に地球温暖化に取り組んだことがあったので、どれだけ大事なこともよく勉強してきました。
どんぐりを育てて木(なえ)ができれば埋めていく(その施設に)
エアコンや扇風機はなるべく使わないようにしている。
枚方市環境部主催のワークショップに参加した。
節電、地球温暖化防止のための呼びかけ(意識づけのための)
階段を使う
ディスカッションして常に地球環境が極めて危険ということを忘れないようにしている。

4.4 国の「温室効果ガス実質的排出量ゼロ」宣言による取り組み姿勢の変化（問7）

2020年に国により「2050年までに二酸化炭素を含む温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを目指す」と宣言されたことによる地球温暖化対策への取り組み姿勢の変化については、全体の36%が「まだ取り組んでいないが、今後取り組んでみようという姿勢に変わった」、5%が「現在取り組んでいるが、より取り組もうという姿勢に変わった」、17%が「現在取り組んでおり、継続して取り組む」と回答していた。一方で、28%は「宣言を知らなかった」、14%は「現在取り組んでいないし、今後取り組む予定もない」と回答していた。

また、市内在住の適否で傾向は見られなかった。

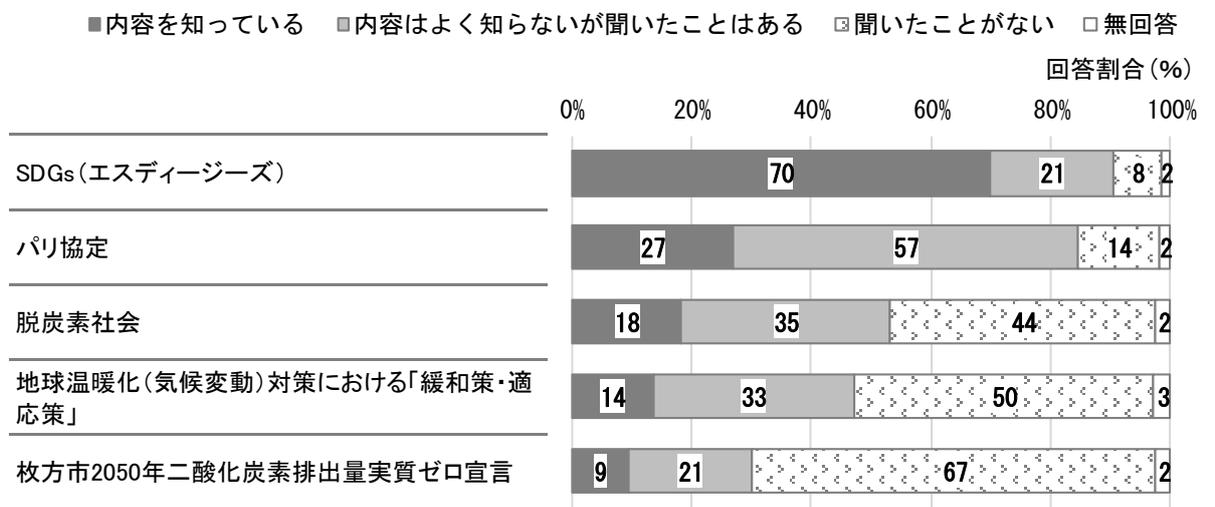


4.5 地球温暖化防止に関連する言葉の認知状況（問8）

地球温暖化防止の取り組みに関する言葉の認知状況として、「内容を知っている」の回答が最も多かったものは「SDGs」（全体の70%）であった。次いで、「パリ協定」についても全体の27%が「内容を知っている」と回答していた。

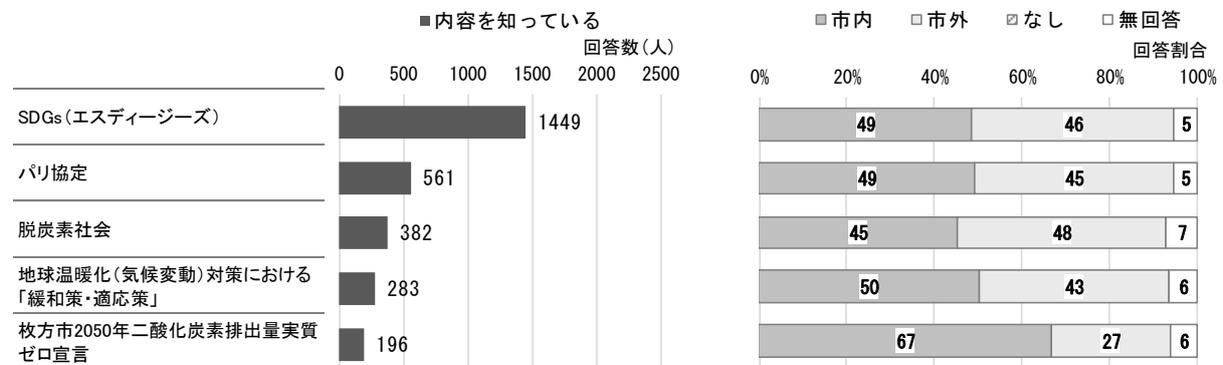
「脱炭素社会」及び「地球温暖化対策における緩和策・適応策」については、「内容を知っている」の回答は14~18%に留まったが、「内容をよく知らないが聞いたことはある」は3割程度回答があった。

最も認知度が低かったものは、「枚方市2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言」についてで、「内容を知っている」及び「内容はよく知らないが聞いたことはある」を合わせても約3割程度の回答に留まった。



(対象者数：2,074)

また、市内在住の適否については、「枚方市2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言」の項目で市内在住の方が多い傾向にあった。



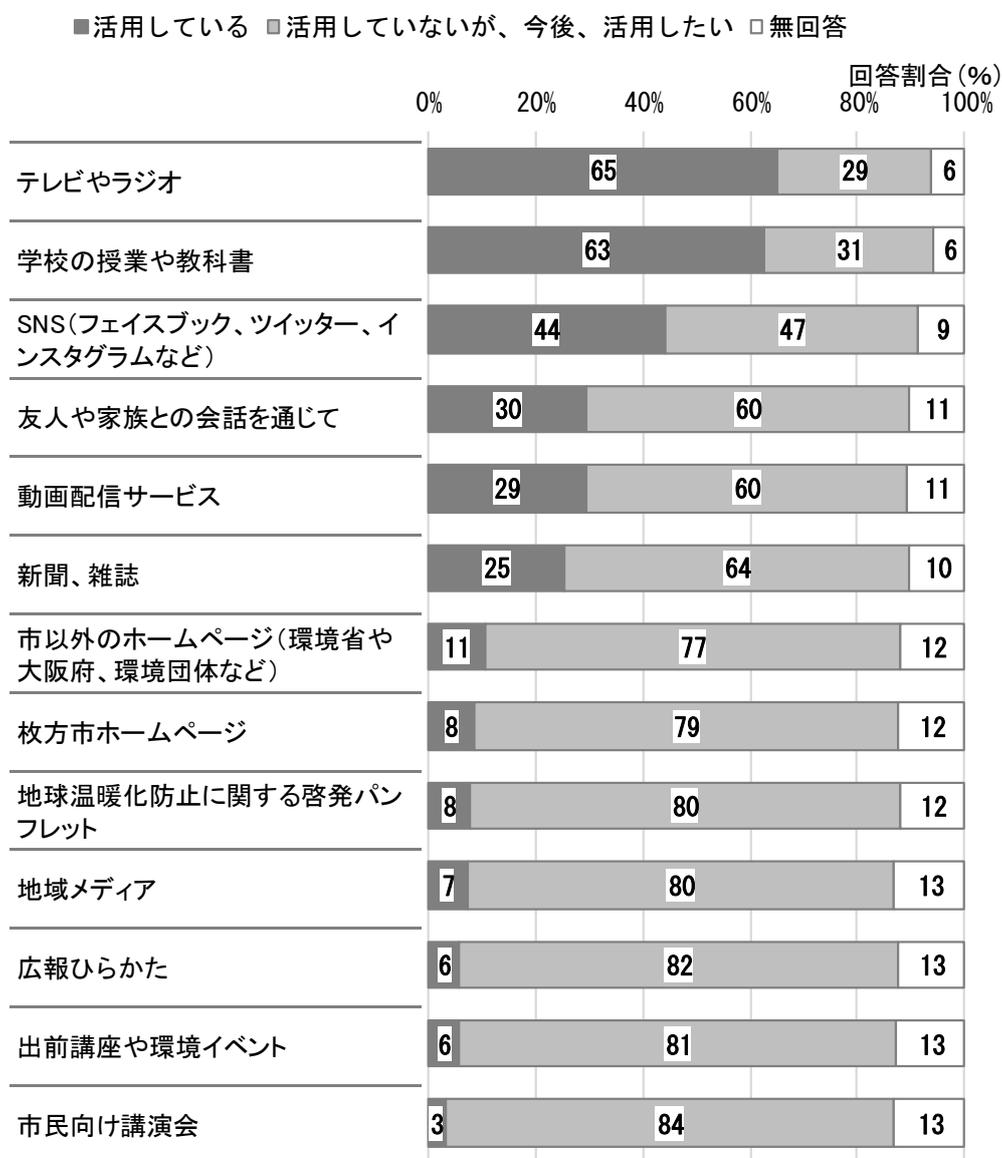
(対象者数：2,074)

4.6 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための手法（問9）

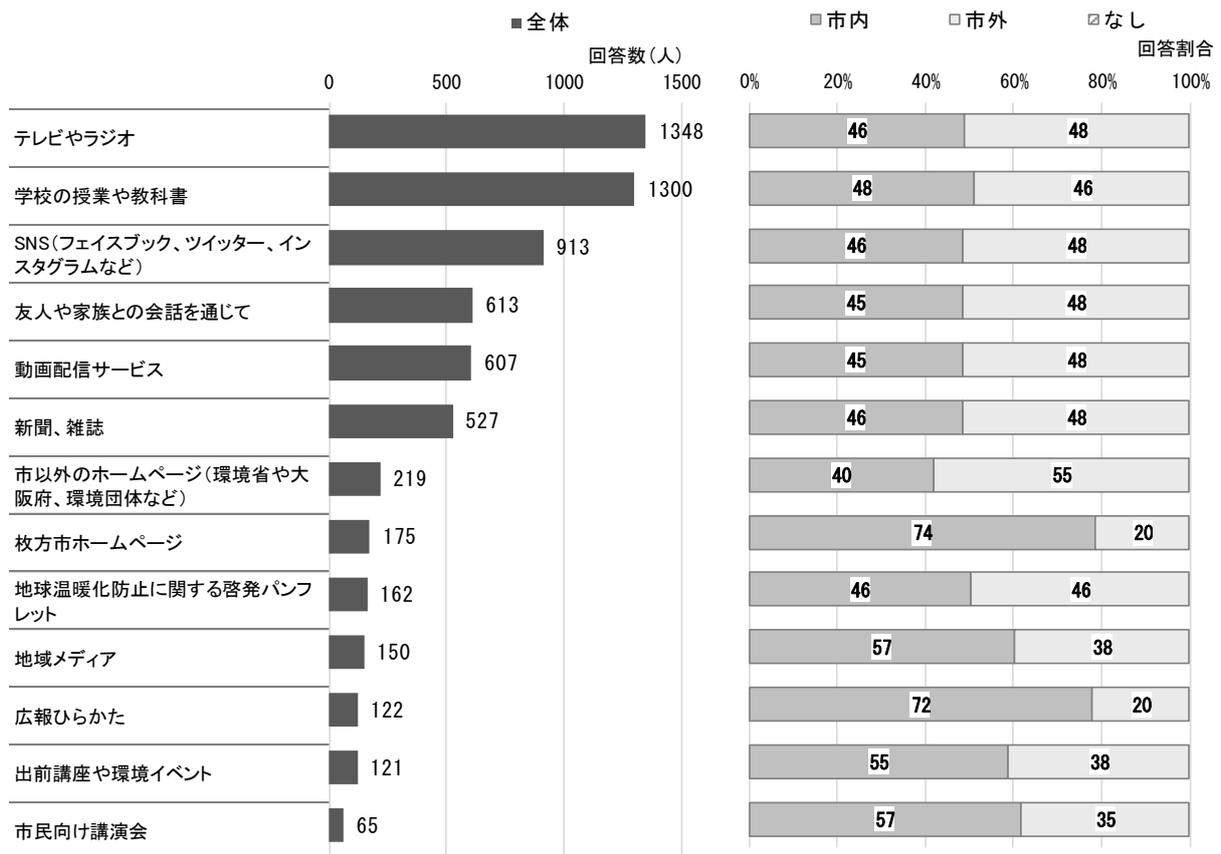
「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための方法として、「活用している」の回答が特に多かった2項目は「テレビやラジオ」（全体の65%）、次いで「学校の授業や教科書」（63%）であった。次いで、「SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど）」（44%）となり、「友人や家族との会話を通じて」及び「動画配信サービス」、「新聞、雑誌」が25～30%の割合で多く回答があった。

これら以外の項目については、「活用している」の回答が約1割以下となっていた。

市内在住の適否に関しては、「広報ひらかた」、「枚方市ホームページ」、「出前講座や環境イベント」、「市民向け講演会」、「地域メディア」の項目において、市内在住者の回答が多い傾向にあった。



(対象者数：2,074)



(対象者数 : 2,074)

【問9の自由回答の概要】

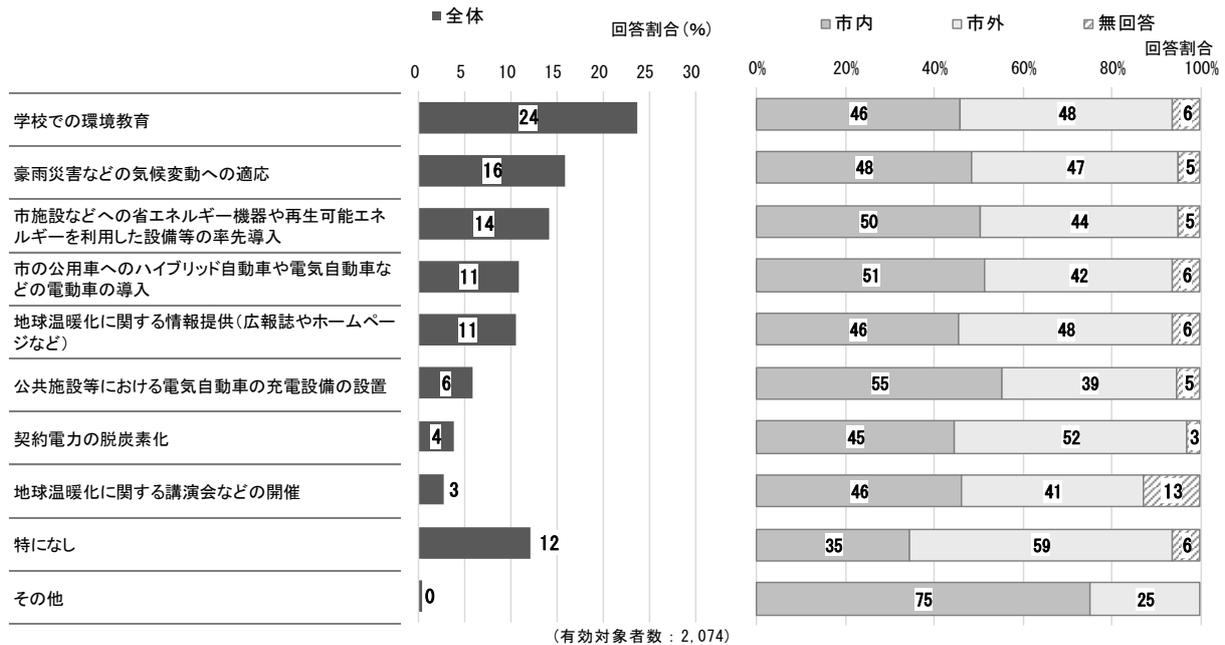
地球温暖化対策に関する情報を得る方法についての自由回答を一覧にした。

内容
書籍
塾
家族や友達との会話
自身の体感
映画
ニュース
学校などに貼られた啓発ポスター
ボーイスカウト、ガールスカウト
街頭広告

4.7 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策（問 10）

今後、枚方市に期待する地球温暖化対策としては、「学校での環境教育」（全体の 24%）で最も多く、次いで「豪雨災害などの気候変動への適応」（16%）、「市施設などへの省エネルギー機器や再生可能エネルギーを利用した設備等の率先導入」（14%）、「市の公用車へのハイブリッド自動車や電気自動車などの電動車の導入」及び「地球温暖化に関する情報提供（広報誌やホームページなど）」（11%）の回答が多かった。

また、市内在住の適否で傾向は見られなかった。



【問 10 の自由回答の概要】

地球温暖化対策等に関する自由回答意見について一覧にした。

内容
コロナ対策のための休校措置等
暴風だけでなく、大雨でも休校措置を考えてほしい。
タブレットを活用することによって、紙の使用を抑える。
草木を増やす
全てするべき。
学生に地球にやさしいものを作る機会をつくる。
思い込みの修正、正しい情報の提供。
ボランティア活動

5. 高校生及び市民のアンケート集計結果比較

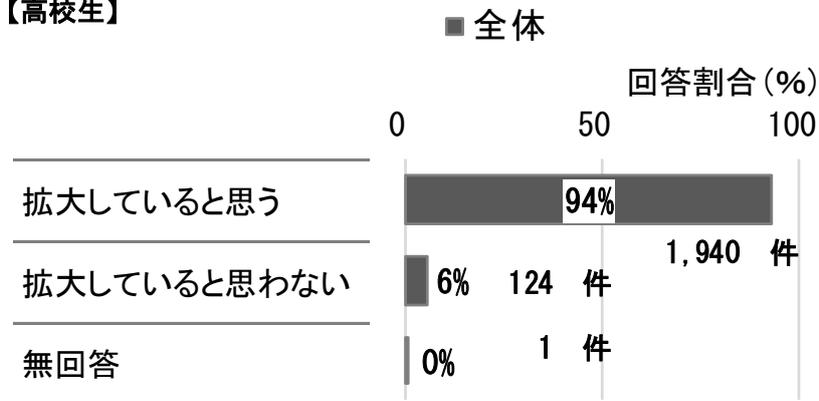
高校生アンケートの結果を市民アンケートの結果と比較した。共通する質問は「問3」、「問4」、「問5」、「問6」、「問7」、「問8」、「問9」、「問10」である。

5.1 地球温暖化による影響拡大への認識

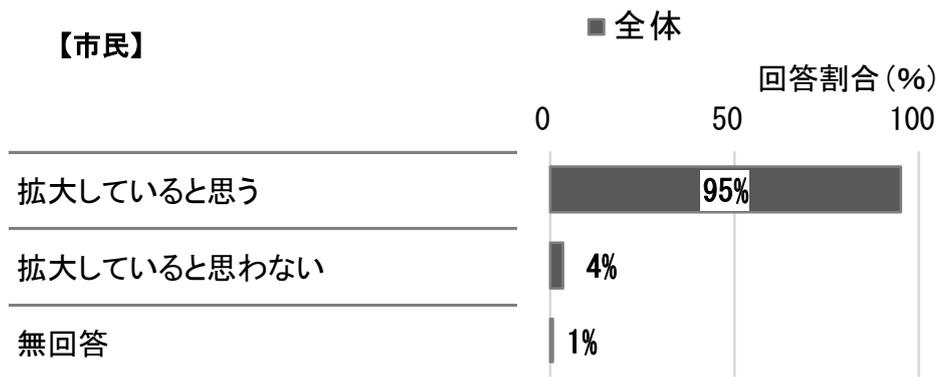
(1) 地球温暖化による影響が拡大していると思う理由（問3）

地球温暖化による影響が「拡大していると思う」の回答率は、高校生及び市民で90%以上であった。

【高校生】

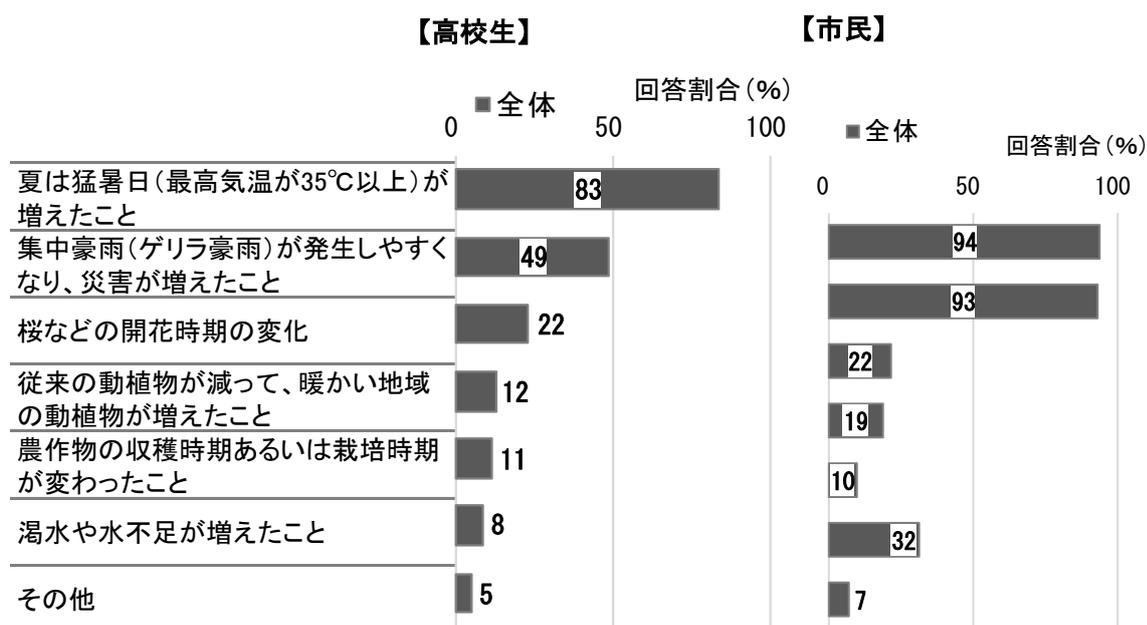


【市民】



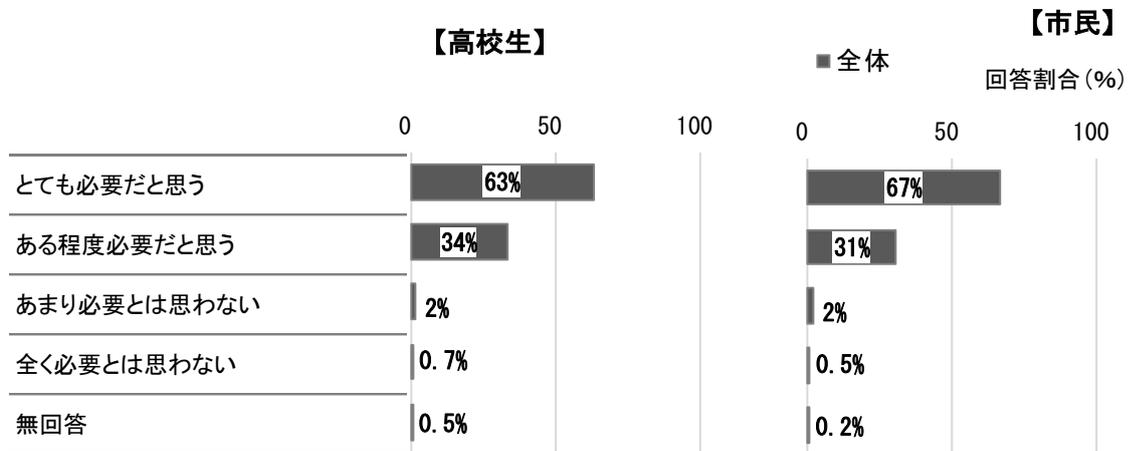
(2) <問3で「1 拡大していると思う」を選んだ方にお聞きします>なぜそのように思いましたか。(問4)

「地球温暖化による影響が拡大していると思う理由」について聞いたところ、高校生及び市民で最も回答の多かったものは、「夏は猛暑日(最高気温が35℃以上)が増えたこと」、次いで「集中豪雨(ゲリラ豪雨)が発生しやすくなり、災害が増えたこと」となった。市民アンケートよりも高校生アンケートの方が、「集中豪雨(ゲリラ豪雨)が発生しやすくなり、災害が増えたこと」が少ない傾向にあった。



(3) 地球温暖化対策は必要だと思うか。(問5)

「地球温暖化対策は必要だと思うか」の質問に対しては、高校生及び市民ともに「とても必要だと思う」との回答が最も多く全体で60%以上、「ある程度必要だと思う」と併せて9割以上が「必要だと思う」としていた。

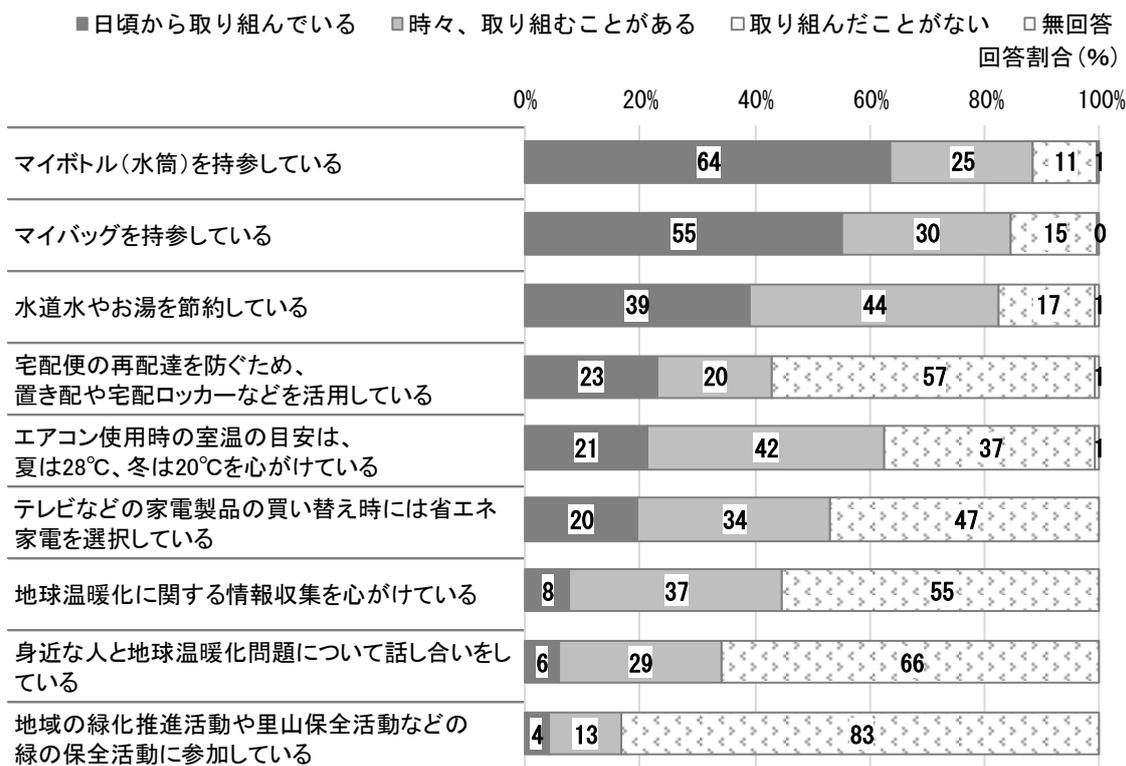


5.2 日常的に行っている地球温暖化防止の取り組み（問6）

地球温暖化防止の取り組みについて聞いたところ、高校生及び市民で「日頃から取り組んでいる」との回答が最も多かった項目は「マイボトル（水筒）の持参をしている」及び「マイバッグを持参している」であった。全体的に、市民において「日頃から取り組んでいる」の回答が多く、高校生では積極的にできない「省エネ家電の購入」や「エコドライブ」等の取り組みもなされており、市民の環境意識は全体的に高いことが伺える。

一方で、高校生及び市民で共に、「地球温暖化に関する情報収集を心がけている」、「身近な人と地球温暖化問題について話し合いをしている」、「緑の保全活動に参加している」といったことに「日頃から取り組んでいる」人は少ない傾向にあった。ここから、日常生活において取り組むことはできるものの、環境イベント等に自ら参加し取り組むことは難しいことがわかった。この課題を解決するには、学校生活や学校行事に環境イベント等を組み込み、参加しやすい環境を整備することが求められる。

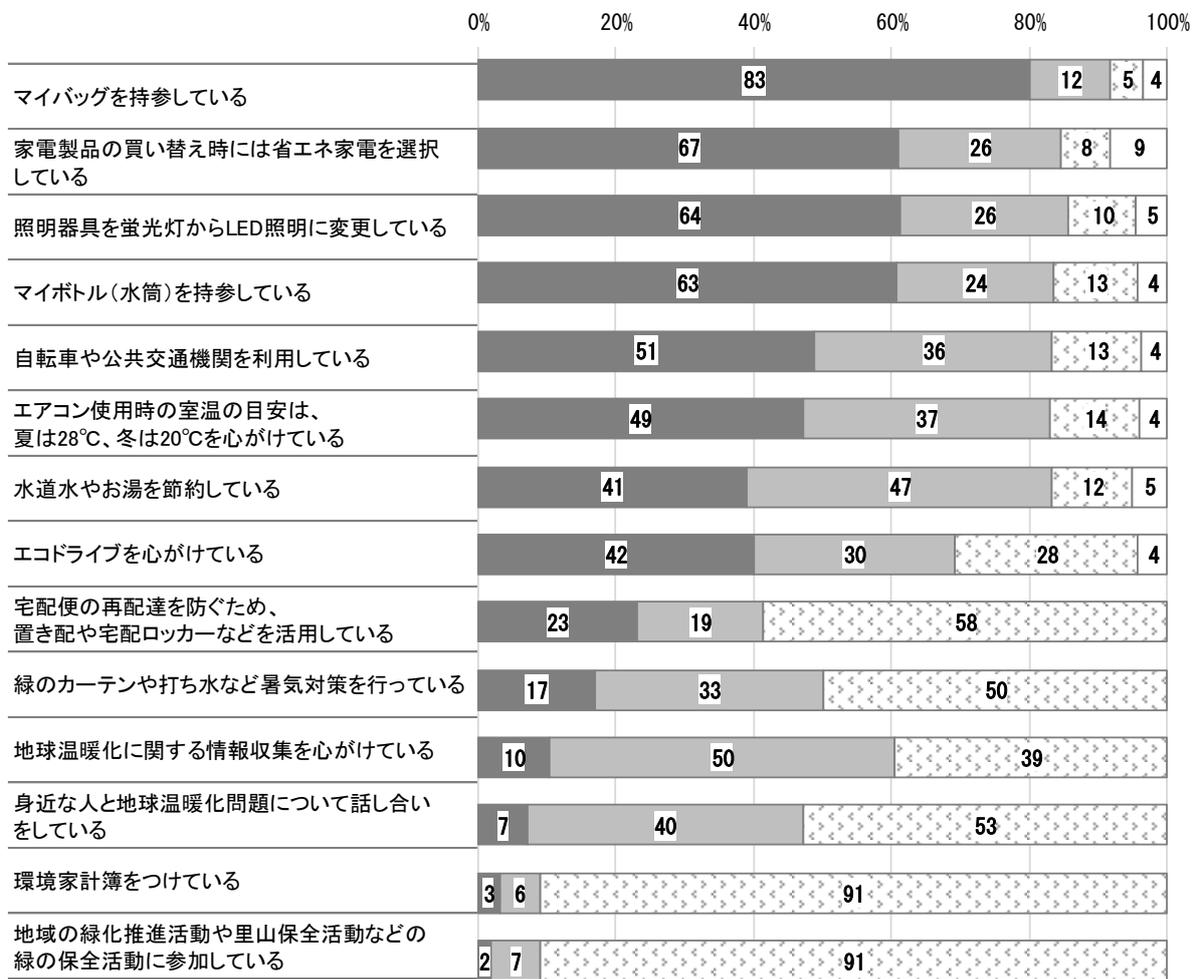
【高校生】



(対象者数：2,074)

【市民】

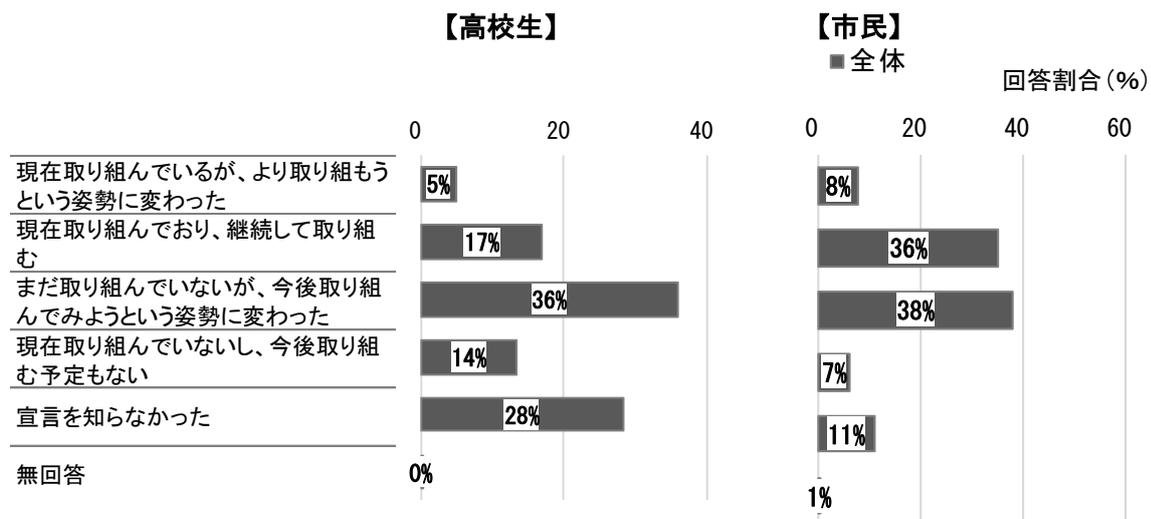
日頃から取り組んでいる
 時々、取り組むことがある
 取り組んだことがない
 無回答



5.3 国の「温室効果ガス実質的排出量ゼロ」宣言による取り組み姿勢の変化（問7）

「温室効果ガス実質的排出量ゼロ宣言」による地球温暖化対策への取り組み姿勢の変化については、高校生及び市民で最も多い回答は、「まだ取り組んでいないが、今後取り組んでみようという姿勢に変わった」であった。また、問6で取り組み実施状況についても分かるように、高校生よりも市民の方が地球温暖化対策への取り組みを行っているため、「現在取り組んでおり、継続して取り組む」の回答も市民の方が回答が多くなった。

一方で、高校生の方が「宣言を知らなかった」の回答率は多く、学校等において宣言の内容について周知してもらおう機会が必要だと考えられる。

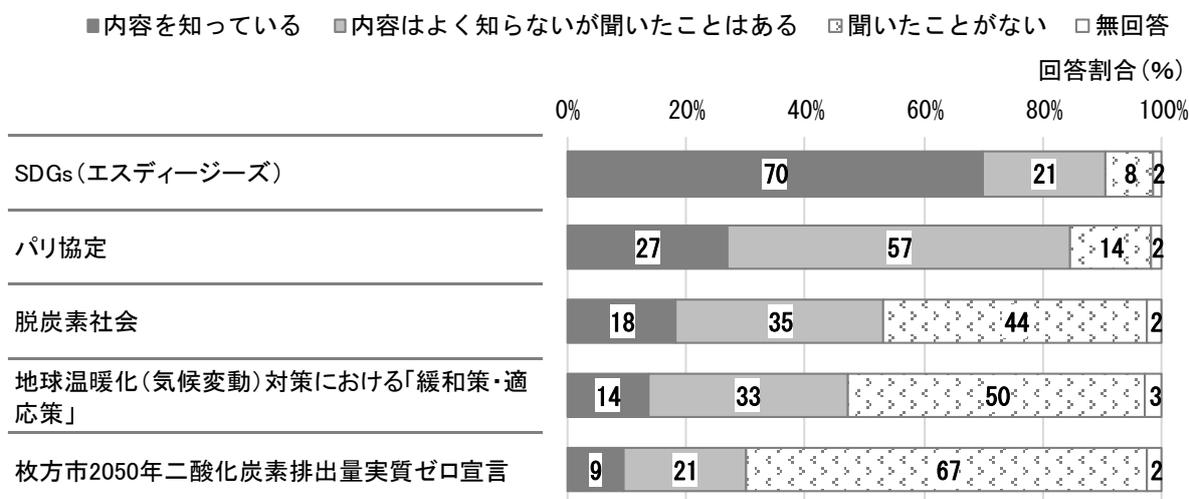


5.4 地球温暖化防止に関連する言葉の認知状況（問8）

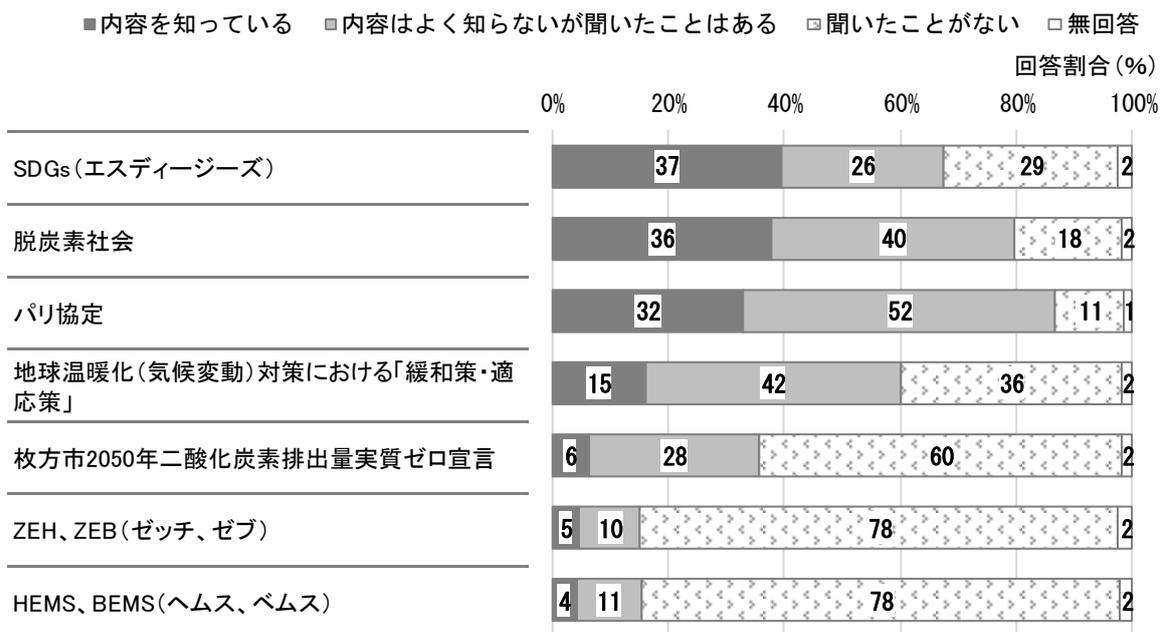
地球温暖化防止の取り組みに関する言葉の認知状況として、「内容を知っている」の回答が最も多かった項目は高校生で「SDGs」、「パリ協定」、「脱炭素社会」、「緩和策・適応策」、「枚方市2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言」の順に多かった。これは、市民よりも「脱炭素社会」について認知している人が少ないという結果であった。しかし、「SDGs」に関しては高校生で7割に認知されており、「SDGs」に関する意識は高校生の方が高いことが伺える。

高校生及び市民で、最も認知度が低かった「枚方市2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言」については、学校等において宣言の内容について周知してもらう機会が必要だと考えられる。

【高校生】



【市民】

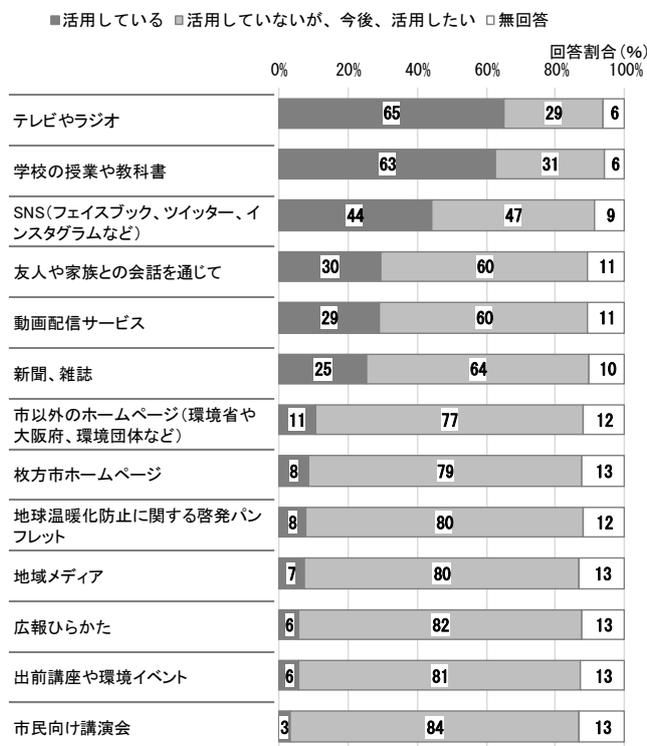


5.5 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための手法（問9）

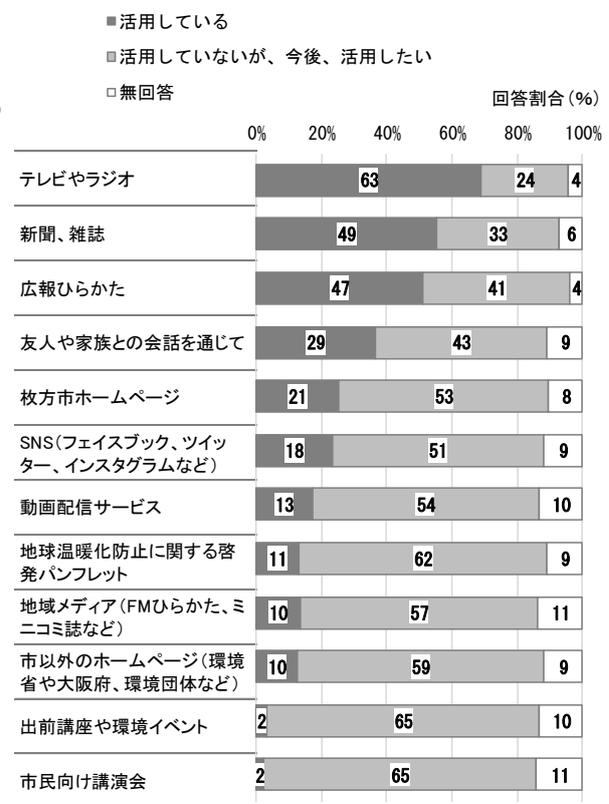
「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための方法について聞いたところ、高校生では回答の多かった順に、「テレビやラジオ」、「学校の授業や教科書」、「SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど）」、「友人や家族との会話を通じて」、「動画配信サービス」、「新聞、雑誌」となっている。これは市民の結果と異なり、Web媒体のものが上位に上がっていた。一方で、「広報ひらかた」や「枚方市ホームページ」の回答は少なかった。

これより、高校生に対して情報発信を行う場合は、「学校等呼び掛ける」または「SNS等の地球温暖化に関して周知するWeb媒体を作成し、学校等呼び掛けてもらう」といった方法が想定される。いずれにしても、学校を通して周知することが最も効果的だと考えられる。

【高校生】



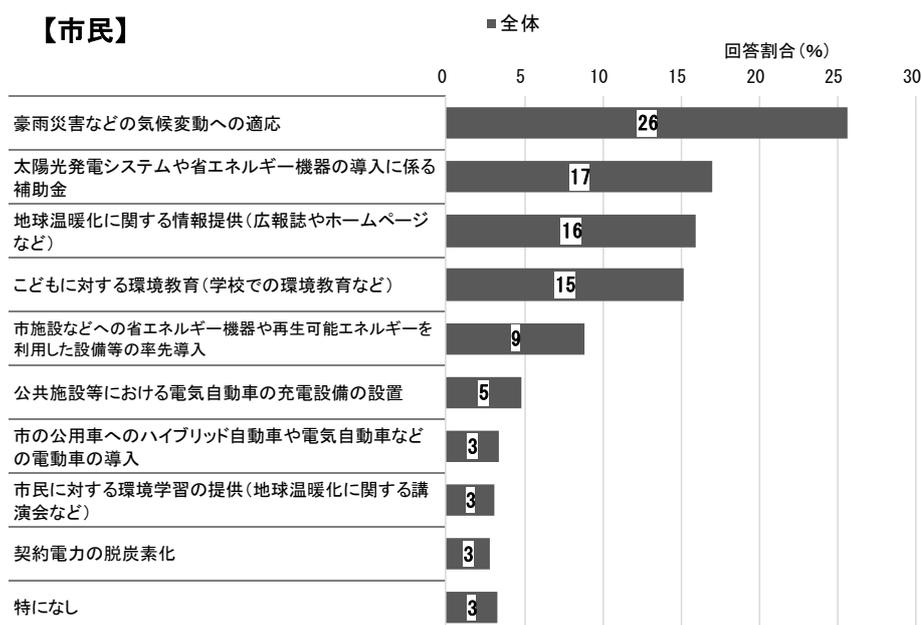
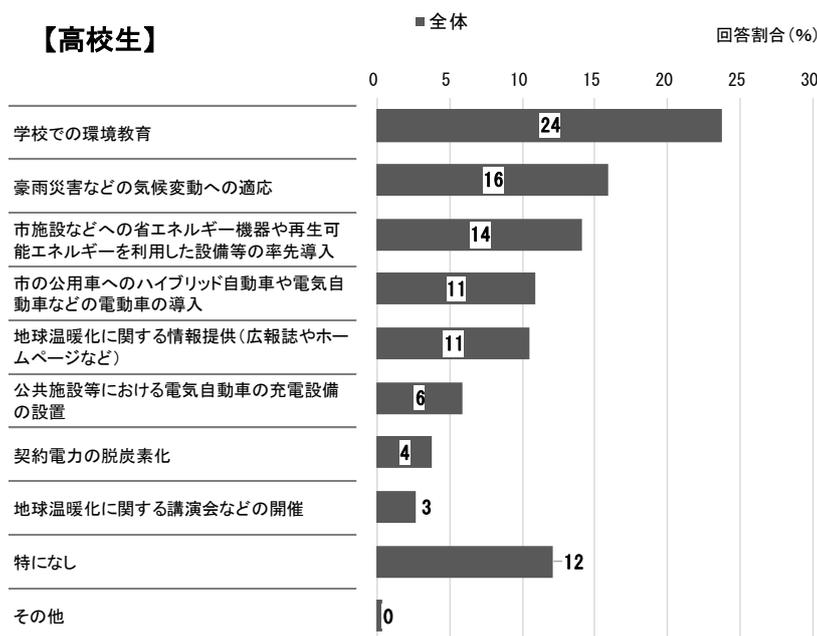
【市民】



5.6 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策（問 10）

「今後、枚方市に期待する地球温暖化対策」について聞いたところ、高校生で最も回答の多い項目は「学校での環境教育」であり、環境学習への高い意欲が伺えます。また、高校生及び市民で回答の多い項目は、「豪雨災害などの気候変動への適応」であり、世代問わず重要な対策だと言える。

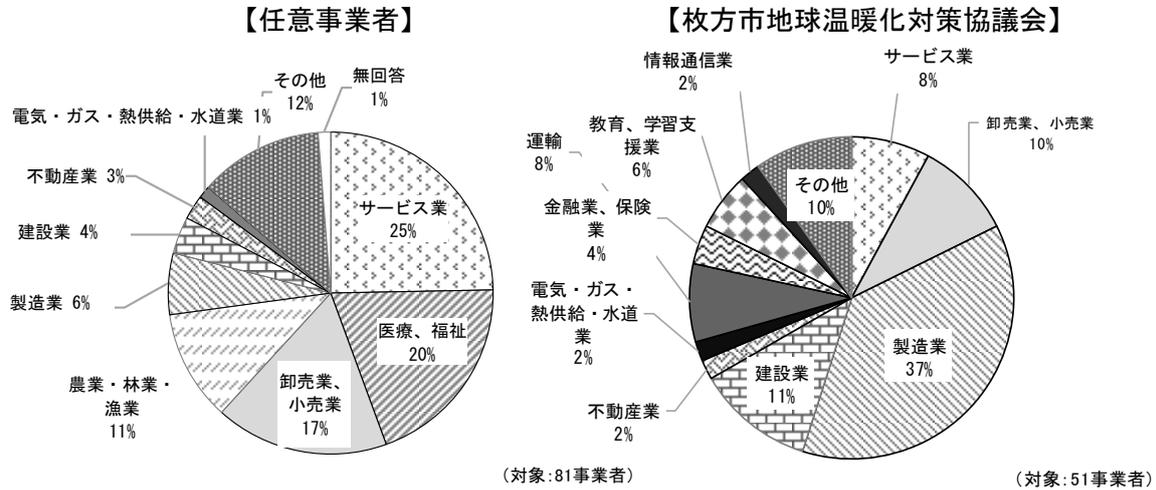
高校生においては、環境問題について知りたいという意欲が高いため、正しい知識を周知できる仕組みづくりが必要だと考えられる。また、地球温暖化対策に加え、温暖化による豪雨災害の頻発を危惧し、災害への備えや地球温暖化（気候変動）対策における適応策に関する情報提供が必要となってくると考えられる。



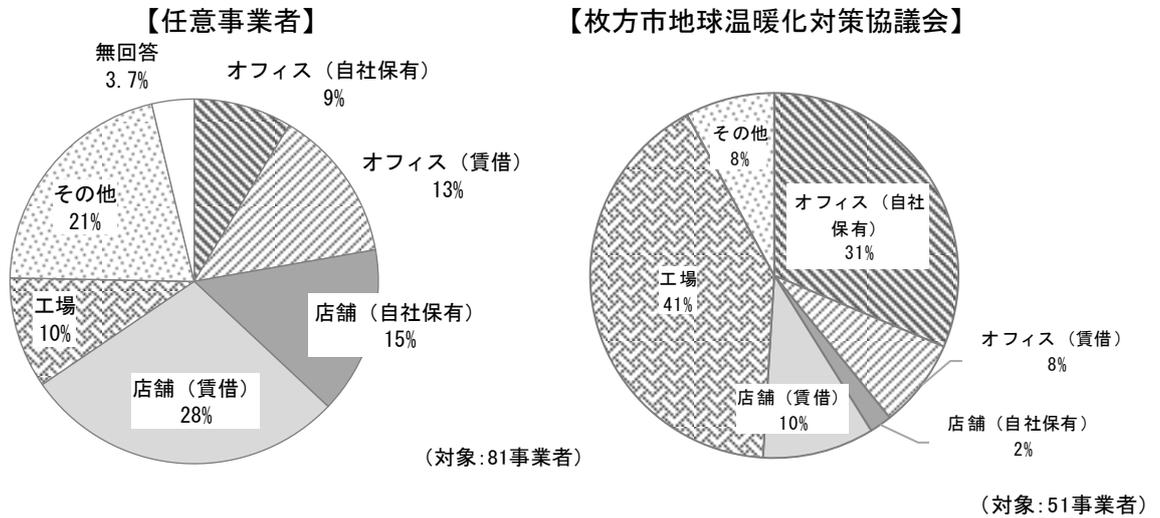
6. 事業者へのアンケート集計結果

6.1 回答者の属性

■業種（問1）

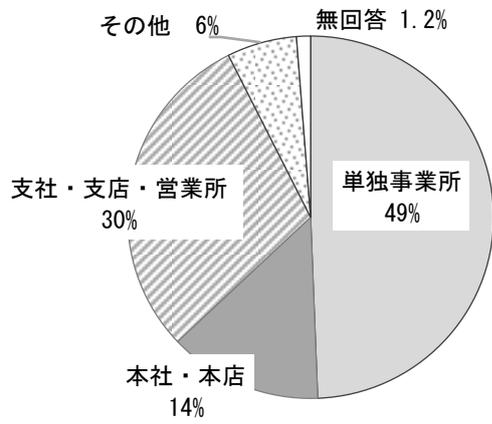


■事業所形態（問2）

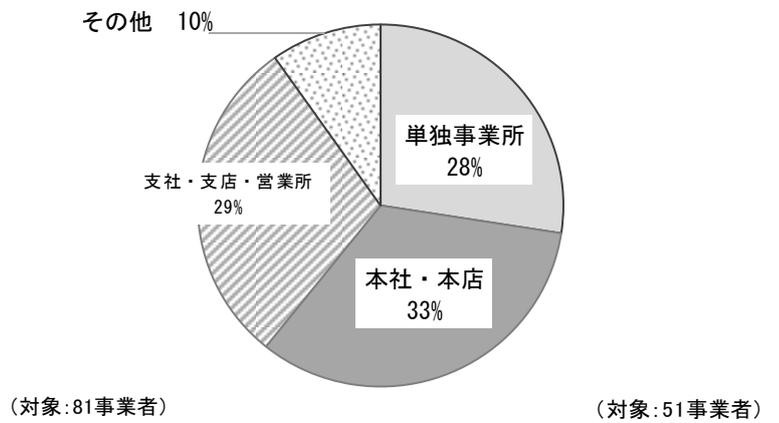


■事業所機能（問3）

【任意事業者】

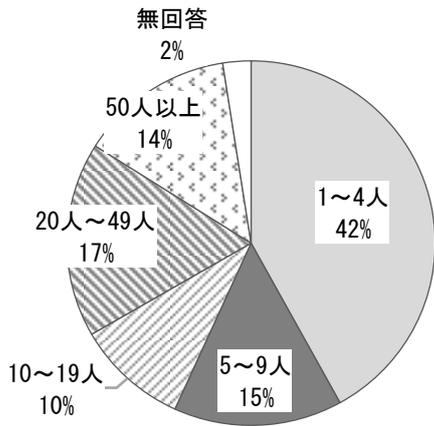


【枚方市地球温暖化対策協議会】

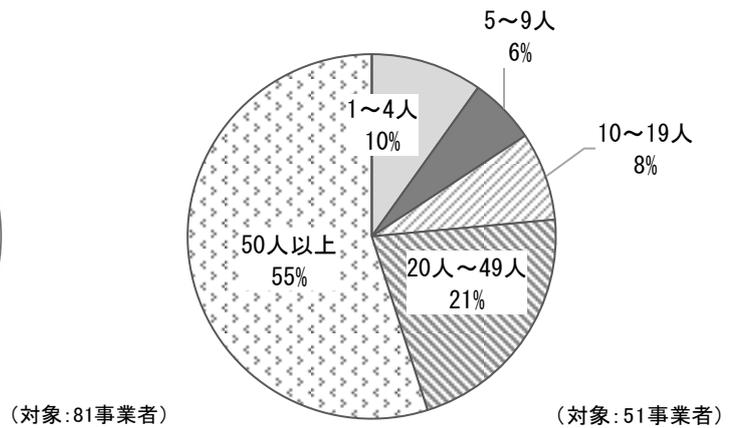


■従業員規模（問4）

【任意事業者】



【枚方市地球温暖化対策協議会】



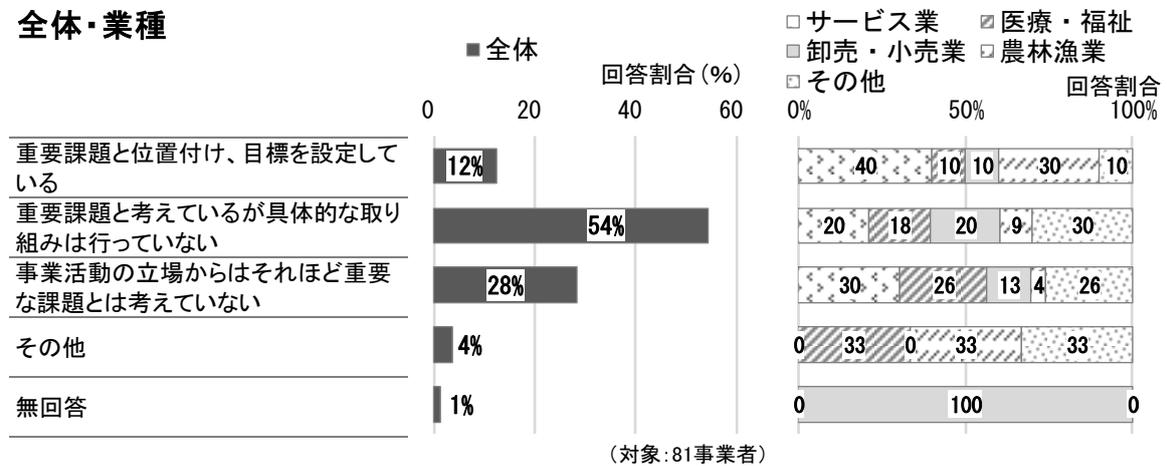
6.2 地球温暖化防止の取り組みをどのように位置づけているか（問5）

【任意事業者】

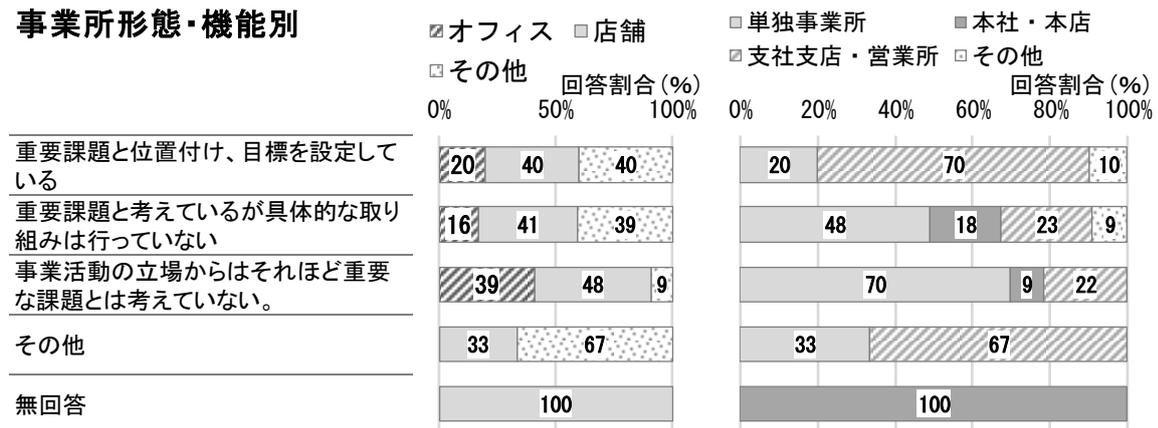
地球温暖化防止の取り組みについて、無作為抽出した事業者では、「重要課題と位置付け、目標を設定している」と回答した事業者は12%となり、「重要課題と考えているが具体的な取り組みは行っていない」と回答した事業者が過半数、「事業活動の立場からはそれほど重要な課題とは考えていない」と答えた事業者が3割となった。

無作為抽出した事業者の結果を業種別でみると、「農林水産業」で、「重要課題と位置付け、目標を設定している」割合が比較的高い傾向にあった。事業所形態では「オフィス」において「事業活動の立場からはそれほど重要な課題とは考えていない」とする傾向が見られ、事業所機能別では、「支社支店・営業所」の方が「重要課題と位置付け、目標を設定している」とする傾向が多く見られた。

全体・業種



事業所形態・機能別



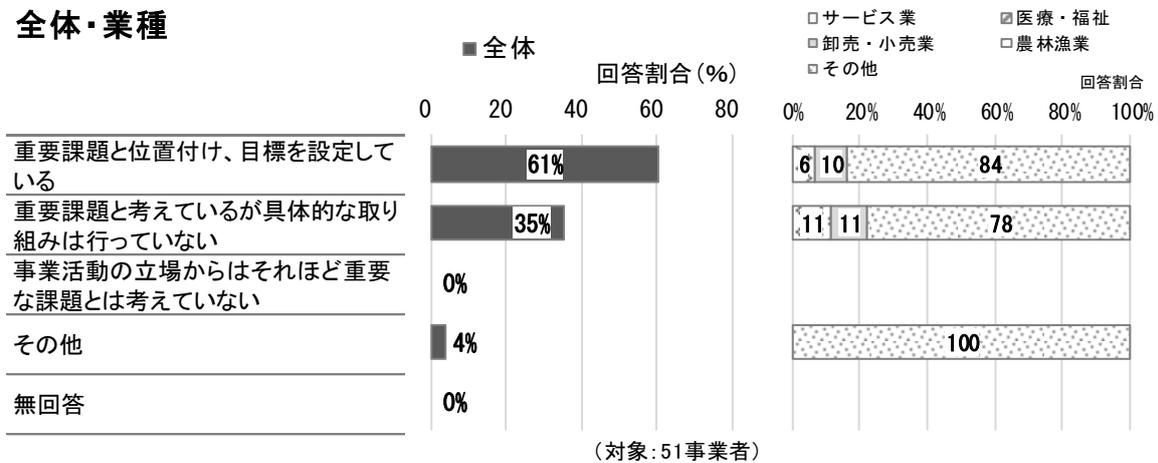
【枚方市地球温暖化対策協議会】

枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者では、地球温暖化防止の取り組みについて、「重要課題と位置付け、目標を設定している」と回答した事業者は61%となり、「重要課題と考えているが具体的な取り組みは行っていない」と回答した事業者が35%、「事業活動の立場からはそれほど重要な課題とは考えていない」と回答した事業者はいなかった。

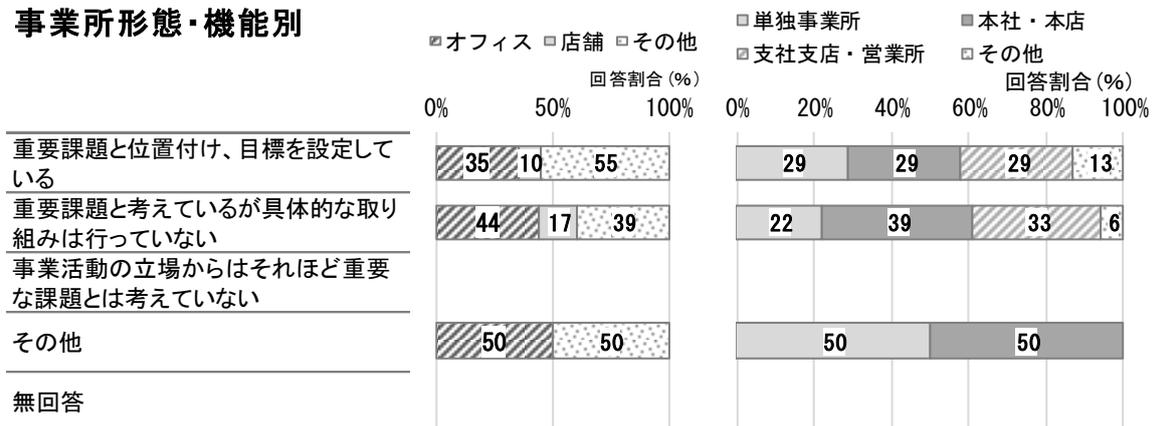
これにより、枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者の方が、地球温暖化対策について意識が高く、すでに対策を講じていることがわかる。

枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者の結果を業種別でみると、「その他」で、「重要課題と位置付け、目標を設定している」割合が比較的高かった。その他の事業所形態・機能、従業員規模等で有意な差は殆ど見られなかった。

全体・業種

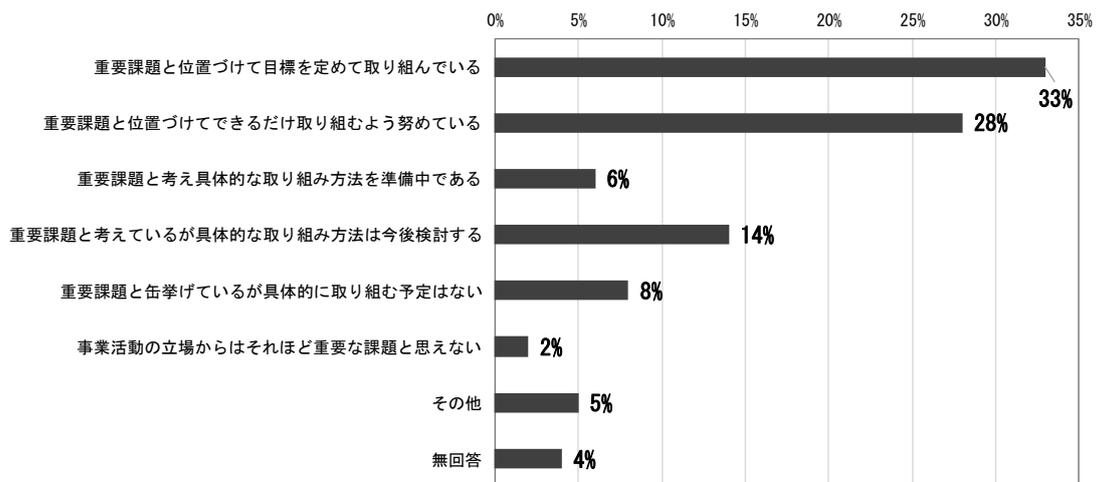


事業所形態・機能別



【前回調査との比較】

前回調査との比較を行ったところ、「目標を定めている、または取り組むように努めている」と回答した事業者は61%、「重要課題と考えているが、取り組んでいない」と回答した事業者は28%、「重要な課題と考えていない」は2%であった。今回調査では、「取り組んでいる」事業者は減少しており、「重要課題だと考えているが取り組んでいない」事業者が増えていた。また、「重要課題と考えていない」も増えていた。



【問5の自由回答の概要】

事業者が地球温暖化防止について、どのように位置づけているか聞いたところ、以下の意見があった。なお、回答数が少ないため、テキストマイニングは行っていない。

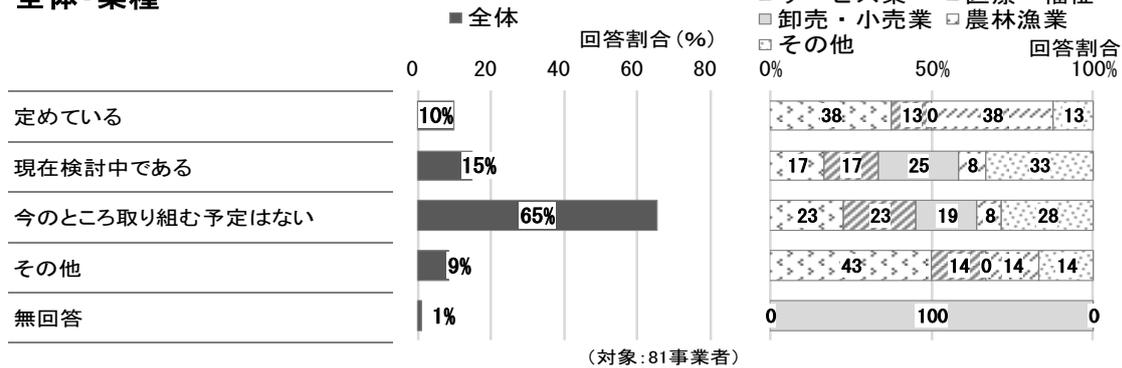
番号	内容
1	本社主導で紙の使用量、電力使用量等前月比、前年比でチェックしている
2	現業態での取り組み方がわからない
3	現在は特にとりくみはなし
4	数値としては定めていないが、努力している

6.3 温室効果ガス排出量の削減に向けて、削減目標や方針を定めているか（問6）

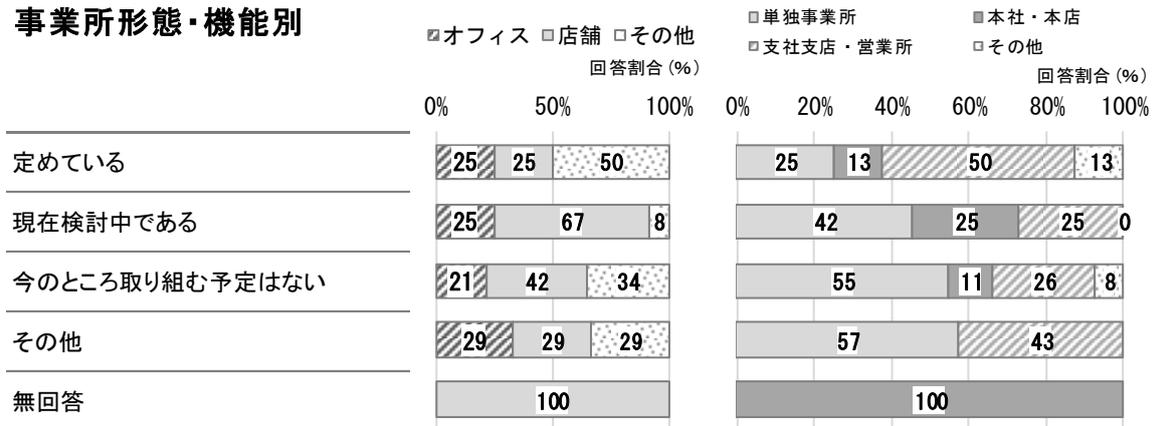
【任意事業者】

無作為抽出した事業者について、温室効果ガス排出量の削減に向けて削減目標や方針について回答を求めた。「定めている」と回答した事業者は10%、「現在検討中である」が15%、「今のところ取り組む予定はない」としている事業者が多数の65%となった。業種では「農林漁業」で「定めている」割合が比較的高く、その他の事業所形態・機能、従業員規模等で有意な差は殆ど見られなかった。

全体・業種



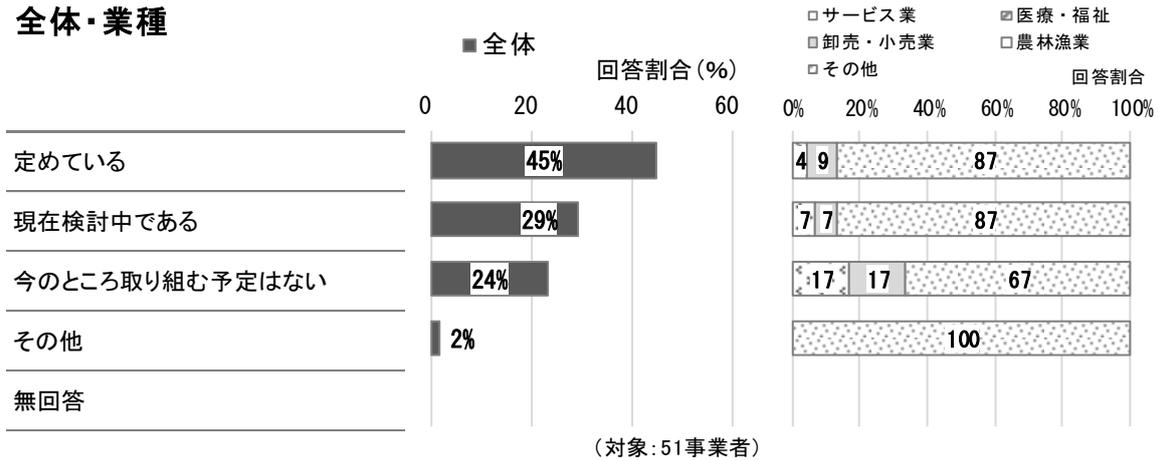
事業所形態・機能別



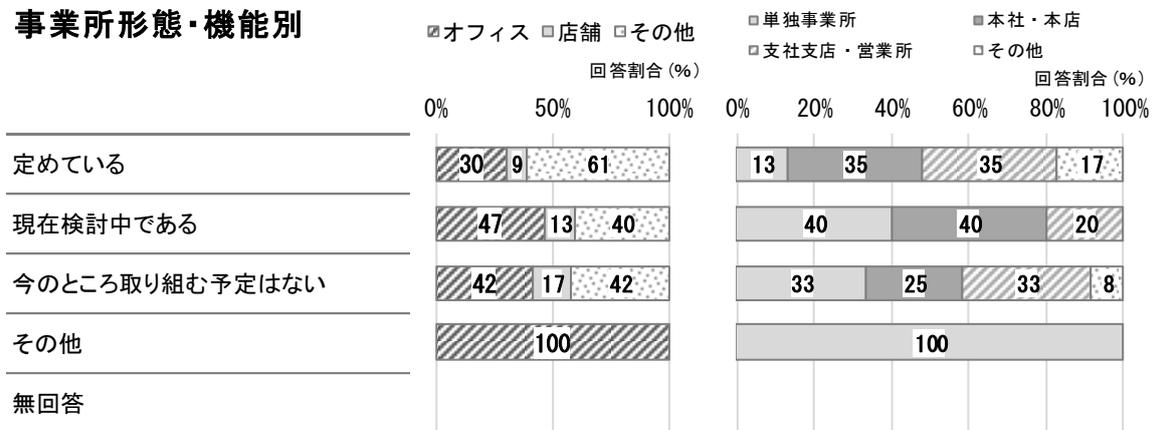
【枚方市地球温暖化対策協議会】

枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者において、温室効果ガス排出量の削減に向けて、削減目標や方針を聞いたところ、目標を「定めている」と回答した事業者は45%、「現在検討中である」が29%、「今のところ取り組む予定はない」が24%となった。業種では「その他」で「その他」割合が比較的高かった。事業所形態・機能別では、「単独事業所」で目標を「定めている」と回答している事業者が少なくなる傾向にあった。

全体・業種



事業所形態・機能別



【課題・まとめ】

無作為抽出した事業者に対する課題は、地球温暖化対策に関する関心や意識が低い傾向にあり、そのため地球温暖化対策や目標設定を実施していない事業者が多い点である。なので、事業者にとっても、得するような省エネ施策について広く周知を強化する必要があると思われる。特に、今回調査した事業所は、事業所機能が「単独事業所（49%）」または従業員数が「1～4人（全体の42%）」となっており、小規模事業所が多い傾向にある。周知すべき省エネ対策はハード対策（設備更新等）だけでなく、詳しい省エネ対策をまとめたリーフレット等で周知するといったソフト対策に力を入れる必要があると思われる。

枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者についても、非常に意識が高いものの、事業所形態・機能別が「単独事業所」である事業者は、省エネ目標の設定が難しいと思われるため、無作為抽出した事業所と同様にソフト対策の細かなアドバイスや省エネ診断などの案内を積極的に周知することが効果的だと考えられる。

【問6の自由回答の概要】

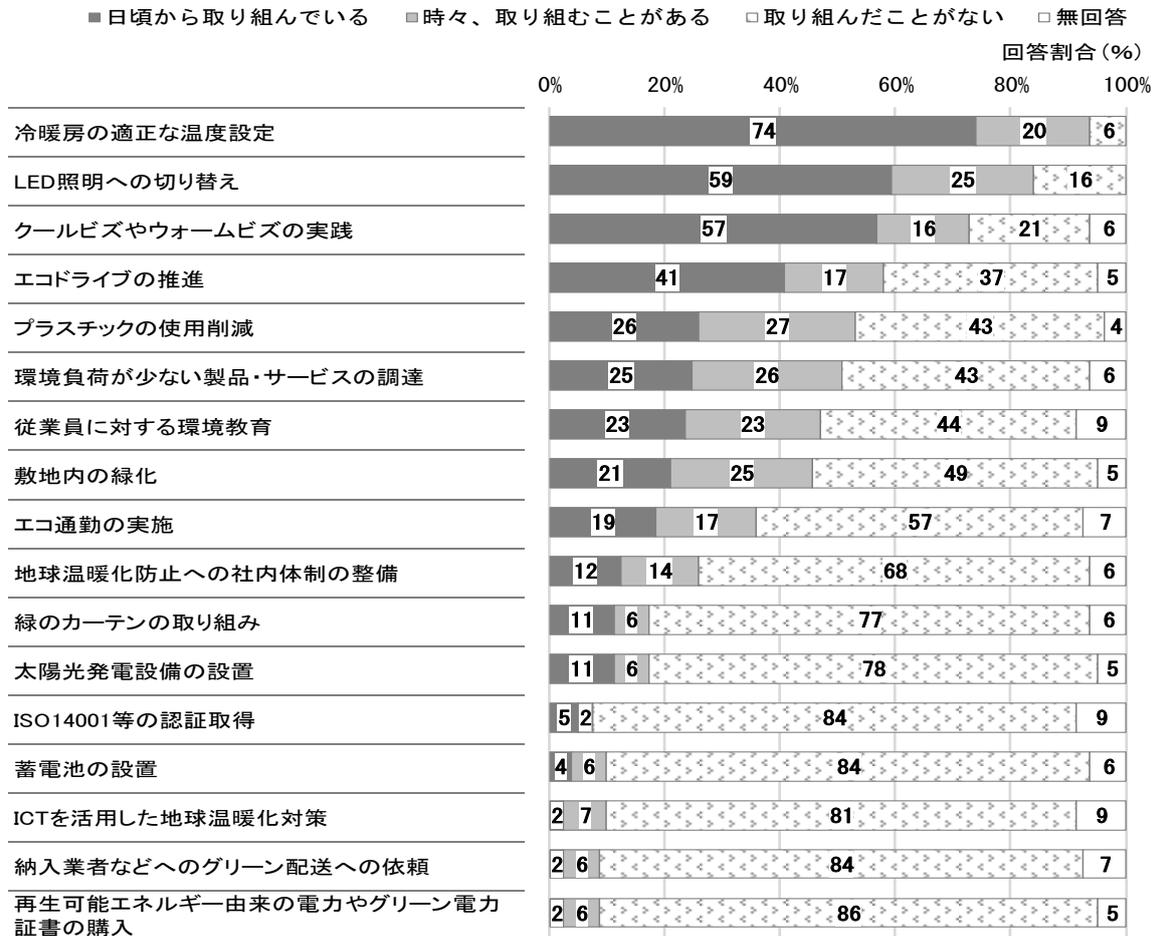
削減目標や方針を決めているかについて聞いたところ、以下の意見があった。なお、回答数が少ないため、テキストマイニングは行っていない。

番号	内容
1	本社主導で紙の使用量、電力使用量等前月比、前年比でチェックしている
2	現業態での取り組み方がわからない
3	数値としては定めていないが、努力している

6.4 事業所において取り組んでいる地球温暖化防止の取り組み（問7）

【任意事業者】

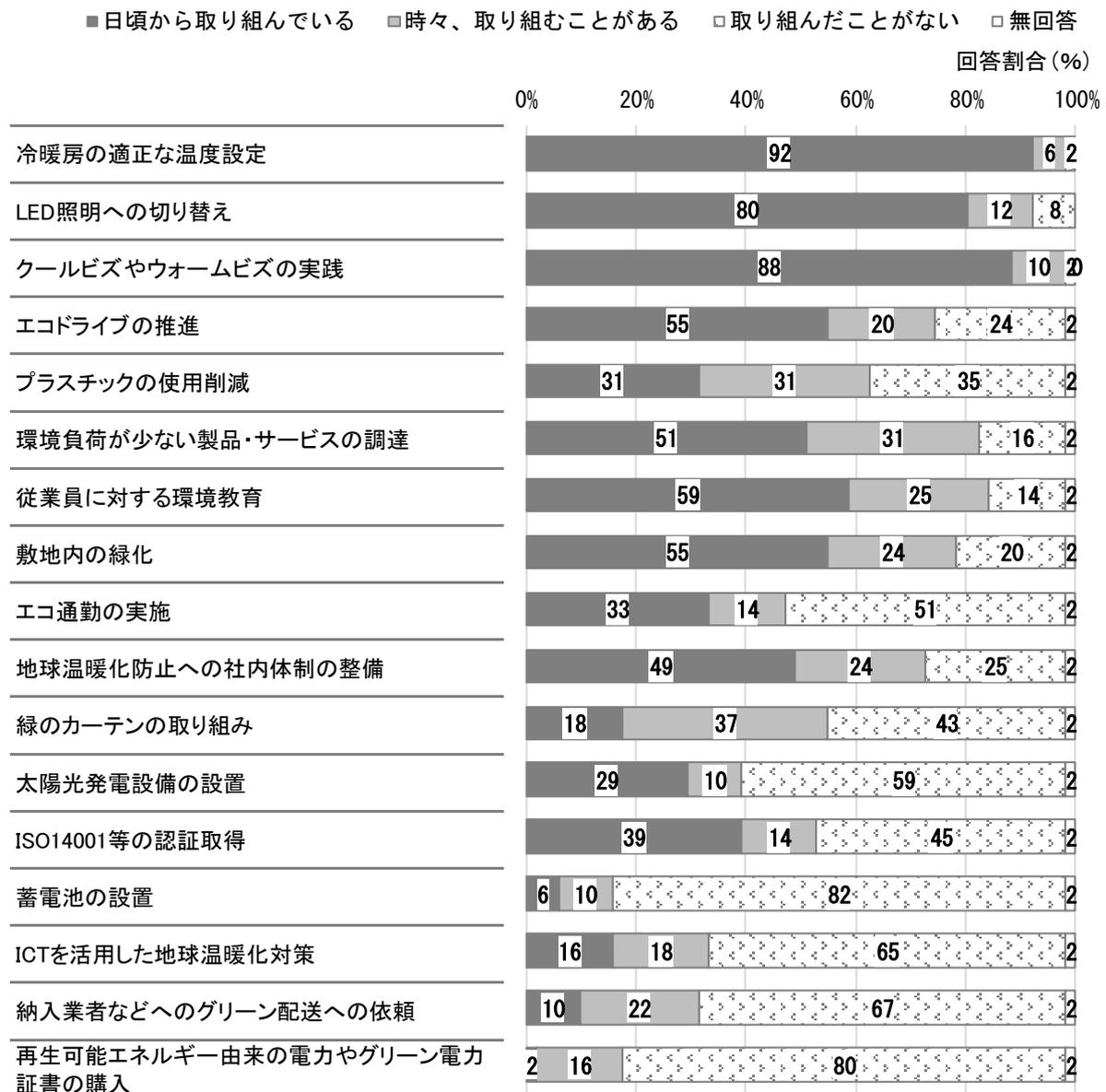
無作為抽出した事業者の地球温暖化防止の取り組みとして、「日ごろから取り組んでいる」との回答がもっと多かったのは「冷暖房の適正な温度設定」で74%、次いで「LED照明への切り替え」が59%、「クールビズやウォームビズの実践」が57%で、残りの項目は半数に満たない状況であった。



(対象：81事業者)

【枚方市地球温暖化対策協議会】

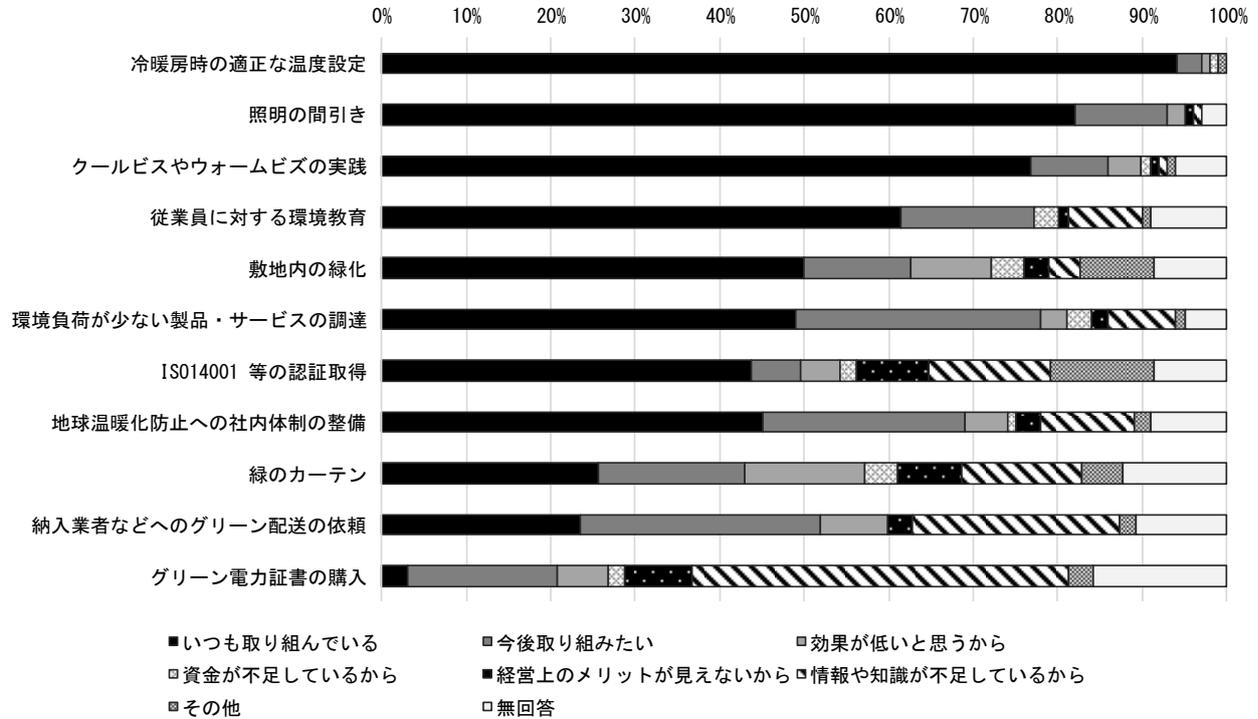
枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者において、地球温暖化防止の取り組みとして、「日ごろから取り組んでいる」と回答されている取り組みの中で、半数以上の割合で実施されていたものは、多かった順に「冷暖房の適正な温度設定」、「クールビズやウォームビズの実践」、「LED照明への切り替え」、「従業員に対する環境教育」、「エコドライブの推進」、「敷地内の緑化」、「環境負荷が少ない製品・サービスの調達」となり、7項目もの取り組みについて実施されていた。取り組まれている割合が極端に少なかったものは、「蓄電池の設置」及び「再生可能エネルギー由来の電力やグリーン電力証書の購入」であった。



(対象：51事業者)

【前回調査との比較】

実施している取り組みについては、前回調査とほぼ同様の結果となった。「納入業者などへのグリーン配送の依頼」、「グリーン電力証書の購入」については今回調査でも回答数が少ない傾向にあった。



【課題・まとめ】

無作為抽出した事業者に対する課題は、温度設定やLEDへの更新等の代表的な取り組みは実施されているため、より多くの省エネ対策の方法や効果の周知が必要だと考えられる。

枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者については、非常に多くの取り組みを行っているため、これに加えて「蓄電池の設置」及び「再生可能エネルギー由来の電力やグリーン電力証書の購入」について情報を提供する必要がある。

また、特に積極的に省エネ対策を行っている事業者を市で取り上げて、その具体的な取り組みを紹介させてもらう、省エネ対策の平準化等も市内事業所全体に効果が期待できる。

【問7の自由回答の概要】

その他の地球温暖化防止の取り組みについて聞いたところ、以下の意見があった。なお、回答数が少ないため、テキストマイニングは行っていない。

番号	内容
1	農薬、化学肥料、除草剤等を買わない。使わない。
2	業態上、資源ゴミの分別（かなりしっかりやっってるつもりだが・・・）にはしっかり取り組んでるつもりである。他の温暖化防止の取り組み方が思いつかない。

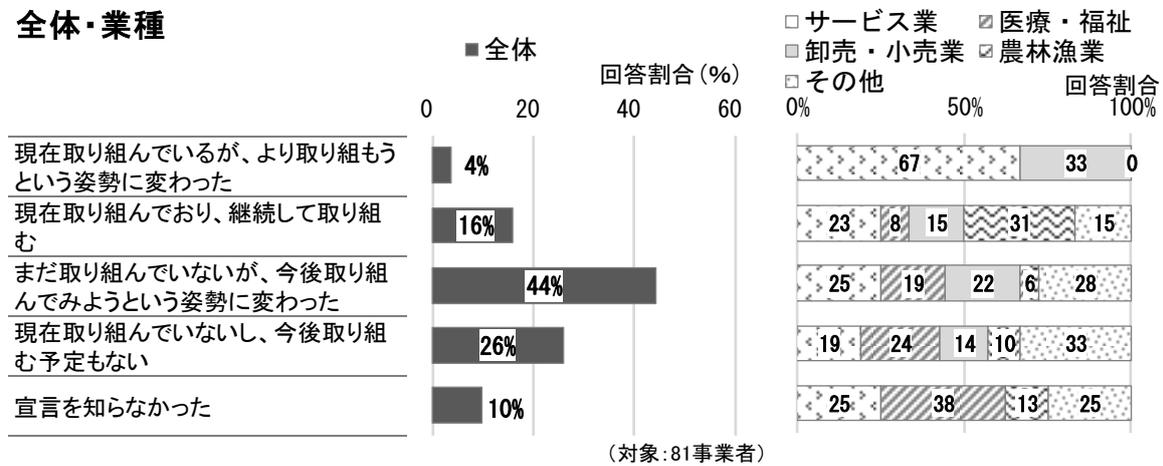
6.5 国の「温室効果ガス実質的排出量ゼロ」宣言による取り組み姿勢の変化（問8）

【任意事業者】

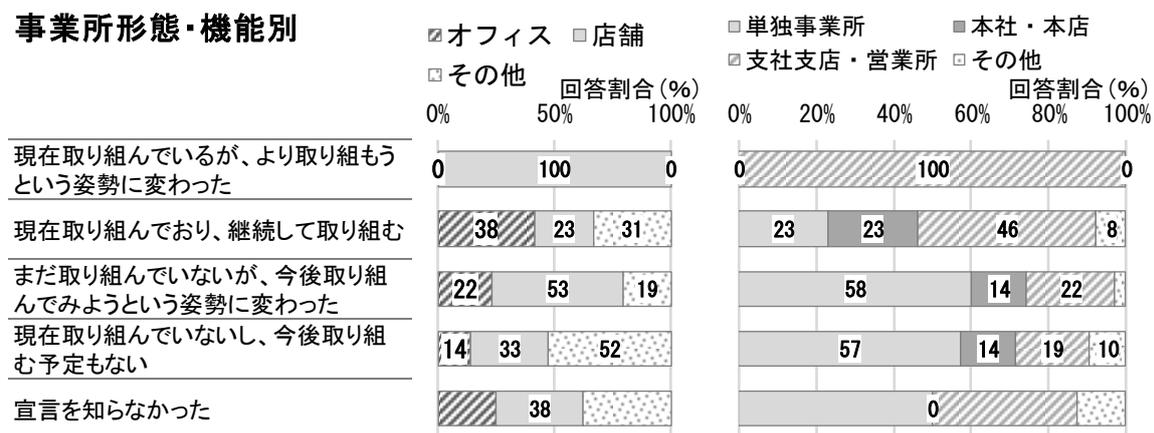
無作為抽出した事業者については、2020年に国により「2050年までに二酸化炭素を含む温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを目指す」と宣言されたことによる地球温暖化対策への取り組み姿勢の変化については、44%が「まだ取り組んでいないが、今後取り組んでみようという姿勢に変わった」とされた一方で、26%は「現在取り組んでいないし、今後取り組む予定もない」としており、10%は「宣言をしらなかった」と回答された。

業種でみると、「農林水産業」において、「現在取り組んでおり、継続して取り組む」としている事業者が他業種より多く、「現在取り組んでいるが、より取り組もうという姿勢に変わった」とする事業者が、事業所形態では「店舗」において、事業所機能としては「支社支店・営業所」において比較的多い傾向が見られた。

全体・業種



事業所形態・機能別



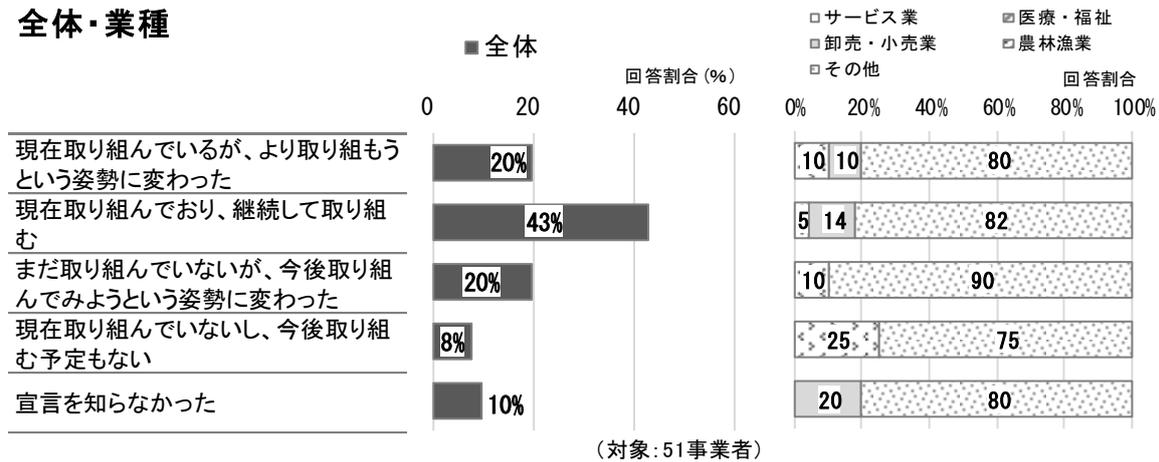
【枚方市地球温暖化対策協議会】

枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者において、「2050年までに二酸化炭素を含む温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを目指す」宣言について聞いたところ、「現在取り組んでいるが、より取り組もうという姿勢に変わった」が20%、「現在取り組んでおり、継続して取り組む」が43%と、6割以上の事業者ですでに取り組んでいた。「まだ取り組んでいないが、今後取り組んでみようという姿勢に変わった」が20%となった。一方で、8%は「現在取り組

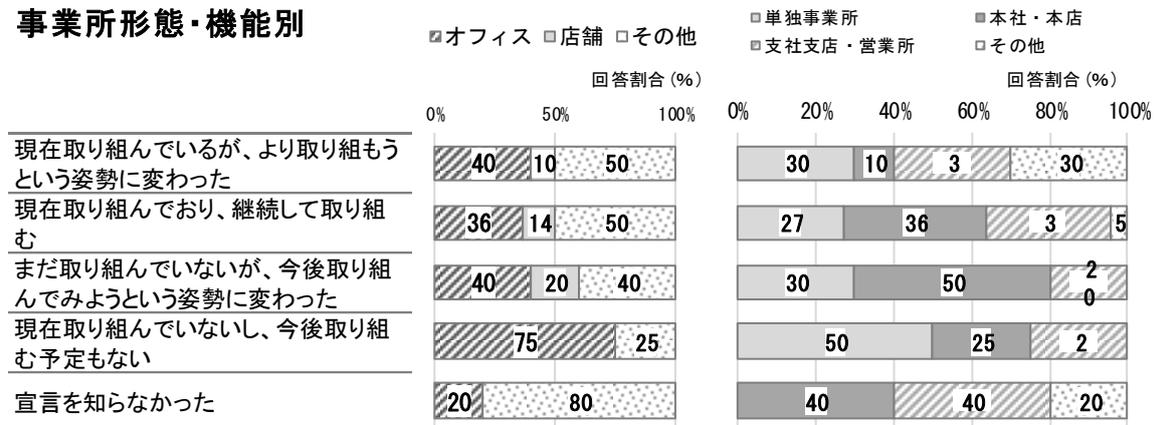
んでいないし、今後取り組む予定もない」としており、10%は「宣言をしなかった」と回答している。

業種でみると、「サービス業」及び「卸売・小売業」において、「現在取り組んでいるが、より取り組もうという姿勢に変わった」としている事業者が多かった。事業所形態・機能別においては、「オフィス」または「単独事業所」において「現在取り組んでいないし、今後取り組む予定もない」と回答している事業者が多い。

全体・業種



事業所形態・機能別



【課題・まとめ】

無作為抽出した事業者に対しては、「まだ取り組んでいないが、今後取り組んでみようという姿勢に変わった」の回答が最も多いため、これを後押しするため省エネ対策を具体的に提示してフォローしていく必要がある。事業所形態・機能別にみると、「単独事業所」で「今後も取り組む予定もない」と最も多く回答しているため、ソフト対策の有用性を積極的に周知していく必要がある。

枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者についても、「オフィス」または「単独事業所」で「今後も取り組む予定もない」と最も多く回答しているため、ソフト対策の有用性を積極的に周知していく必要がある。

6.6 自動車の保有状況について

(1) 事業所での自動車の保有状況（問9）

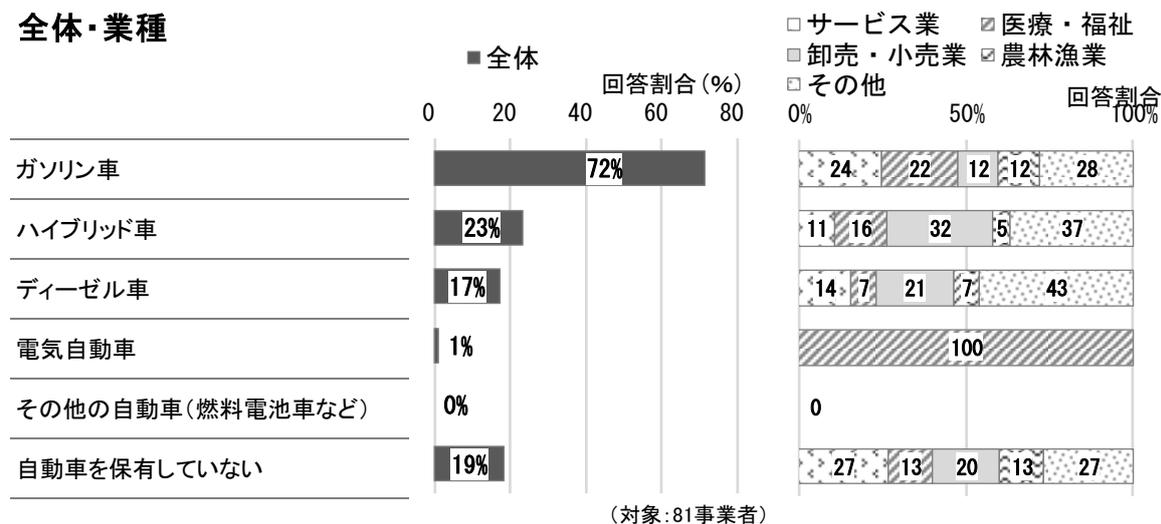
【任意事業者】

事業所で保有しているすべての自動車でも多かった「ガソリン車」の保有率は72%、次いで「ハイブリッド車」23%、「ディーゼル車」17%で、19%が「自動車を保有していない」状況であった。電気自動車を保有していたのは1事業所のみで、必然的にその事業所が属する、医療・福祉で比率が多い結果となったが、基本的に業種や事業所の形態・機能による有意な差は殆ど見られなかった。

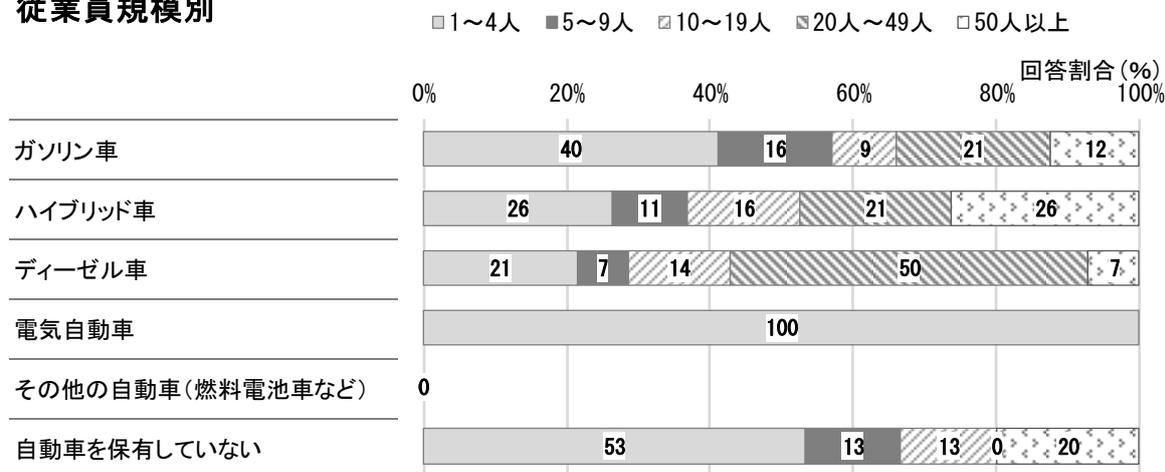
従業員規模別では、「20人～49人」の事業所で、「ディーゼル車」を保有している事業所が全体で14事業者中7事業者となっており、比較的多い傾向となっていた。

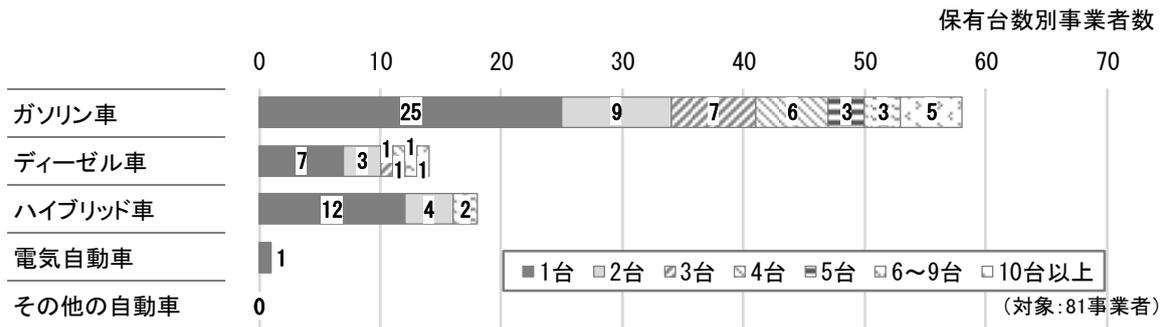
保有台数としては、「ガソリン車」は半数以上、「ディーゼル車」は半数、「ハイブリッド車」は3分の1が2台以上の保有であった。10台以上保有の事業者は、「ガソリン車」で、13～15台が1事業者ずつと29台が1事業者、「ディーゼル車」で16台が1事業者であった。

全体・業種



従業員規模別

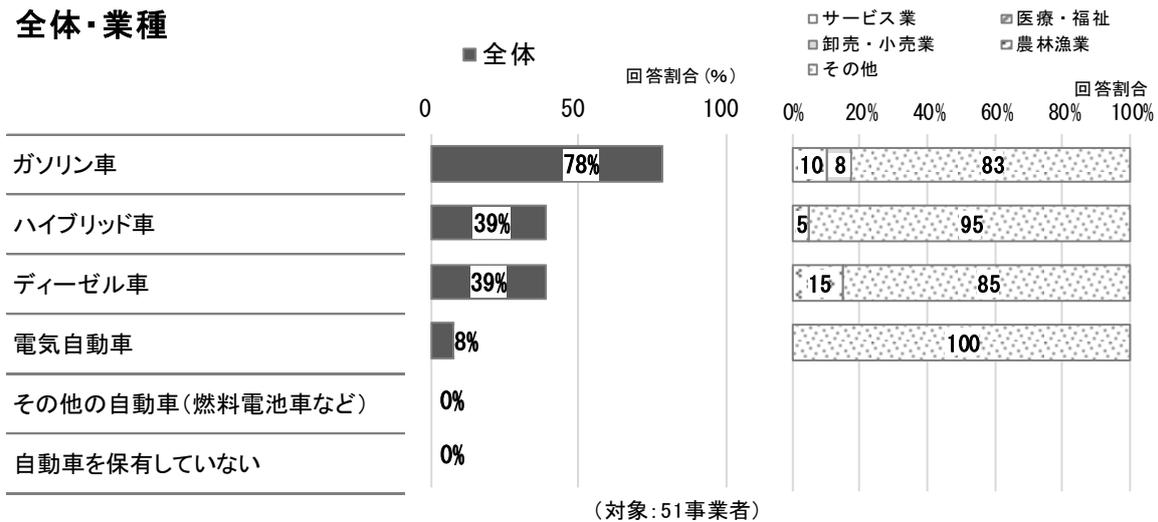




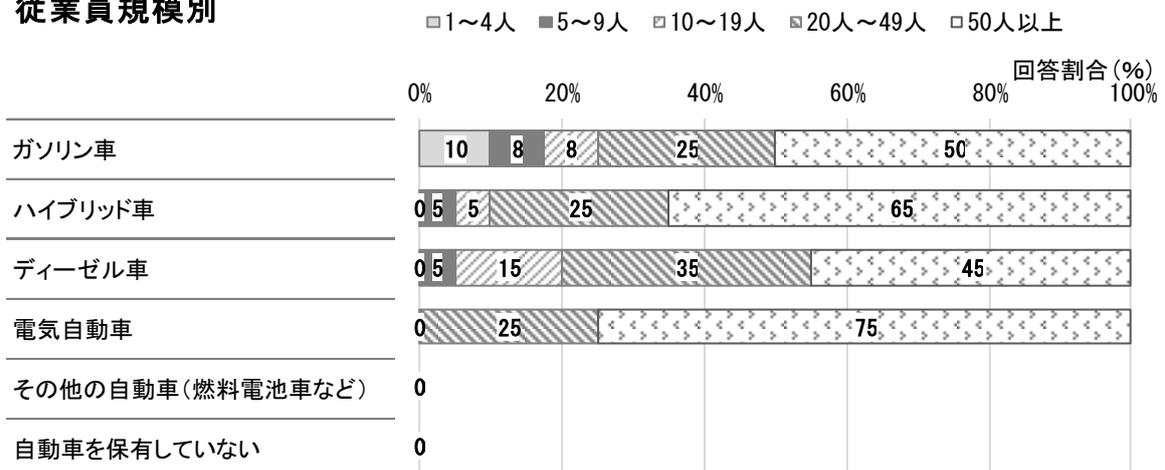
【枚方市地球温暖化対策協議会】

事業所で保有しているすべての自動車でもっとも多かったものは、「ガソリン車」の保有率は78%、次いで「ハイブリッド車」39%、「ディーゼル車」39%で、8%が「電気自動車」と回答があった。従業員規模別では、「20人～49人」の事業所で、「ディーゼル車」を保有している事業所が全体で14事業者中7事業者となっており、比較的多い傾向となっていた。

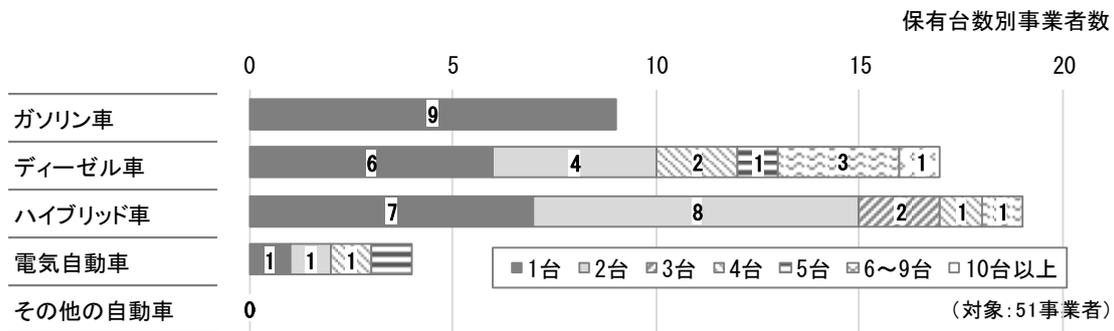
全体・業種



従業員規模別



保有台数としては、「ガソリン車」及び「ディーゼル車」は1台保有が多く、「ハイブリッド車」は2台の保有が最多となった。



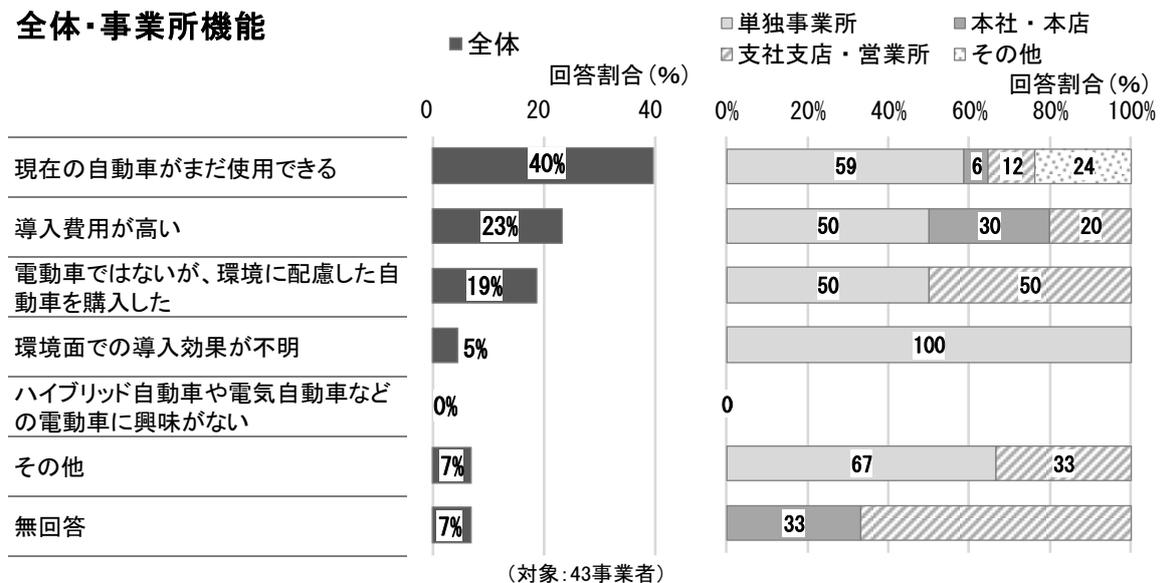
(2) 電動車を所有していない最大の理由 (問 10)

【任意事業者】

自動車の保有状況として「ガソリン車」、「ディーゼル車」のみであった事業者における、電気自動車を所有していない最大の理由としては、「現在の自動車はまだ使用できる」が最も多く40%で、次いで「導入費用が高い」が23%、「電動車ではないが、環境に配慮した自動車を購入した」が19%であった。

事業者の業種や事業形態による有意な差は見られなかったが、事業所機能として、「本社・本店」において、「導入費用が高い」ためとする傾向が比較的高かった。

全体・事業所機能

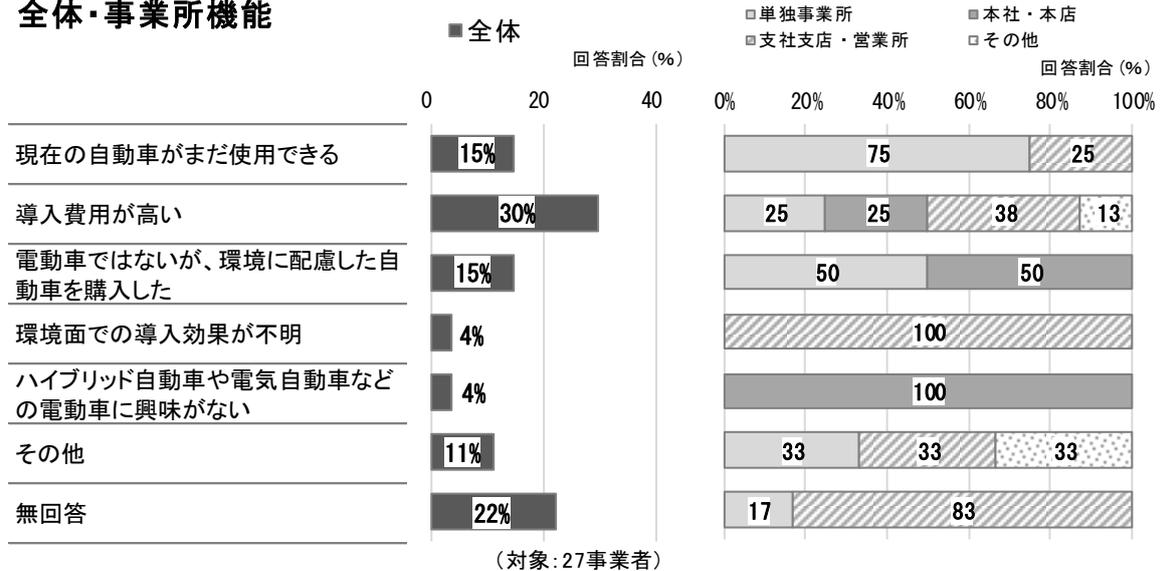


【枚方市地球温暖化対策協議会】

自動車の保有状況として「ガソリン車」、「ディーゼル車」のみであった事業者における、電気自動車を所有していない最大の理由としては、「導入費用が高い（全体の30%）」、次いで「現在の自動車がまだ使用できる（15%）」、「電動車ではないが、環境に配慮した自動車を購入した（15%）」であった。

事業者の業種や事業所形態による有意な差は見られなかったが、事業所機能として、「本社・本店」において、「導入費用が高い」ためとする傾向が比較的高かった。

全体・事業所機能



【課題・まとめ】

保有自動車の種類について聞いたところ、無作為抽出した事業者及び枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者で、最も多くの事業者が保有している自動車は「ガソリン車」であった。

次に、「ガソリン車」及び「ディーゼル車」のみを保有する事業者が、電動車を保有しない理由についても聞いた。無作為抽出した事業者に関しては、「現在の自動車がまだ使用できる」の回答が最も多く、次に「導入費用が高い」の回答が多かった。枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者については、「導入費用が高い」がまたは「単独事業所」で「今後も取り組む予定もない」と最も多かった。このため、電動車についての補助や電動車の利点等の情報提供について強化する必要がある。

【問 10 の自由回答の概要】

電動車を保有しない理由について聞いたところ、以下の意見があった。なお、回答数が少ないため、テキストマイニングは行っていない。

番号	内容
1	軽トラックに電気自動車はない。
2	ペースメーカーをしている人間がいるので導入できない
3	本社の意向のため事業所では不明

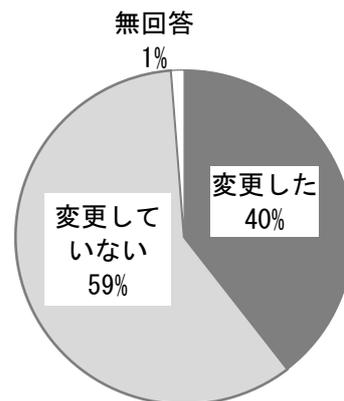
6.7 電力小売全面自由化を受けての自宅の電力会社の変更について

(1) 電力小売全面自由化を受け自宅の電力会社を変更したか（問 11）

【任意事業者】

無作為抽出した事業者において、自宅の電力会社について「変更した」のは、有効な回答者数のうち4割で、6割は「変更していない」状況であった。

この回答は、業種や事業所の形態・機能などの属性による差はあまり見られなかった。

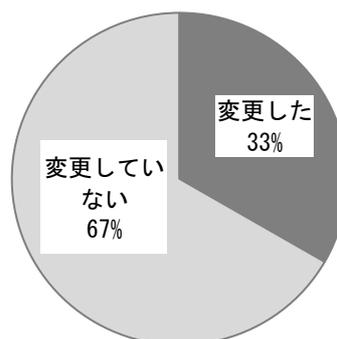


(対象：81事業者)

【枚方市地球温暖化対策協議会】

枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者において、自宅の電力会社について「変更した」のは、有効な回答者数のうち3割で、7割は「変更していない」状況であった。

この回答は、業種や事業所の形態・機能などの属性による差はあまり見られなかった。



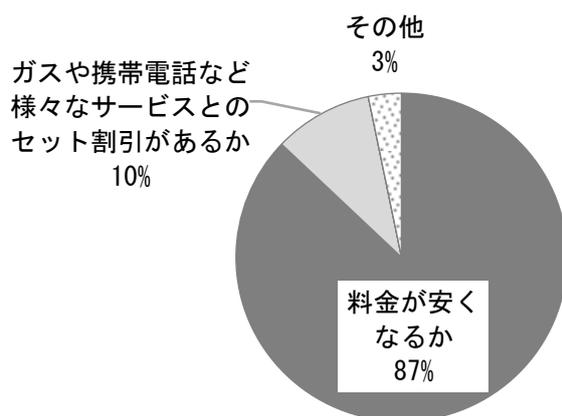
(対象：51事業者)

(2) 電力会社を選ぶ際に最も重要視した点（問 12）

【任意事業者】

電力小売全面自由化を受け事業所の電力会社を「変更した」と回答した人において、電力会社選択時に最も重視した点は、「料金が安くなるか」が最も多く 87%、次いで「ガスや携帯電話など様々なサービスとのセット割引があるか」が 10%であった。

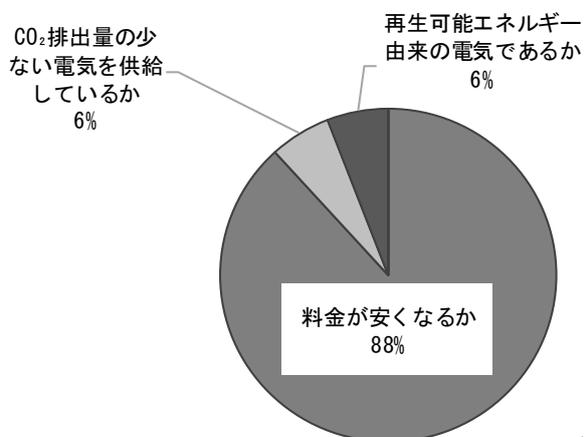
「その他」は 1 事業者のみで、他の選択肢（「CO₂排出量の少ない電気を供給しているか」、「再生可能エネルギー由来の電気であるか」、「地産地消（地域で生産された電気をその地域で消費）をしているか」）を理由とした事業者はなかった。



（対象：31事業者）

【枚方市地球温暖化対策協議会】

電力小売全面自由化を受け事業所の電力会社を「変更した」と回答した人において、電力会社選択時に最も重視した点は、「料金が安くなるか」が最も多く 88%、次いで「CO₂排出量の少ない電気を供給しているか」、「再生可能エネルギー由来の電気であるか」がそれぞれ 6%であった。



（対象：17事業者）

【課題・まとめ】

電力会社を変えた事業者の中で、電力会社を選ぶ際に重視した事項については、無作為抽出した事業者では、回答の多かった順に「料金が安くなるか」、「ガスや携帯電話などの様々なサービスとのセット割引があるか」となった。枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者では、回答の多かった順に「料金が安くなるか」、「CO₂排出量の少ない電気を供給しているか」、「再生可能エネルギー由来の電気であるか」となった。このため、選定において意識の差が出る結果となった。このため再生可能エネルギー由来の電力会社を選ぶメリットを広く周知していく必要がある。

【問 12 の自由回答の概要】

電力会社の選定基準について聞いたところ、以下の意見があった。なお、回答数が少ないため、テキストマイニングは行っていない。

番号	内容
1	仕事関連

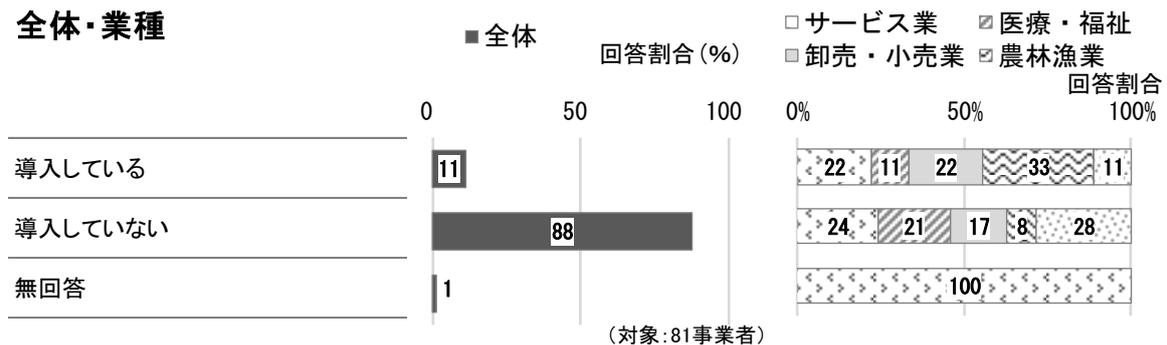
6.8 再生可能エネルギーを利用した設備、機器の導入について

(1) 導入状況（問13）

【任意事業者】

再生可能エネルギーを利用した設備、機器を導入しているか否かについては、全体で「導入している」が11%で、88%が「導入していない」状況であった。

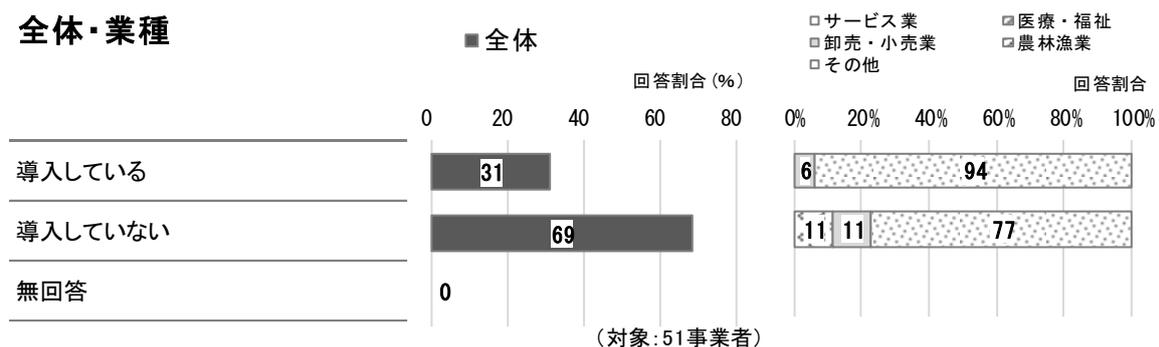
全体数が少ないながら、「農林漁業」において、「導入している」割合が比較的多い傾向がみられた。



【枚方市地球温暖化対策協議会】

再生可能エネルギーを利用した設備、機器を導入しているか否かについては、全体で「導入している」が31%で、69%が「導入していない」状況であった。

全体数が少ないながら、「その他」において、「導入している」割合が比較的多い傾向がみられた。

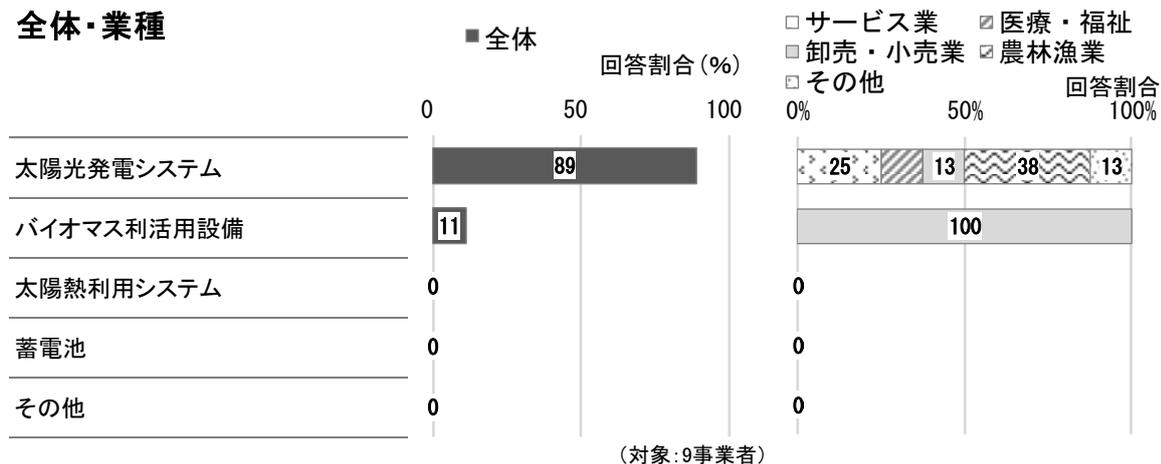


(2) 導入設備等の種別 (問 14)

【任意事業者】

再生可能エネルギーを利用した設備、機器を導入しているとした9事業所のうち、8事業所の89%が「太陽光発電システム」を導入しており、「卸売・小売業」の1事業所において「バイオマス利活用設備」が導入されていた。なお、その他の設備等（「太陽熱利用システム」、「蓄電池」等）を導入している事業者はいなかった。

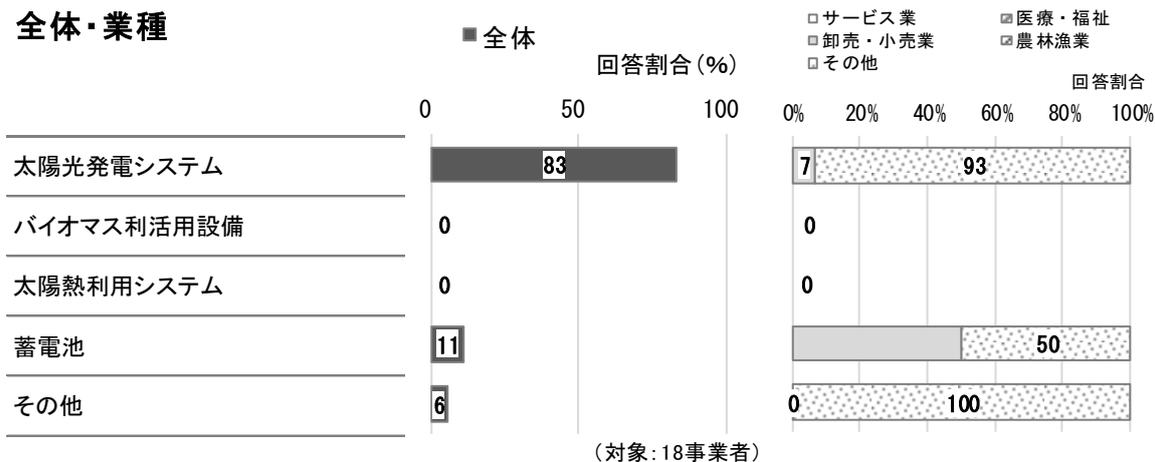
全体・業種



【枚方市地球温暖化対策協議会】

再生可能エネルギーを利用した設備、機器を導入しているとした18事業所のうち、15事業所の83%が「太陽光発電システム」を導入しており、「卸売・小売業」と「その他」の2事業所において「蓄電池」が導入されていた。なお、その他の設備等では「ヒートポンプによる熱利用」を導入している事業者があった。

全体・業種



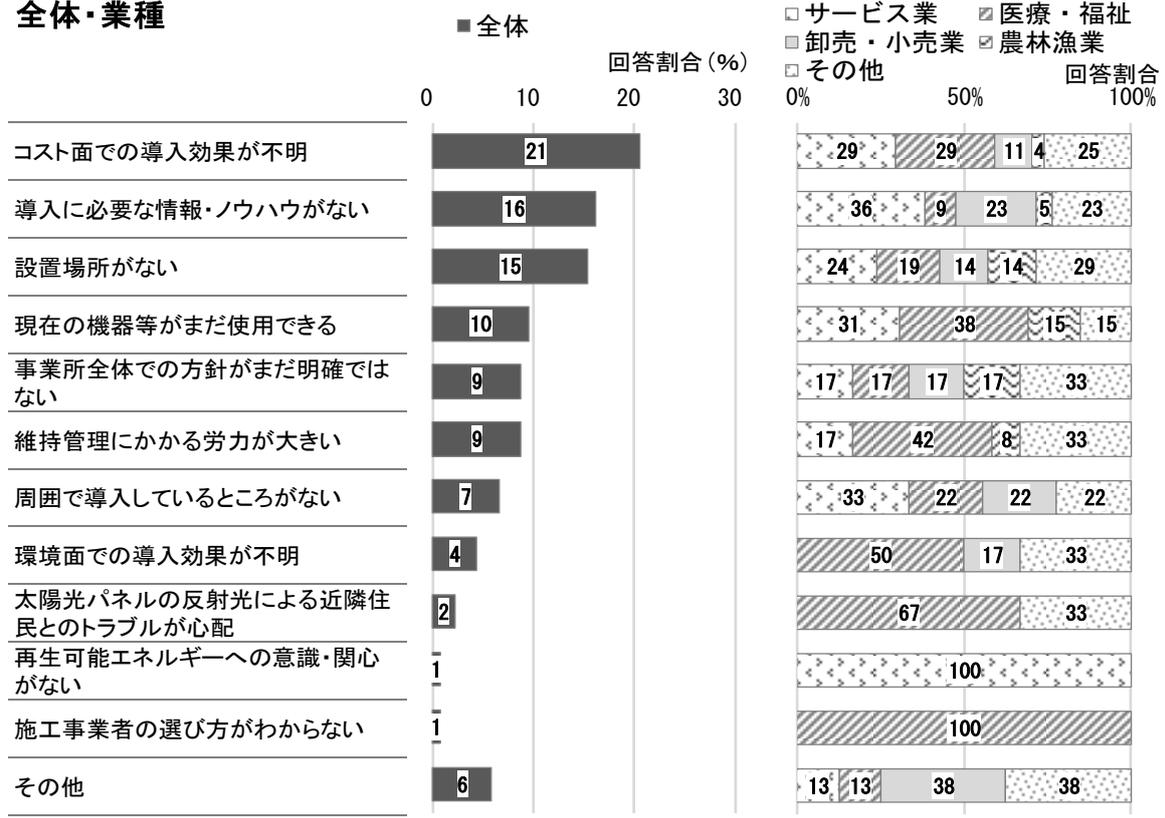
(3) 導入していない場合の理由（問 15）

【任意事業者】

再生可能エネルギー設備、機器を導入していない事業者における導入していない理由としては「コスト面での導入効果が不明」であることが最も多く 21%、次いで「導入に必要な情報・ノウハウがない」が 16%、「設置場所がない」が 15%であった。

各理由を挙げている事業者数が少ないため、業種や事業所の形態等の属性による有意な差はほとんど見られなかった。

全体・業種

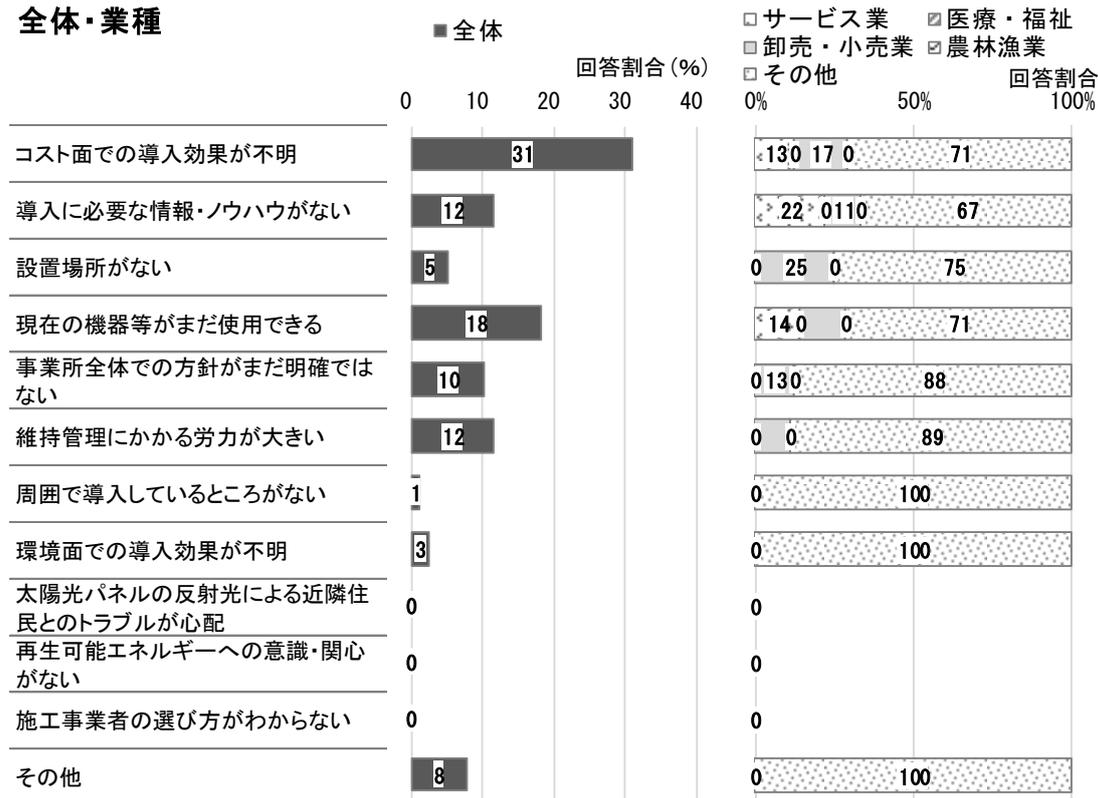


(対象:71事業者)

【枚方市地球温暖化対策協議会】

再生可能エネルギー設備、機器を導入していない事業者における導入していない理由としては「コスト面での導入効果が不明」であることが最も多く 31%、次いで「現在の機器等がまだ使用できる」が 18%、「導入に必要な情報・ノウハウがない」及び「維持管理にかかる労力が大きい」が 12%であった。

全体・業種



(対象: 35事業者)

【課題・まとめ】

再生可能エネルギー等の設備を導入する企業の80%が太陽光発電システムを使用している結果となった。業種に関わらず、導入し易いためだと考えられる。一方で、導入していない事業者の多くが、「コスト面での導入効果が不明」と答えているため、導入事例と費用対効果等の説明資料を提供すれば、より導入し易くなると思われる。

【問15の自由回答の概要】

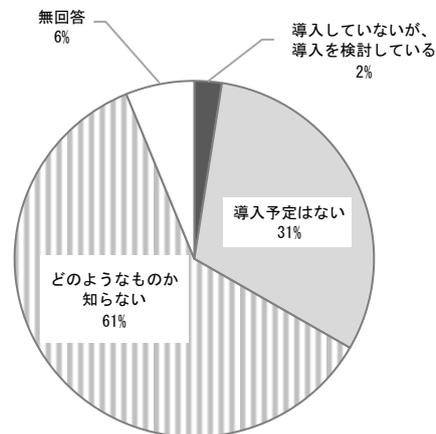
太陽光発電システムを導入していない理由について聞いたところ、以下の意見があった。なお、回答数が少ないため、テキストマイニングは行っていない。

番号	内容
1	境内地にガレージの屋根に太陽光パネルを…と業者2社にみていただきましたが、置く場所が狭くなる等の理由で断念しました。
2	当労組の取り組みに入っていない
3	テナントの為にディベロッパーに任せています。
4	賃貸の為
5	賃貸物件のため選択肢がない
6	小規模すぎて考える事なし
7	となりに大きな病院が太陽光発電効率が悪い
8	大阪府管理施設のため当社所有の施設がないため

6.9 「ZEB」、「BEMS」、「FEMS」の導入状況（問16）

【任意事業者】

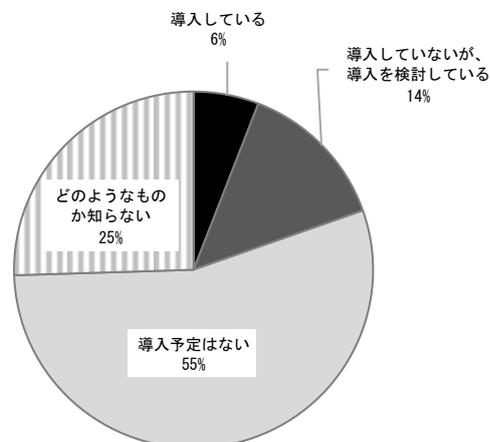
「ZEB」や「BEMS」、「FEMS」について、「導入している」事業者はおらず、「導入していないが、導入を検討している」事業者が2%で、31%が「導入予定はない」とし、半数以上の61%の事業者が「どのようなものか知らない」としていた。属性による差も殆ど見られなかった。



（対象：81事業者）

【枚方市地球温暖化対策協議会】

「ZEB」や「BEMS」、「FEMS」について、「導入している」事業者は6%おり、「導入していないが、導入を検討している」事業者が14%いた。55%が「導入予定はない」とし、25%の事業者が「どのようなものか知らない」としていた。属性による差も殆ど見られなかった。



（対象：51事業者）

【課題・まとめ】

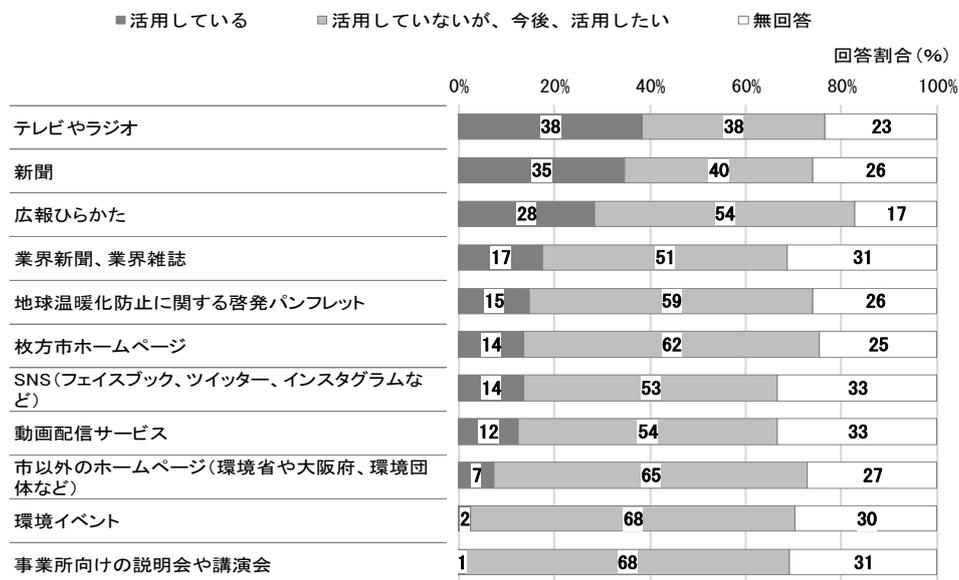
無作為抽出した事業者については、「どのようなものか知らない」が半数以上を占めており、「ZEB」等に関して「どのようなものであるか」、「費用対効果」についての情報をHP等で情報を広く発信することが重要である。

枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者については、「導入していないが、導入を検討している」や「導入予定はない」としている事業者に向けて、前向きに導入が検討されるように、補助金を使った事業事例集等の情報提供を検討する必要がある。

6.10 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための手法（問17）

【任意事業者】

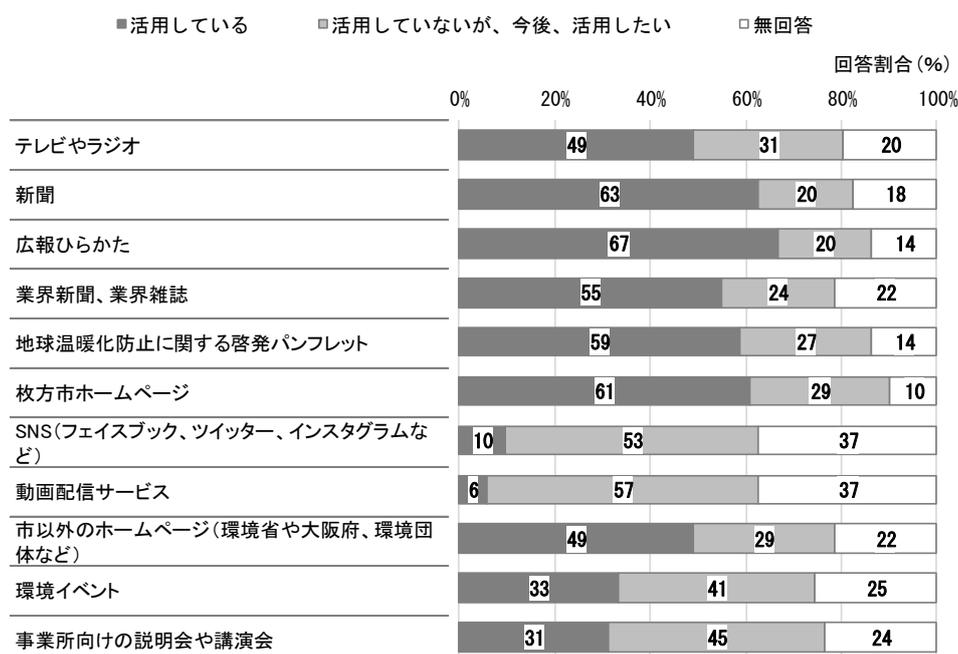
「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための方法について回答を得た。「活用している」割合が最も高かったのは「テレビやラジオ」で38%、次いで「新聞」が35%、「広報ひらかた」が28%であった。「活用している」と「活用していないが、今後、活用したい」を合わせると、いずれの手段においても、概ね70~80%となっていた。



(対象：81事業者)

【枚方市地球温暖化対策協議会】

「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための方法について回答を得た。「活用している」割合が最も高かったのは「広報ひらかた」で67%、次いで「新聞」が63%、「枚方市ホームページ」が61%であった。最も「活用している」が低かったものは、「SNS(フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど)」及び「動画配信サービス」であった。



(対象：51事業者)

【課題・まとめ】

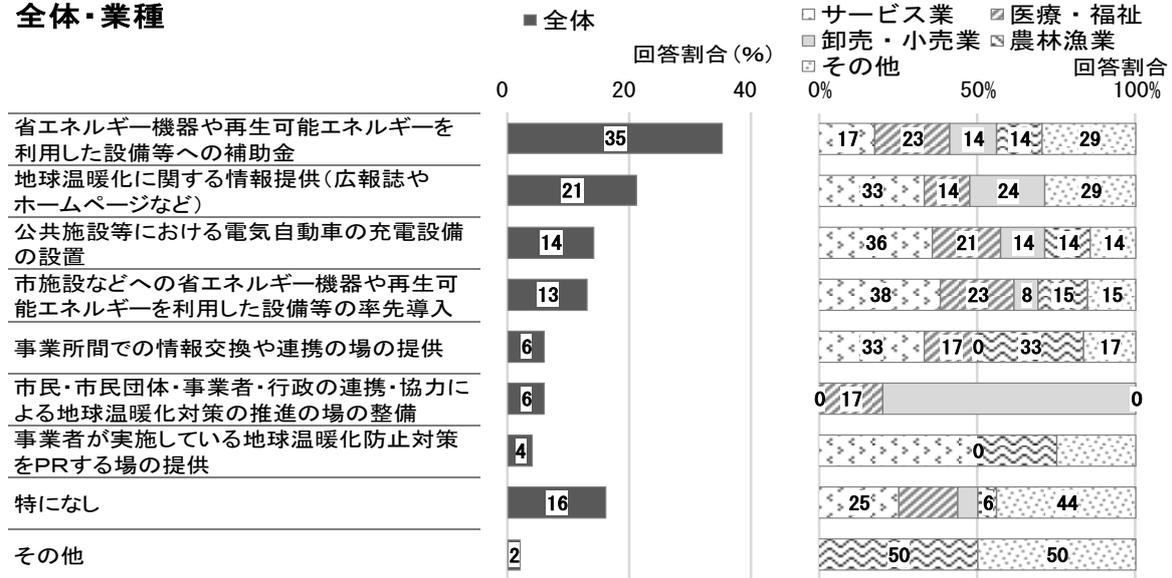
「活用していないが、今後、活用したい」と回答された割合が高かった項目は、「枚方市ホームページ」、「環境イベント」、「事業者向けの説明会や講演会」があった。省エネ対策の講演会等を行うことで、多くの事業者に参加してもらえる可能性がある。これは、枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者についても同様である。そして、省エネ対策の優秀事例等を紹介し、参加者に取り組んでもらえるように働きかけることも有効である。

6.11 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策（問 18）

【任意事業者】

枚方市に期待する地球温暖化対策としては、「省エネルギー機器や再生可能エネルギーを利用した設備等への補助金」が32%で最も多く、次いで「地球温暖化に関する情報提供（広報誌やホームページなど）」が19%で、16%は「特になし」としていた。

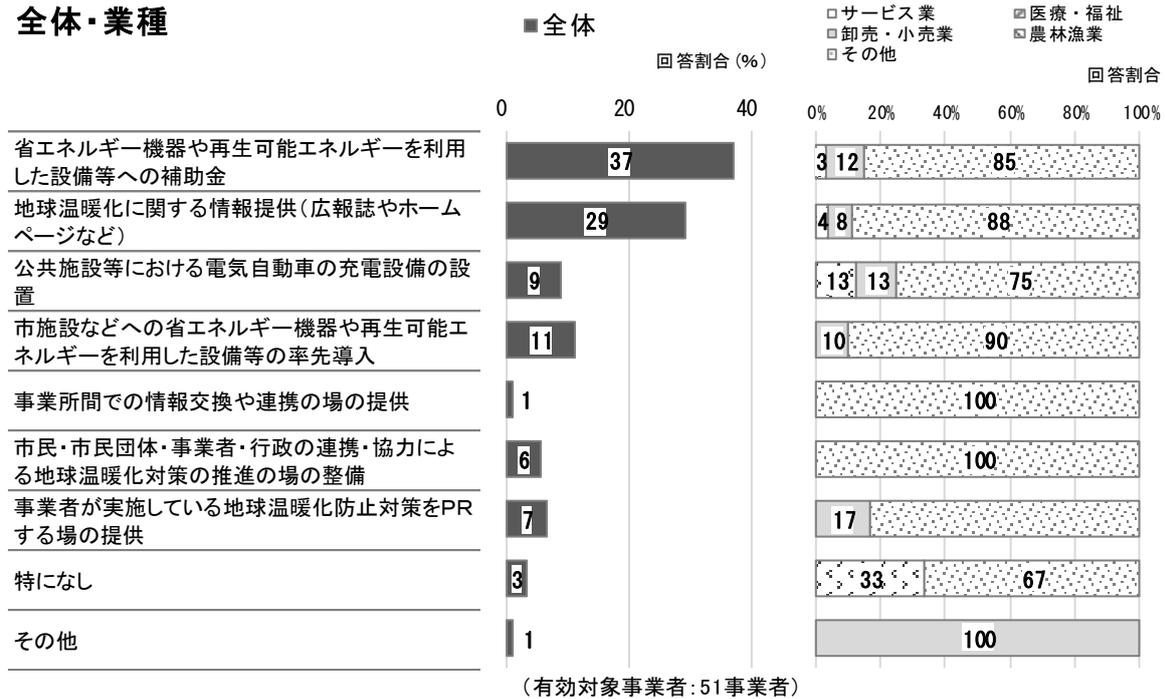
全体・業種



【枚方市地球温暖化対策協議会】

枚方市に期待する地球温暖化対策としては、「省エネルギー機器や再生可能エネルギーを利用した設備等への補助金」が37%で最も多く、次いで「地球温暖化に関する情報提供（広報誌やホームページなど）」が29%となっていた。

全体・業種



【課題・まとめ】

無作為抽出した事業者及び枚方市地球温暖化対策協議会に参加している事業者の両方で、枚方市に最も期待している対策は、「省エネルギー機器や再生可能エネルギーを利用した設備等への補助金」、次に多い事項は「地球温暖化に関する情報提供(広報誌やホームページなど)」であった。そのため、市または国による補助金事業や、補助金を使った事業事例集等の情報提供を積極的に事業者に広報ひらかた等で発信する必要がある。

【問 18 の自由回答の概要】

太陽光発電システムを導入していない理由について聞いたところ、以下の意見があった。なお、回答数が少ないため、テキストマイニングは行っていない。

番号	内容
1	ごみ半減がまったく絵に書いたもちである。生ごみの有効利用(堆肥化だけではない)を計ることで日本中のごみは簡単に半分になる。実施して立派にやっている市町村は実在する。枚方市も見学や意見交換ではなく、見本、お手本になる日本一の市にしてほしい。実行あるのみである。

7. アンケート調査票

7.1 市民アンケート調査票

地球温暖化問題に関する市民意識調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、平素より枚方市の環境行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
枚方市では、2018（平成30）年度に策定した「枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の計画期間が2022（令和4）年度に終了することから、新たな計画の策定に取り組んでいます。
計画の策定にあたっては、市民の皆様には地球温暖化についての意識調査を行い、次期計画や今後の市の施策に反映していきたいと考えております。

この調査の対象者は、市民の皆様から無作為に3,000名を選ばせていただきました。また、調査は無記名で、調査結果につきましてはすべて統計的に処理し、他の目的に使用することはありません。

大変お手数ですが、この意識調査の目的、趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【記入上のお願い】

1. ご記入していただく方

- ・ご回答は、お手元に届いた宛名の方がご記入されますようお願いいたします。
- ・視覚障害への対応が必要な場合などについては、お問い合わせください。

2. 記入方法

- ・ご回答は、本調査票の回答の数字に○を付けて下さい。
- ・選択肢がひとつあるいは複数の場合がございます。また、ご回答によって以降のご回答項目が異なる場合もございますので、ご注意ください。

3. 提出方法

- ・ご記入いただいた本調査票は、**9月10日(金)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送頂きますようお願いいたします。(切手は不要です。)

4. 調査についてのお問い合わせ

- ・枚方市 環境部 環境政策室 TEL:050-7102-6009 FAX:072-849-1206

枚方市

問7 あなたが日常的に行っている地球温暖化防止の取り組みについて、それぞれ1～3のうち、あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

項 目	取り組んだことがある		取り組んだことがない
	日頃から取り組んでいる	時々、取り組むことがある	
①エアコン使用時の室温の目安は、夏は28℃、冬は20℃を心がけている	1	2	3
②家電製品の買い替え時には省エネ家電を選択している	1	2	3
③照明器具を蛍光灯からLED照明に変更している	1	2	3
④環境家計簿をつけている	1	2	3
⑤水道水やお湯を節約している	1	2	3
⑥緑のカーテンや打ち水など暑気対策を行っている	1	2	3
⑦宅配便の再配達を防ぐため、置き配や宅配ロッカーなどを活用している	1	2	3
⑧地球温暖化に関する情報収集を心がけている	1	2	3
⑨身近な人と地球温暖化問題について話し合いをしている	1	2	3
⑩マイバックを持参している	1	2	3
⑪マイボトル（水筒）を持参している	1	2	3
⑫自転車や公共交通機関を利用している	1	2	3
⑬エコドライブを心がけている	1	2	3
⑭地域の緑化推進活動や里山保全活動などの緑の保全活動に参加している	1	2	3

⑮その他（上記の項目以外で何かある場合はご自由にお書きください。）

問8 2020年10月に国は、「2050年までに二酸化炭素を含む温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを目指す」と宣言しました。問7の取り組みは、地球温暖化の防止につながるものですが、この宣言により、あなたやあなたのご家庭で地球温暖化対策への取り組み姿勢はどのように変わりましたか。次のうちあてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 現在取り組んでいるが、より取り組もうという姿勢に変わった
- 2 現在取り組んでおり、継続して取り組む
- 3 まだ取り組んでいないが、今後取り組んでみようという姿勢に変わった
- 4 現在取り組んでいないし、今後取り組む予定もない
- 5 宣言を知らなかった

問13 あなたのご家庭での自動車の保有状況についてお尋ねします。あてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。また、() 内にその保有台数もご記入下さい。

- 1 ガソリン車 () 台
- 2 ディーゼル車 () 台
- 3 ハイブリッド車 () 台
- 4 電気自動車 () 台
- 5 その他の自動車(燃料電池車^{※1}など) () 台
- 6 自動車を保有していない

※1: 燃料電池で水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーを使って、モーターを回して走る自動車のこと。

問14 <問13で「1 ガソリン車」、「2 ディーゼル車」のみを選んだ方にお聞きます。>
国は世界で供給する日本車を2050年までに電動車^{※2}100%にする目標を掲げていますが、電動車を所有していない最大の理由について、あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 導入費用が高い
- 2 環境面での導入効果が不明
- 3 電動車ではないが、環境に配慮した自動車を購入した(軽自動車、クリーンディーゼル車など)
- 4 現在の自動車がまだ使用できる
- 5 ハイブリッド自動車や電気自動車などの電動車に興味がない
- 6 その他(具体的に:)

※2: 動力源に電気を使う自動車のこと。電気自動車(EV)の他にハイブリッド車(HV)、プラグインハイブリッド車(PHV)、燃料電池車(FCV)の計4種類があり、ガソリン車に比べてCO₂の排出量が少ない。

問15 あなたは次に示す言葉をご存知ですか。①～⑦のそれぞれの言葉について、あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

次に示す言葉は市HPから確認することができます。

市HP内 検索キーワード

検索



項目	内容を知っている	内容はよく知らないが聞いたことはある	聞いたことがない
①SDGs ^{※3} (エスディー・ジーズ)	1	2	3
②パリ協定 ^{※4}	1	2	3
③脱炭素社会 ^{※5}	1	2	3
④枚方市2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言 ^{※6}	1	2	3
⑤ZEH、ZEB ^{※7} (ゼッチ、ゼブ)	1	2	3
⑥HEMS、BEMS ^{※8} (へムス、べムス)	1	2	3
⑦地球温暖化(気候変動)対策における「緩和策・適応策」 ^{※9}	1	2	3

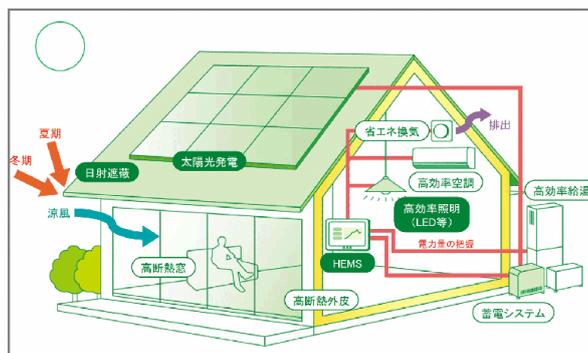
※3：2015年国連サミットで決まった「持続可能な世界」を実現するための世界共通の国際目標のこと。

※4：先進国だけではなく全ての国が参加する気候変動問題に関する国際的な枠組みのこと。

※5：地球温暖化の原因となる温室効果ガスを抑制及び回収し、実質的な排出量をゼロとする社会のこと。

※6：国の宣言及び近年の気候変動の影響を鑑みて、枚方市としても、脱炭素社会の実現を進めていく必要があると考え、2020年2月に発表した宣言のこと。

※7：快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことで、住宅向けをZEH、商用ビル向けをZEBという。ZEHとはNet Zero Energy House (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略称で、「ゼッチ」と呼ぶ。ZEBとは、Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、「ゼブ」と呼ぶ。



ZEBの活用例

※8：建築物のエネルギー消費を監視/制御するシステム (Energy Management System)の内、住宅向けをHEMS (へムス)、商用ビル向けをBEMS (べムス) という。

※9：温室効果ガスの排出削減と吸収を行うことを「緩和」、既に起こりつつある温暖化による影響や被害を軽減することを「適応」という。今後の気候変動への対応は、緩和策と適応策の双方を推進していく必要がある。

問16 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための以下の手法に関して、それぞれあてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

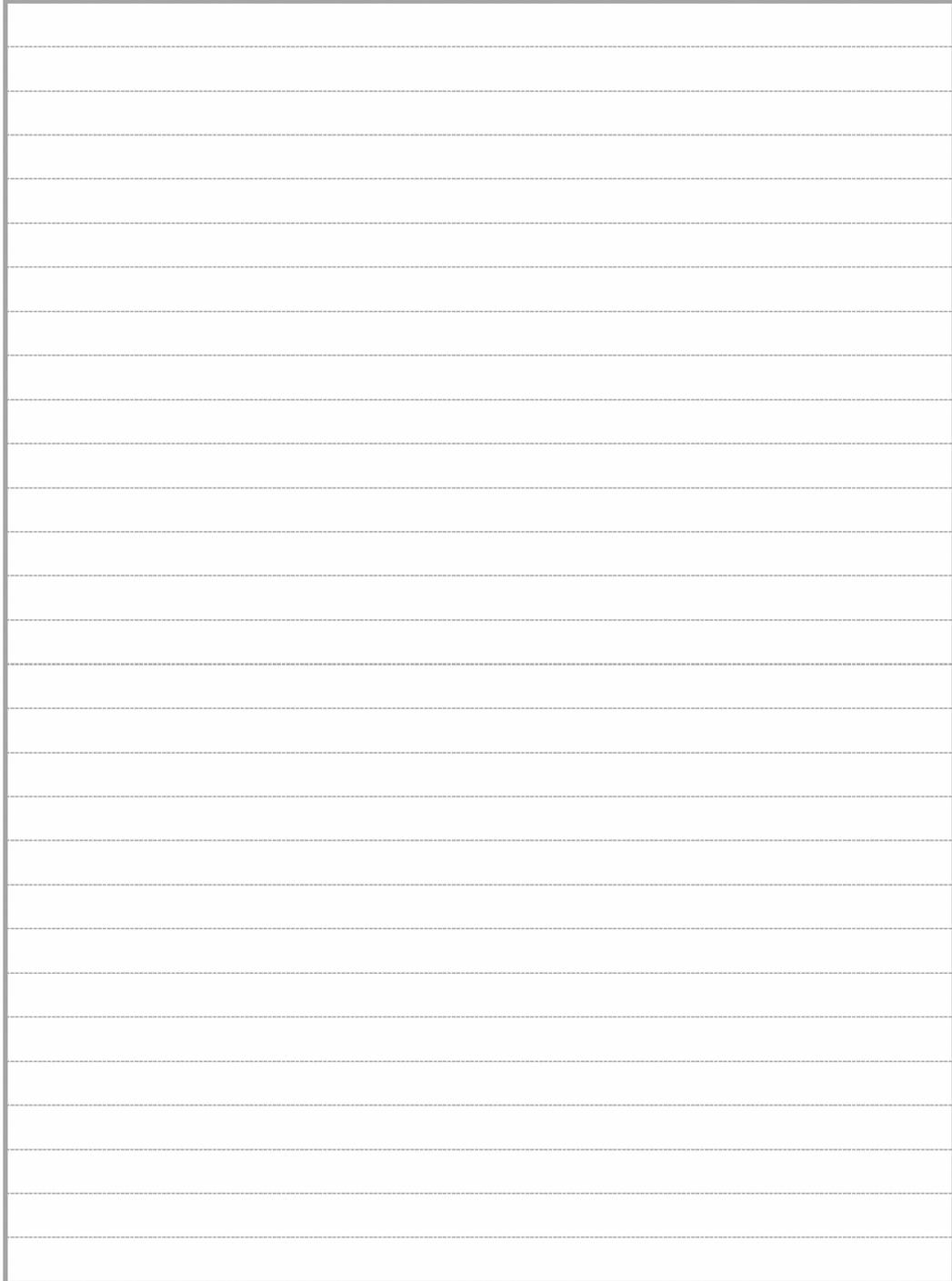
手 法	活用している	活用していないが、 今後、活用したい
①広報ひらかた	1	2
②地球温暖化防止に関する啓発パンフレット	1	2
③出前講座や環境イベント	1	2
④枚方市ホームページ	1	2
⑤市以外のホームページ（環境省や大阪府、環境団体など）	1	2
⑥市民向け講演会	1	2
⑦友人や家族との会話を通じて	1	2
⑧SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど）	1	2
⑨テレビやラジオ	1	2
⑩動画配信サービス	1	2
⑪新聞、雑誌	1	2
⑫地域メディア（FM ひらかた、ミニコミ誌など）	1	2

⑬その他（上記の手法以外で何かある場合はご自由にお書きください。）

問17 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策はどのようなものですか。あてはまる番号を2つまで選び、○で囲んでください。

- 1 地球温暖化に関する情報提供（広報誌やホームページなど）
- 2 こどもに対する環境教育（学校での環境教育など）
- 3 市民に対する環境学習の提供（地球温暖化に関する講演会など）
- 4 太陽光発電システムや省エネルギー機器の導入に係る補助金
- 5 市施設などへの省エネルギー機器や再生可能エネルギーを利用した設備等の率先導入
- 6 市の公用車へのハイブリッド自動車や電気自動車などの電動車の導入
- 7 公共施設等における電気自動車の充電設備の設置
- 8 契約電力の脱炭素化
- 9 豪雨災害などの気候変動への適応
- 10 特になし
- 11 その他（具体的に： _____)

問18 その他、枚方市の地球温暖化対策等に関するご意見がありましたらご自由にお書きください。

A large rectangular area with horizontal dashed lines, intended for handwritten responses to the survey question.

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

7.2 高校生アンケート調査票

地球温暖化問題に関する高校生意識調査 ご協力のお願い

平素より枚方市の環境行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
枚方市では、2018（平成 30）年度に策定した「枚方市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の計画期間が2022（令和4）年度に終了することから、新たな計画の策定に取り組んでいます。
計画の策定にあたっては、市民の皆様へ地球温暖化についての意識調査を行い、次期計画や今後の市の施策に反映していきたいと考えております。

この度、市内在住の18歳以上の方から3,000人を対象に市民意識調査を実施しております。この調査と合わせて、市内9つの高校に在学している皆様にも高校生意識調査を実施させていただきます。

調査は無記名で、調査結果につきましてはすべて統計的に処理し、他の目的に使用することは決してありません。

大変お手数ですが、この意識調査の目的、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【記入上のお願い】

1. 記入方法

- ・ご回答は、本調査票の回答の数字に○を付けて下さい。
- ・選択肢がひとつあるいは複数の場合ががございます。また、ご回答によって以降のご回答項目が異なる場合もございますので、ご注意ください。

2. 提出方法

- ・提出については、先生の指示に従ってください。

枚方市

問6 あなたが日常的に行っている地球温暖化防止の取り組みについて、それぞれ1～3のうち、あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

項 目	取り組んだことがある		取り組んだことがない
	日頃から取り組んでいる	時々、取り組むことがある	
①エアコン使用時の室温の目安は、夏は28℃、冬は20℃を心がけている	1	2	3
②テレビなどの家電製品の買い替え時には省エネ家電を選択している	1	2	3
③水道水やお湯を節約している	1	2	3
④宅配便の再配達を防ぐため、置き配や宅配ロッカーなどを活用している	1	2	3
⑤地球温暖化に関する情報収集を心がけている	1	2	3
⑥身近な人と地球温暖化問題について話し合いをしている	1	2	3
⑦マイバッグを持参している	1	2	3
⑧マイボトル（水筒）を持参している	1	2	3
⑨地域の緑化推進活動や里山保全活動などの緑の保全活動に参加している	1	2	3

⑩その他（上記の項目以外で何かある場合はご自由にお書きください。）

問7 2020年10月に国は、「2050年までに二酸化炭素を含む温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを目指す」と宣言しました。問7の取り組みは、地球温暖化の防止につながるものですが、この宣言により、あなたやあなたのご家庭で地球温暖化対策への取り組み姿勢はどのように変わりましたか。次のうちあてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 現在取り組んでいるが、より取り組もうという姿勢に変わった
- 2 現在取り組んでおり、継続して取り組む
- 3 まだ取り組んでいないが、今後取り組んでみようという姿勢に変わった
- 4 現在取り組んでいないし、今後取り組む予定もない
- 5 宣言を知らなかった

問8 あなたは次に示す言葉をご存知ですか。①～⑦のそれぞれの言葉について、あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

次に示す言葉は市HPから確認することができます。

市HP内 検索キーワード

検索 



項目	内容を知っている	内容はよく知らないが聞いたことはある	聞いたことがない
①SDGs ^{※1} （エスディージーズ）	1	2	3
②パリ協定 ^{※2}	1	2	3
③脱炭素社会 ^{※3}	1	2	3
④枚方市2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言 ^{※4}	1	2	3
⑤地球温暖化（気候変動）対策における「緩和策・適応策」 ^{※5}	1	2	3

※1：2015年国連サミットで決まった「持続可能な世界」を実現するための世界共通の国際目標のこと。

※2：先進国だけではなく全ての国が参加する気候変動問題に関する国際的な枠組みのこと。

※3：地球温暖化の原因となる温室効果ガスを抑制及び回収し、実質的な排出量をゼロとする社会のこと。

※4：国の宣言及び近年の気候変動の影響を鑑みて、枚方市としても、脱炭素社会の実現を進めていく必要があると考え、2020年2月に発表した宣言のこと。

※5：温室効果ガスの排出削減と吸収を行うことを「緩和」、既に起こりつつある温暖化による影響や被害を軽減することを「適応」という。今後の気候変動への対応は、緩和策と適応策の双方を推進していく必要がある。

問9 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための以下の手法に関して、それぞれあてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

手 法	活用している	活用していないが、今後、活用したい
①学校の授業や教科書	1	2
②広報ひらかた	1	2
③地球温暖化防止に関する啓発パンフレット	1	2
④出前講座や環境イベント	1	2
⑤枚方市ホームページ	1	2
⑥市以外のホームページ（環境省や大阪府、環境団体など）	1	2
⑦市民向け講演会	1	2
⑧友人や家族との会話を通じて	1	2
⑨SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど）	1	2
⑩テレビやラジオ	1	2
⑪動画配信サービス	1	2
⑫新聞、雑誌	1	2
⑬地域メディア	1	2

⑭その他（上記の手法以外で何かある場合はご自由にお書きください。）

問10 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策はどのようなものですか。あてはまる番号を2つまで選び、○で囲んでください。

- 1 地球温暖化に関する情報提供（広報誌やホームページなど）
- 2 学校での環境教育
- 3 地球温暖化に関する講演会などの開催
- 4 市施設などへの省エネルギー機器や再生可能エネルギーを利用した設備等の率先導入
- 5 市の公用車へのハイブリッド自動車や電気自動車などの電動車の導入
- 6 公共施設等における電気自動車の充電設備の設置
- 7 契約電力の脱炭素化
- 8 豪雨災害などの気候変動への適応
- 9 特になし
- 10 その他（具体的に： _____)

問11 その他、枚方市の地球温暖化対策等に関するご意見がありましたらご自由にお書きください。

A large rectangular area with horizontal dashed lines, intended for handwritten responses to the question above.

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

7.3 任意事業者アンケート調査票

地球温暖化問題に関する事業者意識調査 ご協力をお願い

事業者の皆様には、平素より枚方市の環境行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。枚方市では、2018（平成30）年度に策定した「枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の計画期間が2022（令和4）年度に終了することから、新たな計画の策定に取り組んでいます。計画の策定にあたっては、事業者の皆様にご協力いただき地球温暖化についての意識調査を行い、次期計画や今後の市の施策に反映していきたいと考えております。

この調査の対象者は、事業者の皆様から無作為に200社を選ばせていただきました。また、調査は無記名で、調査結果につきましてはすべて統計的に処理し、他の目的に使用することは決しておりません。

大変お手数ですが、この意識調査の目的、趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【記入上のお願い】

1. ご記入していただく方

- ・ご回答は、ISO や CSR の担当の方や総務担当の方に、事業所としての意向や取り組みについて、ご回答をお願いいたします。

2. 記入方法

- ・ご回答は、本調査票の回答の数字に○を付けて下さい。
- ・選択肢がひとつあるいは複数の場合がございます。また、ご回答によって以降のご回答項目が異なる場合もございますので、ご注意ください。

3. 提出方法

- ・ご記入いただいた本調査票は、**9月10日(金)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送頂きますようお願いいたします。(切手は不要です。)

4. 調査についてのお問い合わせ

- ・枚方市 環境部 環境政策室 TEL:050-7102-6009 FAX:072-849-1206

枚方市

I 貴事業所についてお伺いします。

問1 貴事業所の業種について、あてはまる番号を1㊦選び、○で囲んでください。

- | | | |
|-----------------|----------|-----------|
| 1 農業・林業・漁業 | 2 建設業 | 3 製造業 |
| 4 電気・ガス・熱供給・水道業 | 5 運輸 | 6 卸売業、小売業 |
| 7 金融業、保険業 | 8 不動産業 | 9 サービス業 |
| 10 教育、学習支援業 | 11 医療、福祉 | 12 情報通信業 |
| 13 その他(具体的に: | |) |

問2 貴事業所の形態について、あてはまる番号を1㊦選び、○で囲んでください。

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1 オフィス(自社保有) | 2 オフィス(賃借) | 3 店舗(自社保有) |
| 4 店舗(賃借) | 5 工場 | 6 物流倉庫 |
| 7 その他(具体的に: | |) |

問3 貴事業所の機能について、あてはまる番号を1㊦選び、○で囲んでください。

- | | | | |
|-----------------------|---------|-------------|-------|
| 1 単独事業所 ^{※1} | 2 本社・本店 | 3 支社・支店・営業所 | 4 その他 |
|-----------------------|---------|-------------|-------|

※1:他の場所に同一経営の本所(本社・本店)や支所(支社・支店)を持たない事業所をいう。

問4 貴事業所の従業員規模について、あてはまる番号を1㊦選び、○で囲んでください。

- | | | | | |
|--------|--------|----------|-----------|---------|
| 1 1~4人 | 2 5~9人 | 3 10~19人 | 4 20人~49人 | 5 50人以上 |
|--------|--------|----------|-----------|---------|

II 地球温暖化防止の取り組みについてお伺いします。

問5 貴事業所では、地球温暖化防止の取り組みをどのように位置づけていますか。あてはまる番号を1㊦選び、○で囲んでください。

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1 重要課題と位置付け、目標を設定している | |
| 2 重要課題と考えているが具体的な取り組みは行っていない | |
| 3 事業活動の立場からはそれほど重要な課題とは考えていない。 | |
| 4 その他(具体的に: |) |

問6 貴事業所では、温室効果ガス排出量の削減に向けて、削減目標や方針を定めていますか。次のうちあてはまる番号を1㊦選び、○で囲んでください。

- | | | |
|-------------|------------|------------------|
| 1 定めている | 2 現在検討中である | 3 今のところ取り組む予定はない |
| 4 その他(具体的に: | |) |

問7 貴事業所において取り組んでいる地球温暖化防止の取り組みについて、それぞれ1～3のうち、あてはまる番号を1☑選び、○で囲んでください。

項 目	取り組んだことがある		取り組んだ ことがない
	日頃から取り 組んでいる	時々、取り組 むことがある	
①冷暖房の適正な温度設定	1	2	3
②LED照明への切り替え	1	2	3
③クールビズやウォームビズの実践	1	2	3
④エコドライブの推進	1	2	3
⑤エコ通勤の実施	1	2	3
⑥従業員に対する環境教育	1	2	3
⑦敷地内の緑化	1	2	3
⑧環境負荷が少ない製品・サービスの調達	1	2	3
⑨ISO14001等の認証取得	1	2	3
⑩地球温暖化防止への社内体制の整備	1	2	3
⑪緑のカーテンの取り組み	1	2	3
⑫納入業者などへのグリーン配送への依頼	1	2	3
⑬ICTを活用した地球温暖化対策	1	2	3
⑭再生可能エネルギー由来の電力やグリーン電力証書の購入	1	2	3
⑮太陽光発電設備の設置	1	2	3
⑯蓄電池の設置	1	2	3
⑰プラスチックの使用削減	1	2	3

⑱上記の項目以外で何かある場合はご自由にお書きください。

問8 2020年10月に国は、「2050年までに二酸化炭素を含む温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを目指す」と宣言しました。この宣言により、貴事業所では地球温暖化対策への取り組み姿勢はどのように変わりましたか。次のうちあてはまる番号を1☑選び、○で囲んでください。

- 1 現在取り組んでいるが、より取り組もうという姿勢に変わった
- 2 現在取り組んでおり、継続して取り組む
- 3 まだ取り組んでいないが、今後取り組んでみようという姿勢に変わった
- 4 現在取り組んでいないし、今後取り組む予定もない
- 5 宣言を知らなかった

問14 <問13で「1 導入している」を選んだ事業者にお聞きします。>
 どのような設備、機器を購入していますか。あてはまる番号を**すべて**○で囲んでください。

- 1 太陽光発電システム 2 太陽熱利用システム
- 3 バイオマス利活用設備 4 蓄電池
- 5 その他(具体的に: _____)

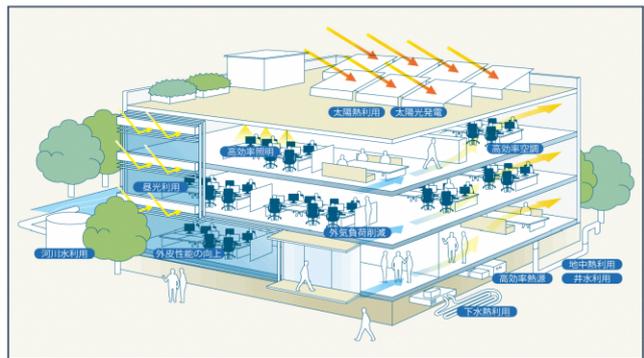
問15 <問13で「2 導入していない」を選んだ事業者にお聞きします>
 再生可能エネルギー設備、機器を導入していない理由について、あてはまる番号を**すべて**○で囲んでください。

- 1 コスト面での導入効果が不明 2 事業所全体での方針がまだ明確ではない
- 3 導入に必要な情報・ノウハウがない 4 現在の機器等がまだ使用できる
- 5 環境面での導入効果が不明 6 設置場所がない
- 7 維持管理にかかる労力が大きい 8 再生可能エネルギーへの意識・関心がない
- 9 周囲で導入しているところがない 10 施工事業者の選び方がわからない
- 11 太陽光パネルの反射光による近隣住民とのトラブルが心配
- 12 その他(理由: _____)

問16 「ZEB^{*4}」や「BEMS^{*5}」、「FEMS^{*6}」について、導入(または検討)していますか。あてはまる番号を**1つ**○で囲んでください。

- 1 導入している 2 導入していないが、導入を検討している
- 3 導入予定はない 4 どのようなものか知らない

※4: Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、「ゼブ」と呼ぶ。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。



ZEB の活用例

※5: Building Energy Management System (ビル・エネルギー・マネジメント・システム)の略称で、「ベムス」と呼ぶ。ビルの機器・設備等によってエネルギー消費量を管理するシステムのこと。

※6: Facility Energy Management System (産業施設・エネルギー・マネジメント・システム)の略称で、「フェムス」と呼ぶ。工場・プラント等の機器・設備等によってエネルギー消費量を管理するシステムのこと。

問17 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための以下の手法に関して、それぞれあてはまる番号をすべて選び、○で囲んで下さい。

手 法	活用している	活用していないが、 今後、活用をしたい
①広報ひらかた	1	2
②地球温暖化防止に関する啓発パンフレット	1	2
③環境イベント	1	2
④枚方市ホームページ	1	2
⑤市以外のホームページ（環境省や大阪府、環境団体など）	1	2
⑥事業所向けの説明会や講演会	1	2
⑦SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど）	1	2
⑧テレビやラジオ	1	2
⑨動画配信サービス	1	2
⑩新聞	1	2
⑪業界新聞、業界雑誌	1	2

⑫その他（上記の手法以外で何かある場合はご自由にお書きください。）

問18 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策はどのようなものですか。あてはまる番号を2つまで選び○で囲んでください。

- 1 地球温暖化に関する情報提供（広報誌やホームページなど）
- 2 事業者が実施している地球温暖化防止対策をPRする場の提供
- 3 事業所間での情報交換や連携の場の提供
- 4 市民・市民団体・事業者・行政の連携・協力による地球温暖化対策の推進の場の整備
- 5 省エネルギー機器や再生可能エネルギーを利用した設備等への補助金
- 6 市施設などへの省エネルギー機器や再生可能エネルギーを利用した設備等の率先導入
- 7 公共施設等における電気自動車の充電設備の設置
- 8 特になし
- 9 その他(具体的に: _____)

問19 その他、枚方市の地球温暖化対策等に関するご意見がありましたらご自由にお書きください。

A large rectangular area with horizontal dashed lines, intended for handwritten responses to the survey question.

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

7.4 枚方市地球温暖化対策協議会の事業者アンケート調査票

Web 回答用の表紙

地球温暖化問題に関するアンケート調査 ご協力をお願い

平素より枚方市の環境行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

枚方市では、2018（平成 30）年度に策定した「枚方市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の計画期間が 2022（令和 4）年度に終了することから、新たな計画の策定に取り組んでいます。

計画の策定にあたっては、市内事業者の 200 社を対象に実施しておりますアンケート調査とともに、枚方市地球温暖化対策協議会会員の皆様に地球温暖化についての考え方をお聞きし、計画に反映していきたくと考えております。

調査は無記名で、調査結果につきましては、会員と市内事業者 200 社は分けて集計及び統計的に処理し、他の目的に使用することは決してありません。

大変お手数ですが、この意識調査の目的、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【記入上のおお願い】

1. ご記入していただく方

・ご回答は、ISO や CSR の担当の方や総務担当の方に、事業所としての意向や取り組みについて、ご回答をお願いいたします。

2. 回答方法

・パソコン等から以下の URL にアクセスいただきご回答ください。

URL: <https://logoform.jp/form/H276/31605>

3. 回答の締切日

・**9月10日(金)まで**にご回答ください。

4. 調査についてのお問い合わせ

・枚方市 環境部 環境政策室 TEL:050-7102-6009 FAX:072-849-1206

枚方市

地球温暖化問題に関するアンケート調査 ご協力をお願い

平素より枚方市の環境行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

枚方市では、2018（平成 30）年度に策定した「枚方市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の計画期間が 2022（令和 4）年度に終了することから、新たな計画の策定に取り組んでいます。

計画の策定にあたっては、市内事業者の 200 社を対象に実施しておりますアンケート調査とともに、枚方市地球温暖化対策協議会会員の皆様に地球温暖化についての考え方をお聞きし、計画に反映していきたいと考えております。

調査は無記名で、調査結果につきましては、会員と市内事業者 200 社は分けて集計及び統計的に処理し、他の目的に使用することは決してありません。

大変お手数ですが、この意識調査の目的、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【記入上のおお願い】

1. ご記入していただく方

- ・ご回答は、ISO や CSR の担当の方や総務担当の方に、事業所としての意向や取り組みについて、ご回答をお願いいたします。

2. 記入方法

- ・ご回答は、本調査票の回答の数字に○を付けて下さい。
- ・選択肢がひとつあるいは複数の場合がございます。また、ご回答によって以降のご回答項目が異なる場合もございますので、ご注意ください。

3. 提出方法

- ・ご記入いただいた本調査票は、**9月10日（金）まで**に、同封の返信用封筒にてご返送頂きますようお願いいたします。（切手は不要です。）

4. 調査についてのお問い合わせ

- ・枚方市 環境部 環境政策室 TEL:050-7102-6009 FAX:072-849-1206

枚方市

I 貴事業所についてお伺いします。

問1 貴事業所の業種について、あてはまる番号を1㊟選び、○で囲んでください。

- | | | |
|-----------------|----------|-----------|
| 1 農業・林業・漁業 | 2 建設業 | 3 製造業 |
| 4 電気・ガス・熱供給・水道業 | 5 運輸 | 6 卸売業、小売業 |
| 7 金融業、保険業 | 8 不動産業 | 9 サービス業 |
| 10 教育、学習支援業 | 11 医療、福祉 | 12 情報通信業 |
| 13 その他(具体的に: | |) |

問2 貴事業所の形態について、あてはまる番号を1㊟選び、○で囲んでください。

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1 オフィス(自社保有) | 2 オフィス(賃借) | 3 店舗(自社保有) |
| 4 店舗(賃借) | 5 工場 | 6 物流倉庫 |
| 7 その他(具体的に: | |) |

問3 貴事業所の機能について、あてはまる番号を1㊟選び、○で囲んでください。

- | | | | |
|-----------------------|---------|-------------|-------|
| 1 単独事業所 ^{※1} | 2 本社・本店 | 3 支社・支店・営業所 | 4 その他 |
|-----------------------|---------|-------------|-------|

※1:他の場所に同一経営の本所(本社・本店)や支所(支社・支店)を持たない事業所をいう。

問4 貴事業所の従業員規模について、あてはまる番号を1㊟選び、○で囲んでください。

- | | | | | |
|--------|--------|----------|-----------|---------|
| 1 1~4人 | 2 5~9人 | 3 10~19人 | 4 20人~49人 | 5 50人以上 |
|--------|--------|----------|-----------|---------|

II 地球温暖化防止の取り組みについてお伺いします。

問5 貴事業所では、地球温暖化防止の取り組みをどのように位置づけていますか。あてはまる番号を1㊟選び、○で囲んでください。

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1 重要課題と位置付け、目標を設定している | |
| 2 重要課題と考えているが具体的な取り組みは行っていない | |
| 3 事業活動の立場からはそれほど重要な課題とは考えていない。 | |
| 4 その他(具体的に: |) |

問6 貴事業所では、温室効果ガス排出量の削減に向けて、削減目標や方針を定めていますか。次のうちあてはまる番号を1㊟選び、○で囲んでください。

- | | | |
|-------------|------------|------------------|
| 1 定めている | 2 現在検討中である | 3 今のところ取り組む予定はない |
| 4 その他(具体的に: | |) |

問7 貴事業所において取り組んでいる地球温暖化防止の取り組みについて、それぞれ1～3のうち、あてはまる番号を1☑選び、○で囲んでください。

項 目	取り組んだことがある		取り組んだ ことがない
	日頃から取り 組んでいる	時々、取り組 むことがある	
①冷暖房の適正な温度設定	1	2	3
②LED 照明への切り替え	1	2	3
③クールビズやウォームビズの実践	1	2	3
④エコドライブの推進	1	2	3
⑤エコ通勤の実施	1	2	3
⑥従業員に対する環境教育	1	2	3
⑦敷地内の緑化	1	2	3
⑧環境負荷が少ない製品・サービスの調達	1	2	3
⑨ISO14001等の認証取得	1	2	3
⑩地球温暖化防止への社内体制の整備	1	2	3
⑪緑のカーテンの取り組み	1	2	3
⑫納入業者などへのグリーン配送への依頼	1	2	3
⑬ICTを活用した地球温暖化対策	1	2	3
⑭再生可能エネルギー由来の電力やグリーン電力証書の購入	1	2	3
⑮太陽光発電設備の設置	1	2	3
⑯蓄電池の設置	1	2	3
⑰プラスチックの使用削減	1	2	3

⑱上記の項目以外で何かある場合はご自由にお書きください。

問8 2020年10月に国は、「2050年までに二酸化炭素を含む温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを目指す」と宣言しました。この宣言により、貴事業所では地球温暖化対策への取り組み姿勢はどのように変わりましたか。次のうちあてはまる番号を1☑選び、○で囲んでください。

- 1 現在取り組んでいるが、より取り組もうという姿勢に変わった
- 2 現在取り組んでおり、継続して取り組む
- 3 まだ取り組んでいないが、今後取り組んでみようという姿勢に変わった
- 4 現在取り組んでいないし、今後取り組む予定もない
- 5 宣言を知らなかった

問9 貴事業所における自動車の保有状況についてお尋ねします。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。また、()内にその保有台数についてもご記入ください。

- 1 ガソリン車(台) 2 ディーゼル車(台) 3 ハイブリッド車(台)
4 電気自動車 (台) 5 その他の自動車 (燃料電池車^{※2}など) (台)
6 自動車を保有していない

※2：燃料電池で水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーを使って、モーターを回して走る自動車のこと。

問10 <問9で「1 ガソリン車」、「2 ディーゼル車」のみを選んだ事業者にお聞きします。>
国は世界で供給する日本車を2050年までに電動車^{※3}100%にする目標を掲げていますが、電動車を所有していない最大の理由について、あてはまる番号を1を選び、○で囲んでください。

- 1 導入費用が高い
2 環境面での導入効果が不明
3 電動車ではないが、環境に配慮した自動車を購入した(軽自動車、クリーンディーゼル車など)
4 現在の自動車がまだ使用できる
5 ハイブリッド自動車や電気自動車などの電動車は、事業で必要がない
6 その他(具体的に: _____)

※3：動力源に電気を使う自動車のこと。電気自動車(EV)の他にハイブリッド車(HV)、プラグインハイブリッド車(PHV)、燃料電池車(FCV)の計4種類があり、ガソリン車に比べてCO₂の排出量が少ない。

問11 2016年4月に電力小売が全面自由化され、電気の購入先を選ぶことが出来るようになりました。そこで、貴事業所の電力会社を変更しましたか。あてはまる番号を1を選び、○で囲んでください。

- 1 変更した 2 変更していない

問12 <問11で「1 変更した」を選んだ方にお尋ねします>
電力会社を選ぶ際に、最も重要視した点は何ですか。最もあてはまる番号を1を選び、○で囲んでください。

- 1 CO₂排出量の少ない電気を供給しているか
2 再生可能エネルギー由来の電気であるか
3 地産地消(地域で生産された電気をその地域で消費)をしているか
4 料金が安くなるか
5 ガスや携帯電話など様々なサービスとのセット割引があるか
6 その他(具体的に: _____)

問13 貴事業所において、再生可能エネルギーを利用した設備、機器の導入状況についてお尋ねします。あてはまる番号を1を選び、○で囲んでください。

- 1 導入している 2 導入していない

問14 <問13で「1 導入している」を選んだ事業者にお聞きします。>
 どのような設備、機器を購入していますか。あてはまる番号を**すべて**○で囲んでください。

- 1 太陽光発電システム 2 太陽熱利用システム
- 3 バイオマス利活用設備 4 蓄電池
- 5 その他(具体的に: _____)

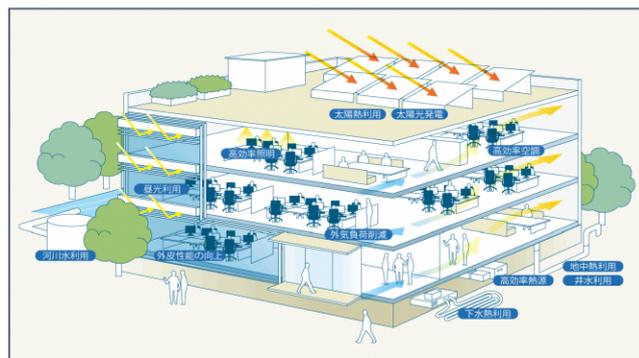
問15 <問13で「2 導入していない」を選んだ事業者にお聞きします>
 再生可能エネルギー設備、機器を導入していない理由について、あてはまる番号を**すべて**○で囲んでください。

- 1 コスト面での導入効果が不明 2 事業所全体での方針がまだ明確ではない
- 3 導入に必要な情報・ノウハウがない 4 現在の機器等がまだ使用できる
- 5 環境面での導入効果が不明 6 設置場所がない
- 7 維持管理にかかる労力が大きい 8 再生可能エネルギーへの意識・関心がない
- 9 周囲で導入しているところがない 10 施工事業者の選び方がわからない
- 11 太陽光パネルの反射光による近隣住民とのトラブルが心配
- 12 その他(理由: _____)

問16 「ZEB^{*4}」や「BEMS^{*5}」、「FEMS^{*6}」について、導入(または検討)していますか。あてはまる番号を**1**○で囲んでください。

- 1 導入している 2 導入していないが、導入を検討している
- 3 導入予定はない 4 どのようなものか知らない

※4: Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略称で、「ゼブ」と呼ぶ。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。



ZEB の活用例

※5: Building Energy Management System (ビル・エネルギー・マネジメント・システム) の略称で、「ベムス」と呼ぶ。ビルの機器・設備等によってエネルギー消費量を管理するシステムのこと。

※6: Facility Energy Management System (産業施設・エネルギー・マネジメント・システム) の略称で、「フェムス」と呼ぶ。工場・プラント等の機器・設備等によってエネルギー消費量を管理するシステムのこと。

問17 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための以下の手法に関して、それぞれあてはまる番号をすべて選び、○で囲んで下さい。

手 法	活用している	活用していないが、 今後、活用をしたい
①広報ひらかた	1	2
②地球温暖化防止に関する啓発パンフレット	1	2
③環境イベント	1	2
④枚方市ホームページ	1	2
⑤市以外のホームページ（環境省や大阪府、環境団体など）	1	2
⑥事業所向けの説明会や講演会	1	2
⑦SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど）	1	2
⑧テレビやラジオ	1	2
⑨動画配信サービス	1	2
⑩新聞	1	2
⑪業界新聞、業界雑誌	1	2

⑫その他（上記の手法以外で何かある場合はご自由にお書きください。）

問18 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策はどのようなものですか。あてはまる番号を2つまで選び○で囲んでください。

- 1 地球温暖化に関する情報提供（広報誌やホームページなど）
- 2 事業者が実施している地球温暖化防止対策をPRする場の提供
- 3 事業所間での情報交換や連携の場の提供
- 4 市民・市民団体・事業者・行政の連携・協力による地球温暖化対策の推進の場の整備
- 5 省エネルギー機器や再生可能エネルギーを利用した設備等への補助金
- 6 市施設などへの省エネルギー機器や再生可能エネルギーを利用した設備等の率先導入
- 7 公共施設等における電気自動車の充電設備の設置
- 8 特になし
- 9 その他(具体的に:)

問19 その他、枚方市の地球温暖化対策等に関するご意見がありましたらご自由にお書きください。

A large rectangular area with horizontal dashed lines, intended for handwritten responses to the survey question.

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

8. 自由回答一覧

8.1 市民アンケート調査

【問5】<問4で「1 拡大していると思う」を選んだ方にお聞きします>なぜそのように思いましたか。あてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

番号	内容
1	割りばしとか作るのに木を切ったからだと思ってる。
2	昆虫の出現時期が変わってきている
3	海外投資家達がカーボンニュートラルに注目し始めたため。
4	世界的に都市部に人口が集中し、そこから排出される熱が多くなった為。
5	海水温度が上昇している、台風が大型かしている。
6	春・秋が短くなったように思う
7	冬が暖かいこと。
8	2500～3000m位の山岳稜線の凹地では夏でも雪が見られたが近年では殆んど見られない
9	異常気象、海水温の上昇
10	氷河が溶けて後退している
11	海面上昇
12	夜になっても、水をまいても気温が下がらない。
13	四季ではなく二季（夏・冬）に近くなった。
14	玄関に置いていた鉢花が高温のため、途中で枯れるようになりました。以前はひと夏咲いておりました。
15	海水温の上昇
16	今まで獲れていた魚がとれなくなってスーパーに並ばなくなったこと
17	野菜の値上がりなど
18	世界的な海面上昇により国土面積に深刻な影響が出ている国がある。（キリバスやツバルなど）永久凍土が融解している地域がある。（北極、冷帯の一部など）
19	雪や霜等が無くなった
20	田畑の減少
21	四季がなくなって来た
22	寒暖差が大きくなっている。四季がずれて来ている。
23	サンマなどの不漁が続く。
24	暖冬、雪の降り方
25	最近、降雪日が殆どないこと。（積もる日なんてここ数年見られないですね。）
26	米の作付品種の変化、サングの白化、サンマの生息域の変化、1と2 関連
27	作物の実がなりにくい
28	生活好上により消費拡大（1人当たり）
29	日本が温帯から亜熱帯になってる
30	アスファルトが増えた
31	北海道でも”猛暑日”が発生している

番号	内容
32	北極や南極の氷がとけている
33	ゴミの量が増加しているのも一因
34	北極、南極の氷山が凍解し、海水面が上昇していること
35	雨のふり方が変わった
36	季節の境いがなくなり、春、秋が短くなった。野菜が高くなった。
37	冬に観葉植物が外でも枯れなくなった。
38	山火事の世界的増加、魚などの分布、生態系の変化
39	用水路に「藻」等がしげる様になっている
40	春期が短く、夏期が長くなったこと
41	北極の氷山が溶けている。南極で国々の地域争奪戦が起こってる。
42	雨量が増えた。竜巻の発生。春・秋が短かく感じる。
43	テレビによる情報で。
44	タバコを吸う人が多い（歩きタバコ、車内で）
45	四季がなくなりつつあるから
46	台風の大形化
47	熱中症のかかる人が増えた。
48	南極大陸の変化（氷）山火事オーストラリア他世界各地の地震大津波など
49	四季が感じられなくなった。春・秋が短い。
50	釣れる魚の種類が変わった
51	夏のエアコン使用代（電気代）が上った。
52	南極の氷が溶けていること
53	魚等が全々駄目。海草類も少ない。
54	降雪量が減った。40～50年前と比べると大いに異なっていることを実感。
55	海水温上昇により、魚の生息域が変化している
56	あき地やあき家になったら不動産家買って土地をいくつかに分けて住宅を建てている。これを認める市の行政が良くない。ゆとりのある土地に家を建てること。
57	流氷が溶けていること。
58	日本近海の海水温の上昇
59	いつか淀川が決壊して自宅が流されるのではないかと心配。大地震に襲われ家が倒壊するのではないかと心配。
60	漁業の環境が変わっているように思う。
61	日本に台風上陸も多く大きさも大きくなってきているのに加え竜巻や落雷などの被害も数多く発生しており、今まで被害のなかった地域などでも大雨の影響を受け土砂くずれや水害で沢山の方が亡くなっていること、又今までとれていた魚がとれなくなってきた事など。
62	サンマが食べられないため。
63	イカ、サンマの不漁
64	鮎の鯖が出るのが早くなっている。通常9月半ばのはすが8月後半に鯖がでてくる。
65	地球規模の気温上昇異常気象
66	世界各地の災害（自然災害、山火事、台風など）昔はこれほど毎回起きていない南極の氷がどんどん減っている。

番号	内容
67	台風の発生する場所が北の方になってきた。
68	シベリアの永久凍土が溶け出した、氷河が(ヨーロッパアルプス等)減少している等から
69	海面の上昇、健康への影響(熱中症、感染症)
70	雨量が増え災害だけではなく食物に影響が出ている(毎年)
71	魚のとれる場所が変わった。
72	空を見て天候の予測がつけられなくなった。
73	台風の激しさが増していること
74	南極・北極の氷がとける
75	海外の大森林火災
76	台風の規模が大きくなり進路も変わってきている海水の温度が上がり海流もかわり魚がとれなくなっている
77	積雪地方の積雪量が極端に少なくなった
78	春夏の時期が短くなった
79	四季がなくなってきたように感じる
80	冬、池の水がこおらなくなった
81	野菜や果物の価格の変化が大きい、むしろ値段が上がっている
82	氷山の面積の減少
83	平均気温の上昇
84	春夏秋冬の時期がくるってきている。ゴミが増えている。
85	自然災害が多発している。
86	海面上昇
87	山火事(海外)
88	秋の期間が短くなったと感じている
89	冬の寒さ、各季節の体感が、ずっとあたたかく感じられる。
90	地球上の多大なるヒートアップの為
91	海流などの変化で漁業の場でも変わってきている。
92	北極圏の氷減少
93	暖冬が増えたこと
94	海水温度の上昇、極地の氷の減少
95	カラスの急激な増加
96	さまざまなメディアが地球温暖化について発信しているため
97	気温の上昇に伴う偏西風の変化 気温のさらなる上昇、気象の変化、渇水、砂漠化、黄砂 漁獲高の変化(海水温の変化)
98	北海道の気温の上昇や沖縄地方の気温の変化など、気になる。
99	冬期も寒い期間が減った。
100	気候の変動が昔に比べて激しい
101	冬が氷点下になることが少なくなった。
102	北極の氷が異常な速さで解け出していること、森林破壊、都市化、種の絶滅
103	子供の時と比べると冬あたたかく夏あつい日が多くなった気がする

番号	内容
104	野鳥が夜中に泣いている（カラス）
105	花粉時期と黄砂、PM2.5等の公害物質飛来が重なる事が多い、花壇の小さな昆虫（トカゲ、てんとう虫、青ガエル、コオロギ等）の姿を見なくなった。
106	極東地域の海水温上昇
107	今年は特に8月に雨が多く、降ると滝のようなふりかたをする
108	降雪日数の減少
109	台風の上陸コースの変化と、台風の大型化
110	魚類の生域が昔より北へ延びている
111	降雪量が減った
112	日本の四季が少しおかしくなっているように思う
113	春や秋を感じられる時期が減った。
114	森林が少なくなっている（木の伐採、山を崩す）、戦闘などでの地下、海水の爆発も関係があるのかと思っています。
115	凍土溶解と海面上昇
116	一日おきの寒暖差が激しいこと

【問7】あなたが日常的に行っている地球温暖化防止の取り組みについて、それぞれ1~3のうち、あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

番号	内容
1	車はハイブリッド車にしています。（10年以上前から）エアコンの夏28℃は無理があります…冬はかけてない時が多いです。（大阪は比較的に暖かいので）
2	マスコミ等で発表されている温暖化の記事が本当なのかどうか、色々な人の意見を調べている。
3	暗くなったら早く寝る、明るい時間帯（電灯を使わない時間帯）に読書を読みます
4	京都でのCOP3以降も日本は真面目に目標達成に取り組んでいるとは思えない。
5	電気をこまめに消す、家の窓を二重窓にして冷暖房の省エネしている、TVのつけっぱなしをしない、宅配は配達の設定時間（午前午後等）
6	電気をこまめに消す、分別やリサイクルを行う。
7	毎日、庭の水まきを葉水までしっかり行っている。
8	地域の古紙回収に参加している。ゴミの量を減らしている（プラなど分別）。こまめに電気を消すようにしている。
9	リサイクルショップの活用。資源ゴミの分別（ペットボトルなど）
10	庭の管理が大変ですが、庭には沢山の木を植えております。
11	家庭菜園をしている。
12	カーテンを遮光・遮熱のものにしています。それを暑気対策に含まれるなら「1」ですが、含まれないなら「3」です。
13	ゴミの分別を心がけている。

番号	内容
14	NPO 環境保全団体にスタッフをしていた。
15	家を出る生ゴミは全てコンポスト等に入れ、畑で肥料として使用している。極力収集してもらいゴミ量を減らしている。また衣料について古くなったものは裁断してティッシュの箱に入れティッシュ代わりにこぼしたものをふくなどして利用している。
16	地球温暖化防止のための「個人でできるとりくみ」を発信し続けている。(Twitter など) 自作品の中で特にその点について読者に気づいてもらうようにしている(小説家です) 温暖化に限らず、健全な地球環境のために一人一人が考えるべきことを常に発信している。
17	自家用車をやめました。
18	車はハイブリッドを選んでいる
19	ゴミの分別、リサイクル BOX の活用
20	エアコン使用室を減らしたり、扇風機と併用。ソーラー発電の導入
21	資源ゴミを分けて、スーパーなどに持って行って分別ゴミ箱に入れている。リサイクルを心がけている。
22	国見山、白旗池、交野山への登山、ハイキング等を通じ、里山、森林、林、自然の大切さを実感している。
23	植木、プランター等植物を栽培している
24	自家用車をガソリン車からハイブリッド車に変更
25	食品は最後まで使い切り、食べる事を心がけて、ゴミにしない様になっている。
26	紙、プラスチックの分別回収を気を付けている。
27	エアコンなど持っていない。
28	北極圏・氷河の氷のニュースはいつも気にしている。
29	エアコンは使用していない、扇風機のみ
30	ポイ捨てをしない。
31	太陽光発電を設置している
32	早寝早起きを心掛けている。
33	窓に内窓(ペアガラス)設置と断熱効果向上、省エネ化
34	南部生涯学習センターで木工教室を担当して、間伐材、廃材の活用再生を行い市民の皆さんに楽しい木工教室を開催している
35	環境問題に関するパレードに参加したことがある。なるべく地域のお店、商品を購入している。
36	電気をこまめに消している
37	資源ゴミの分別など
38	太陽熱温水器を設置している
39	ゴミの分別、トレーやペットボトルなどスーパーにある回収 BOX に持って行くようにしています。

番号	内容
40	エアコンは使用していない。
41	ごみの分別をしている
42	家族の食事を残さないようにする。物を持ちすぎないように心がける。使い捨てはなるべくしない。
43	ハイブリッド車を使用。資源ゴミのリサイクル活動。エネファーム購入
44	車ででかけるのをなるべくへらす為買い物もまとめ買いをする様にし、エアコンも夜7時過ぎまで使用しないようにし、夏はシャワーですまし冬は2日に~3日に一度の入浴ですませる様にしています。入浴したお風呂の水は洗たくやお風呂場洗いに使用し、最後のしあげのみ水道水を使用しています。
45	ゴミはなるべく小さくして少量にしている。買物にビニール袋を最低減にする
46	フロの場(水)はバケツで汲んで植木にやっている。洗たく機や掃除すべて使い切る前にしている。枚方市が全口で一番暑い日があるが住宅が増え田んぼがへり雨の時の遊木場所がなくなったからではないか
47	電源タップはスイッチ付きを使用しこまめに on/off
48	まだ使用できそうな物はゴミとして出さず、リサイクル又は寄付などに出している
49	ゴミの出し方など心がけている、自分の出来る範囲でたえず心がけている
50	温暖化防止に強力に取り組む、リーダー的存在が必要
51	エアコン(暖房含め)、暖房材は極力使わず、公共施設(図書館、生涯学習センター等)で過ごすようにしている。また、移動時はコロナの関係も有り、もっぱら燃費の良いスクーター(平均 45km/l)を用いている。
52	地球温暖化防止に熱心に取り組む企業の商品・サービスを選択する。
53	枚方市の公園以外に、もっと緑化に取り組むべきである。住宅地には先ず緑化ありである。
54	エネファームを取り入れてガスと電気を一体化し、自家発電して電気代を抑えている
55	ゴミの量が最小限になるよう心がけています。
56	エアコンの室温夏は 27℃冬は 23℃室内の湿度を確認して必要な時にしか使いませんプラスチックの回収はできるだけするようにしている
57	ガソリン車から電気自動車に乗りかえた。
58	家庭台所生ゴミはポリ袋を不使用。チラシ等紙類を小袋にし再利用しています。
59	水道電気・ガス(光熱費)の節約
60	庭の手入れをしている。
61	SDG s に積極的に取り組む企業へ投資している。
62	出来るだけ 4 輪車を使わず 2 輪車を使用している。(廃ガス減少)
63	10 年間、地域で環境ボランティア活動をする為、ボランティア団体を発足し、地球温暖化の勉強会など実施してアルミ缶・ペットボトル回収ボランティアも 10 年続いてました。

番号	内容
64	会社での事業活動を通じて温暖化防止に取り組んでいる。
65	ごみの分別、減量
66	スマート家電を使用し、消し忘れなどないようにしている。
67	家庭内から出るゴミの削減を心掛けている。プラスチック等燃えにくい物は一般ごみの中に入れて分別ゴミとして決められた曜日毎に分別ゴミで出している。
68	ベランダに花類をおいている。ひまわり、アサガオ、その他季節に応じてる。
69	なるべくエアコンはガマンしている。
70	食品の使いきり、ゴミを少しでもすくなくする
71	ゴミ減量の取組み（リサイクル推進）
72	このような調査も Web で回答できればいいですね。
73	ゴミをできるだけ減らす様にしている。
74	選択肢があれば、地産地消をこころがけている。
75	ゴミ排出をできる限り意識して、廃品回収利用の機会を増やしたり、購入商品の使い切り、購入機会を減らす。
76	電動ではない自転車乗ってるだけでエコですね。私は、毎日自転車です。
77	ごみの削減のため、資源ゴミなどの分別を心掛けている。
78	買った食材は廃棄しないよう、食べ残しなどをしてゴミ処理による CO2 排出が少しでも増えないように努力しています。
79	古紙・アルミ缶・古着は自治会へ、ペットボトル・トレイ・牛乳パックは近所のスーパーに、使い終わった電池は図書館にある回収箱に入れてます。
80	光熱費の節約には夏風呂の水は水温の高いうちに入れておく。あまり温度も下がらない為、冬はダメですが。庭の散水も朝早くすると、かけた水が少しでも蒸発しないで地中に沈むかなと午前 3～4 時頃にしています。
81	ゴミの中から、リサイクルへまわせるものは、まわしている。（紙パック・プラスチックトレイ・ペットボトル等）
82	ゴミを減らすよう心がけている。
83	コンセントからコードをこまめに抜いている。

【問 12】 <問 11 で「2 導入していない」を選んだ方にお聞きします。>あなたのご家庭で、太陽光発電システムを導入していない理由について、あてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

番号	内容
1	高齢夫婦なので、先が短い
2	賃貸住宅なので導入できません。太陽光で蓄電できるラジオは使っています。

番号	内容
3	ソーラーパネル関連の評判の悪いニュースがあるから
4	取り組みとして大切なことだと思うが、切り替えるタイミングがなかった
5	施工に伴う打合せに時間を要する。
6	ごみがつまったり断線したりして故障する、台風の時大丈夫か不安
7	今のところ必要性がない
8	年金生活のため、とても無理です。また、築年数35年以上たつ家で断熱性がないので無理です。
9	設備投資した費用が回収できるとはとても思えないから
10	後付けによる屋根への負担
11	効率的な設置場所がない
12	家の建て替を考えているから
13	太陽光パネル設置で（重さ）家が耐えられるか心配
14	新築する場合は考えることがあると思いますが、現在は設置を考えておりません。
15	屋根の向きが十分な発電量にならなかった
16	夫婦ふたりで消費電力が普通。
17	太陽光発電システムに向いていない屋根のつくり（方角）
18	使用後のゴミの問題が心配
19	家が古く、高齢者世帯の為必要なし
20	屋根が小さい。
21	業者を信用できない
22	20年前に設置したが、10年前の買い替え時高価で、断念した。せっかく設営してあるのに、もったいなく思っている・・・
23	近々家屋の改築を計画しているため
24	自然の環境破壊をしてまでの設置には疑問あり。
25	家が古いので耐久性に疑問を感じた
26	府営住宅に住んでいますので考えた事はありません。
27	家が古く、重量に耐えられるかなどが不明
28	家の周辺でも設置している家がない。
29	導入しても、人生残り少ない
30	電気の買い取り価格が下がり、導入コストがかかって、元がとれないから。
31	現在、必要性を感じていないため

番号	内容
32	現在の住まいが古い為、建て替を検討している為
33	一度相談したことがあるが、設置面積を考えてあまり効果がなかった。
34	屋根に傾斜がある
35	団地なので考えた事がない
36	費用対効果が得られない
37	太陽光パネルの見積をしてもらったが日照時間が少くコストが合わない
38	災害時に住宅がこわれた際に太陽光発電パネルの電源が切断されず感電の危険有ると いう事例を聞いたため
39	太陽光の方がエネルギーを作る効率が悪いから。
40	現状で取り組む具体的な理由がない為。
41	温暖環境への効果がマイナスになると考えている。
42	メリット（コストに対する）が不十分
43	ガスのエネファームを導入している。
44	導入したいが（意志有り）家屋の構造上、不可
45	見た目が悪い。すぐに劣化する。
46	真夏は良いが冬場の発電量があやしいと感じる。導入費用等元を取るのに10年近くか かると結局替え時になるのでは？と考えたりも
47	屋根への負担が心配
48	買取り電力価格のダウン
49	使用量が少ない
50	新築するなら導入したいと思うが、その予定がない
51	太陽光発電には導入費用が高いのもあるが、これだけ天気が安定していない中、元が 取れるとは思えず理解に苦しむ。
52	国がやることと考えている。
53	導入されている方に反対されたため
54	FIT 制度に限界を感じるため。
55	高齢の為、家の処分も視野に入ってきた
56	住宅が古いため、長期間のプランに不向きかと思っている。
57	大阪ガスの電気をためる機械がある
58	家族間にも意見の相違がある。
59	意味がないから

番号	内容
60	住宅自体が老朽化して来ており、太陽電池パネルの重みに耐えれないと思う。
61	あれこれ取り入れず自然のままが良い気がする。
62	太陽光発電システムの事がわかりません。
63	夫婦だけの生活あまり必要ないと思う
64	導入後の維持管理費に不安を感じている
65	既に太陽熱温水器が設置してあり、設置スペースが足りない。また温水器だけでも省エネ効果が大きい。
66	独居老人なので費用の差を考えない（導入ありなしの差）
67	ソーラーパネルの質がもっと良くなってから導入したい
68	高齢者なので
69	費用、業者など心配
70	コストメリットが不明なのと家の耐震強度に不安があるので
71	太陽光の電磁波が強くて体に悪いと聞いたことがあるのでと今はないが太陽光の会社の売り込みが多くて困ったことあり
72	ランニングコスト高い！
73	導入の意志が無い
74	屋根に重量が掛り、雨漏の要件が増える維持費が掛る☆太陽光発電は数件設置して来たが良いとは思わない（元スーパーゼネコン設備担当者）
75	立地が不向きであるため
76	引越しの予定があるかもしれないから
77	家が古く、引越の予定
78	台風等暴風時に心配
79	業者の方に一度来家してもらい検討したが、屋根に問題があり無理という診断だった。次に立て直す時は取り入れたいと思っています。
80	一見、環境にいいように見えるが20、30年後廃業の問題が出てくる。
81	導入後の維持管理費もかかると聞く（故障する）
82	なかなか実行にうつせない。
83	周囲の人々からの口コミが良くない。
84	一人暮らしで80代中頃なので先が長くない為
85	永久的ではなく、電力的に不安定
86	パネルを廃棄した時のゴミ問題がなにもアナウンスされていないが、大変問題だと思うから。パネルの廃棄は環境負荷が大きいのです。
87	維持費が高い

番号	内容
88	メリットを感じない
89	採算性が悪いと思う。
90	大金をかけて何年使えるか、屋根の上に設置して不具合が出ないと言いきれるのか、など、問題が多く設置の検討にもものらないのが、現状です。
91	貸屋な為、自由に出来ない
92	家を建替え時（2004）住宅展示場で推奨するメーカーとそうでないメーカーがあり、年令的に65才を越えていたので導入しなかった。（オール電化）
93	発電システムが理解出来ないし、難しい。
94	台風でとんでいくことが心配だから。
95	興味はあるが行動できていない
96	リフォーム時に取り付けようと思っている
97	台風による風災の大きい土地のため、被害が有ったため
98	費用対効果が悪すぎる。
99	導入費用をペイできない。
100	家屋の築年数が古い為と、太陽光パネルの耐用年数にも不安あり。自身で点検出来ない場所でもあり、長期間的に不安面が多い。特に、施工業者選び、信頼度がなければ、後付け設置は出来ない。
101	パネル生産トップの国が環境問題に取り組んでおらず、使用済みパネル廃棄の問題を考えれば、太陽光発電システムが答えではないと考えます。
102	国としての全体の方向性が、実際に固まらなないと、効果が出ないと思う。エネルギー政策の混迷がある。
103	住宅の改築を検討している為
104	電力会社などが、個人の家を屋根を借りて、発電パネルを置けばよいと思う。農地や森をこわしてパネルを置いては、何のためのパネルかわからない。
105	新電力と謳う悪質業者の温床にしかなくなっておらず、国や自治体はその対策を組んでいないから
106	業者に見積依頼すると、屋根の大きさと向きが太陽光パネルに効果的でない、と言われた
107	導入をしたら何年に1回掃除をする必要があるか分からないから。
108	災害時の被害が懸念
109	導入費が高く電気の買い取り価格も安くなっていて、導入費がまかなえた頃には機器の買い替えの時期になるのでハードルが高いです。
110	ひとり暮らしのため、電力の消費は少ない、無駄はない
111	パネル設置に伴う家屋へのダメージの不安
112	数年後に撤去費用が必要
113	安定した電力供給ができるとは思えない。

番号	内容
114	買取価格が固定されなくなったため
115	充電設備に良い物が無い
116	販売価格が安い、安くなっていく

【問 14】 <問 13 で「1 ガソリン車」、「2 ディーゼル車」のみを選んだ方にお聞きします。>
 国は世界で供給する日本車を 2050 年までに電動車 100%にする目標を掲げていますが、電動車を所有していない最大の理由について、あてはまる番号を 1 つ選び、○で囲んでください。

番号	内容
1	電気自動車が正解ではない
2	高齢者の為
3	自動二輪車でかつ EV 仕様がないため
4	好きな自動車が電気自動車でない
5	車への興味や思い入れがそれほどない
6	充電エリアが少ない
7	ハイブリッド車を利用していたがバッテリーの交換にコストがかかりすぎた。
8	車に乗る回数が少ないため
9	知人より譲り受けたので
10	バッテリーがへたることによるランニングコストの上昇
11	電気ステーションが身近にない
12	コロナ下で、出掛ける機会も少なく近隣は全て歩くかママチャリで移動している。
13	電気自動車に乗りかえたいが充電場所不足が不安
14	会社から借りている車だから
15	同居人が好きな車を選んだのがガソリン車だったから。
16	あてはまる車がない軽商用車の為
17	まだ良くわからないので、色々な情報がない。
18	身近に充電可能な場所が無い
19	魅力的な車が無い
20	ディーゼルは仕事上荷物の送り必要なハイエース。ガソリン車は大型バイク。

番号	内容
21	ガソリンスタンドの様に全国にあまねくスタンドがまだないので不便なため。
22	電池の寿命
23	運転者（現在 78 才）が来年運転免許更新時期を迎える為、来年 9 月で軽自動車も手離す予定にしている。
24	まったく効果がない
25	2022 年 3 月に廃車する
26	自宅周辺に電動車用の充電施設がないため
27	維持費の低額なものが少ない
28	車には乗らない
29	充電設備が不十分
30	高齢なので、近い将来車を手離す事を考えている。
31	将来的には考えたい。今は電動車は市場でも選択肢が少ない。いつまでのれるのか。
32	電動車特有の部品や、電動車が使う電気などは環境負荷がかかっており、今の状況で本当にガソリン車に比べ、WelltoWheel など総合的に考え、電動車の方が環境的に優位か全くもって不明瞭だから
33	自宅に駐車場がないので、充電器を置けない。
34	そろそろ免許返納か？
35	電気のスタンドが少ない
36	週末ドライバーでありあまり遠出もほとんどしないため割高なエコカーは購入してもその分の効果があまり期待できない
37	家族が所有者のため
38	充電する場所が少ない
39	電気を発電するために、CO2 排出している現状を考えると効果が思いの他少ないのではないか？情報不足です。
40	燃料・エネルギーは現技術ではストレートに使うのが一番効率が良い。電気などは発電で CO2 が出る。
41	電力をつくり出す為に化石燃料を使用する為、結局同じことと考える。電磁波による健康被害を心配。
42	乗りたい車が対応していない。対応していたら電動にしたい。
43	電磁波が気になる。駐車場が賃貸で設備がない。
44	必要なし
45	製造から全体を通した環境への効果が十分証明されていない。
46	現在使用のガソリン車で、以前ハイブリッドに乗っていたが、燃費が悪く、初期（購入）価格で元がとれない為、ガソリン車に変更した。
47	次は、EVorHV にしたい

番号	内容
48	EV にしたくても、駐車場（マンション）に充電設備がない。
49	自動車という大きな買物を気軽にできる訳でもないし、いつまでも乗り続けるつもりで購入した。車1台どれだけのゴミになるのか。
50	電気自動車にしたいが、集合住宅のため、電源設置不可
51	充電に時間がかかりすぎ。電動車は走行距離が劣る。
52	移行段階で、まだ技術確立が不完全かつ自動運転への MIX を期待
53	免許返納(平成 29 年 3 月 10 日)
54	いくら補助金や税金優遇制度があっても車が高いうえ航続距離が短いうえ充電時間がかかるから
55	世の中の車が全て電動車になった場合、その電気はどうするのでしょうか。電力不足に落ち入りませんか。すべて電動車になった場合、これだけの効果があるというのを具体的に示してほしい。ガソリン車から出る CO2 を減らせても電気を創る際に CO2 を出していけば本末転倒となるように思います。(まさかの原発によるなんてこと言わないでしょうね。)
56	安定的電力供給体制(原発含む)充電ステーションの構築(都市部での充電時間と過疎地でのステーションの数)に不安バッテリーの供給体制に不安
57	余りむつかしい事は分からない
58	まだ使用できるし、来年引っ越すと共に車を電気自動車に替える
59	満充電で 500km 走れないから。
60	電気自動車の電気作成に CO2 が多く排出され意見ない
61	廃車したため。
62	メンテナンスコストが高い
63	充電出来るところが少ない
64	年齢的に後 3~4 年で免許返納する事になると思う
65	年なので最後まで乗る
66	今年 34 年目の車検をうける軽自動車を使用中です
67	みんながガソリン車だから電気自動車をあまり見ない。だから乗るのがこわい。なれないもののにのよゆうがない。
68	週末しか乗らない人にとっては導入費が高いが興味はある
69	好きな車種がガソリン車だった
70	知識がほとんどない為です。
71	駐車場を借りていて充電設備がない充電用発電に CO2 が出る
72	年令的に新しくかえる予定がない
73	火力発電が主体のため、ガソリン車の方が結果的に排出量が少なくなると考えられるため

番号	内容
74	電動車の基となる電力もその発電について疑問点があるから
75	電動車を利用する環境が整っていない
76	充電できる場所が少なく時間もかかるから
77	頻繁に使用しないし、ガソリン代の方がハイブリッドよりやすいから
78	年令の為（69才）今の自動車で終わりにします。
79	高令者であり次回免許証更新しない
80	昔からの車らしい車がなくなる事が残念だから。
81	運転できない
82	ハイブリッド車に変更予定
83	結局、電気にたよる事も、環境に悪影響
84	夫が選んでいる為
85	トータルコストパフォーマンス
86	後、数年で返納の予定（免許証）
87	高齢により再購入の予定なし
88	購入車種にハイブリッド車がなかった
89	5年後には、車を廃車する
90	来年の免許更新時に返納し自動車も処分するので。
91	導入は検討している。
92	荷室の大きさが自身の求める大きさに合っていない
93	走れるキョリが短い
94	実用に耐えると思えない
95	危険を感じる。例えば、エンジン音が聞こえず、年配の方が車に気づけないこと。
96	安全性や急に止まったりしないか心配。
97	免許返納する時がきたから
98	居住するマンションに電源設備がないため
99	デザイン等好みではない。
100	現状の充電施設の少なさに不安を感じる
101	思うように電気自動車のインフラが進んでいない
102	今の使用状況ではガソリン車の方がコストが低いため（土・日・休日のみ運転）

番号	内容
103	まだ使える事もあるが、次回買い替え時はハイブリッド車の予定
104	後期高齢者で返上しましたが、災害の折に自動車からの電源として電気自動車を活用出来ないかと考えた事があります。
105	ガソリン車は子供の分です。
106	次回購入時はハイブリッド車
107	今後1年強で免許返納を考えている
108	免許返納を考えている
109	遠方に出かけた際、充電に時間がかかり、充電場所も少ない
110	給電できる設備が現段階では少ない。ハイブリッド車にしてもイニシャル増分を回収できない。年間約一万キロ。
111	乗りたい車にハイブリット車がない
112	もうすぐ使用しなくなるから

【問16】「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための以下の手法に関して、それぞれあてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

番号	内容
1	社内の社員向け研修会
2	書籍
3	小学生の娘の学び（小学校の授業）
4	積極的に自らが情報を取りに行くことはない。ニュースや雑誌等で見かければ聞く・読む程度。（地球温暖化問題が自分にとって優先上位ではないため）
5	本・書籍
6	海外の NEWS サイト、論文のサイトなど、根拠がちゃんとしているメディア
7	学校の授業
8	Yahoo ニュースなら毎日見る
9	自分から積極的に情報を取得することはないと思う。（めんどくさいし、時間がない）広報ひらかたのようにポストに入れてくれたり、テレビでニュースを見ている時にたまたま流れたりしたら、見る。
10	書籍
11	勤務先の開発部門や CSR 部門・工場などが発信している情報、他の企業のホームページ
12	地球温暖化対策の情報を取得するためとあるが、地球温暖化対策の情報を取得しようとしたことがない。
13	学校教育、企業研修等も活用されるべき

番号	内容
14	各市各広報はみているが通り一辺倒の内容で、市議会の質問などに力が入った具体的な内容は少ない。
15	友人の交流会を利用して情報の交換を心掛けている（ライン・Eメールを活用）
16	大学の講義
17	情報に必要性を感じない
18	会社のSDGsの取り組みなど
19	インターネットニュース
20	書籍
21	公益社団法人”におい・かおり環境協会” 会員、この組織を遺して、環境情報業収集している。
22	地域に合った、こまめで分かりやすい広報してほしい
23	学会(化学系)
24	全てあてはまらない
25	特に取得する気は無いが、テレビ等でさかんに放送されれば行う事もある。（例）エコバッグも興味がなかったが、店やテレビで有料になると聞き、とり入れた。
26	職場でSDGs、カーボンニュートラルに取り組んでいるので勉強会が定期的にあります。
27	インターネット、関連サイト
28	JW.ORG から
29	社内報
30	勤務先での取り組み
31	義務教育下でも、現在でもホームルーム授業等の時間があるかどうか解らないが、子どもたちからの環境問題の知識教育が必要ではないかと思います。
32	インターネットでのニュースが多いですね。
33	会社内
34	科学教養講座での学習
35	会社内での教育

8.2 高校生アンケート調査

【問2】あなたは地球温暖化についてどこで知りましたか？あてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

番号	内容
1	書籍
2	塾
3	家族や友達との会話
4	自身の体感
5	映画
6	ニュース
7	学校などに貼られた啓発ポスター
8	ボーイスカウト、ガールスカウト
9	街頭広告

【問4】<問3で「1 拡大していると思う」を選んだ方にお聞きします>なぜそのように思いましたか。あてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

番号	内容
1	森林などのばっさい
2	水位の上昇
3	春や秋といえる期間が短くなっている。
4	例年より暑い期間が長い
5	10月でも暑い
6	買い物をする時にふくろが無料じゃない所が多くなっていること。
7	四季が消えていっている。冬が短く夏がながい。
8	不作が増えて値上げされている。
9	学校の授業でならった
10	山火事
11	氷山が融けている、崩れる。
12	氷山が無くなってきているから
13	先生が言っていた。
14	海外の山火事が多くなった。
15	排気ガスをみんな出し続けている。
16	南極の氷が少しずつ溶けていること。
17	水深上昇
18	氷がどうのこうのというニュースをテレビで見た
19	ポイ捨て

番号	内容
20	暑いと思う日が増えたこと。
21	北極などの氷がとけて、海の水位が上がること
22	学校で言ってたから
23	10月に30度以上になる。
24	北極や南極の氷が融けた
25	カメムシが多くなった
26	海面上昇、オゾン層の破壊
27	野菜などの高値、魚が獲れない、ツバルなど島国の危機
28	南極の氷が溶けてきている
29	北極の氷
30	季節違いの気温
31	台風の大型化
32	SNS でカナダの野生のホッキョクグマが死にそうなのを見た。
33	南極の氷が解けていると聞いたから
34	どんどん暑くなってる気がする。
35	そんな気がするから
36	ごみが増えた
37	大人の人たちが昔はこんなに暑くなかったって言っていたから
38	南極の氷が融けて海の水位が上昇していること。
39	授業である島が温暖化のせいで水で沈んでしまうこと。
40	虫の時期がずれているから。
41	テレビで前より少し取り上げられていることが増えた気がする
42	水位が上がっている。
43	海の水位が上がった。
44	夏の採れる果物が増えて、冬に採れる果物が減ったから。
45	工場などの排出物
46	工場からの排気ガスから温暖化が進んでそう
47	暑い
48	暑い時期が長い
49	ニュースで見た
50	排気ガス
51	オゾン層が薄くなってきている
52	森林が伐採されたから
53	車とかタバコとかCO2は減ってないから。
54	秋なのにあつい
55	10月になっても暑い
56	虫

番号	内容
57	牛のゲップ
58	アイスがすぐ融ける
59	排気ガスが増えた
60	秋の季節になっても暑い
61	海面上昇していること。
62	北極や南極の氷が融けてどんどん小さくなっているから。
63	北極や南極の氷が融けてホッキョクグマなどの命が危ないこと。
64	海面上昇
65	山火事のニュースをよく聞くようになった。
66	普段よりも夏が暑くて、冬が寒いように感じるから。春、秋の期間が減ったように感じるから。
67	南極の氷が解けて沈みそうな国（ツバルなど）があること
68	ニュースでよく見る
69	冬も暖かい
70	南極大陸の氷が解けて海の水位が上がったこと。
71	水位上昇
72	春と秋が短い
73	焼き畑農業のやりすぎ、ごみ工場の排出ガス、北極の雪が年々融けてきているから
74	氷がとけた
75	ニュースでたくさん見るから。
76	サンゴ礁白化のニュース
77	シロクマが困っている。
78	秋がない
79	北極の氷が溶け、水面が上昇している。
80	秋でもすごい暑い日があること
81	9月や10月が昔よりも暑くなっていると思う
82	南極の水が溶けて水位があがる海にいる魚
83	ニュースで各地の自然災害をよく聞くから
84	気温が変動しやすいこと。
85	テレビとかで、拡大していると聞くことがあるから
86	ツバルなどの島が水没してきているから。
87	南極の氷
88	冬が寒すぎる。
89	冬の寒さが始まるのが遅い。
90	明確な四季の変化を感じなくなったこと。
91	北極の氷などが融けている。
92	授業で習ったから

番号	内容
93	病が多い
94	北極の氷の面積が減っている
95	これまでとは異なる気候変動
96	近い未来海面上昇によりなくなってしまう国があるから
97	SDGs に環境問題が入っているから。

【問6】あなたが日常的に行っている地球温暖化防止の取り組みについて、それぞれ1~3のうち、あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

番号	内容
1	レジ袋をもらわない
2	ごみを分別しごみ箱へ捨てている
3	ポイ捨てをしない
4	使わない部屋の電気を消したりパソコンを省エネ設定にしたりするなど小さいことに取り組んでいます。
5	SDGs の学習
6	中学校で本格的に地球温暖化に取り組んだことがあったので、どれだけ大事なこともよく勉強してきました。
7	どんぐりを育てて木（なえ）ができれば埋めていく（その施設に）
8	エアコンや扇風機はなるべく使わないようにしている。
9	枚方市環境部主催のワークショップに参加した。
10	節電、地球温暖化防止のための呼びかけ（意識づけのための）
11	階段を使う
12	ディスカッションして常に地球環境が極めて危険ということを忘れないようにしている。

【問9】「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための以下の手法に関して、それぞれあてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

番号	内容
1	書籍
2	枚方市外在住のため、他市広報

【問 10】今後、枚方市に期待する地球温暖化対策はどのようなものですか。あてはまる番号を2つまで選び、○で囲んでください。

番号	内容
1	コロナ対策のための休校措置等
2	ぼうふうだけでなく大雨でもやすみになるようにしてほしい。普通にこわいから。
3	タブレットを活用することによって、紙の使用を抑える。
4	もっと他にすべきことがあると思います。
5	草木を増やす
6	期待していないし、するとも信じていない。信じているのは「可能性」のみである。
7	全てすべき
8	学生に地球にやさしいものを作る機会をつくる。
9	思い込みの修正、正しい情報の提供。
10	ボランティア活動

8.3 事業者アンケート調査

【問5】 貴事業所では、地球温暖化防止の取り組みをどのように位置づけていますか。あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

■任意事業者

番号	内容
1	コロナ対策のため取り組めない
2	事業と温暖化は直接関係しない
3	管理者である大阪府の意向により決定

■枚方市地球温暖化対策協議会

番号	内容
1	リサイクル消火薬剤の使用促進等による温室効果ガス排出量削減の取り組みを行っており、重要課題の認識はあるが、目標は未設定。
2	節電を心がけている。

【問6】 貴事業所では、温室効果ガス排出量の削減に向けて、削減目標や方針を定めていますか。次のうちあてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

■任意事業者

番号	内容
1	本社主導で紙の使用量、電力使用量等前月比、前年比でチェックしている
2	現業態での取り組み方がわからない
3	数値としては定めていないが、努力している

■枚方市地球温暖化対策協議会

番号	内容
1	具体的な数値や目標は定めていないが、意識としては持つように呼びかけている

【問 7】 貴事業所において取り組んでいる地球温暖化防止の取り組みについて、それぞれ 1～3 のうち、あてはまる番号を 1 つ選び、○で囲んでください。

■任意事業者

番号	内容
1	農薬、化学肥料、除草剤等を買わない。使わない。
2	業態上、資源ゴミの分別にはしっかり取り組んでいる。

■枚方市地球温暖化対策協議会

番号	内容
1	ガス器具は一切使用せず、オール電化にしている。
2	プラスチックを含む産業廃棄物の再利用及び有価化推進
3	レジ袋削減取組
4	遮熱塗料・遮熱フィルム・センサーライト・模擬蛍光灯・共有エリア消灯・昼休憩時事務所, 工場内の消灯
5	老朽化更新に併せたトップランナー等の省エネ設備の導入
6	エコドライブが安全運転や事故防止につながるという解釈で取り組んでいます。
7	製造過程でのロスを最小限にする。

【問 10】 <問 9 で「1 ガソリン車」、「2 ディーゼル車」のみを選んだ事業者にお聞きします。

>国は世界で供給する日本車を 2050 年までに電動車※3100%にする目標を掲げていますが、電動車を所有していない最大の理由について、あてはまる番号を 1 つ選び、○で囲んでください。

■任意事業者

番号	内容
1	軽トラックに電気自動車はない。
2	ペースメーカーをしている人間がいるので導入できない
3	本社の意向のため事業所では不明

■枚方市地球温暖化対策協議会

番号	内容
1	年齢的に免許返納時期にきているので
2	9 月末に返却予定
3	商品名でダメ（トラック）

【問 12】 <問 11 で「1 変更した」を選んだ方にお尋ねします>電力会社を選ぶ際に、最も重要視した点は何ですか。最もあてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

■任意事業者

番号	内容
1	仕事関連

■枚方市地球温暖化対策協議会

その他の意見はなかった。

【問 14】 <問 13 で「1 導入している」を選んだ事業者にお聞きします。>どのような設備、機器を購入していますか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

■任意事業者

その他の意見はなかった。

■枚方市地球温暖化対策協議会

番号	内容
1	ポータブル電源
2	ヒートポンプによる熱利用

【問 15】 <問 13 で「2 導入していない」を選んだ事業者にお聞きします>再生可能エネルギー設備、機器を導入していない理由について、あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

■任意事業者

番号	内容
1	業者にみていただきましたが、置く場所が狭くなる等の理由で断念しました。
2	当労組の取り組みに入っていない
3	テナントの為ディベロッパーに任せています。
4	賃貸の為
5	賃貸物件のため選択肢がない
6	小規模すぎて考える事なし
7	となりに大きな病院が太陽光発電効率が悪い
8	大阪府管理施設のため当社所有の施設がないため

■枚方市地球温暖化対策協議会

番号	内容
1	勉強不足のため、知識が少ない。
2	通常のオフィスビルなので LED 照明への変更以外にやることがない。
3	差し迫った必要性を感じず、情報収集や導入検討に時間、労力を割けない。
4	太陽光を検討した際に屋根の強度が足らずに断念した。
5	商業ビルに賃貸で入っており、電力は自社で契約していない
6	テナントで入居しているため、施設の方針に従っている

【問 17】「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための以下の手法に関して、それぞれあてはまる番号をすべて選び、○で囲んで下さい。

■任意事業者

その他の意見はなかった。

■枚方市地球温暖化対策協議会

番号	内容
1	環境基本法など法令改正情報企業と契約。
2	会社（本社）からの情報提供
3	環境への取り組みが進んでいる企業の方を講師にお招きし、社内講演会を開催する

【問 18】今後、枚方市に期待する地球温暖化対策はどのようなものですか。あてはまる番号を 2 つまで選び○で囲んでください。

■任意事業者

番号	内容
1	ごみ半減がまったく絵に書いたもちである。(堆肥化に限らず) 生ごみの有効利用を計ることで日本中のごみは簡単に半分になる。実施して立派にやっている市町村は実在する。枚方市も見学や意見交換ではなく、見本、お手本になる日本一の市にしてほしい。

■枚方市地球温暖化対策協議会

番号	内容
1	個人の事業主が、『小規模な店舗付き住宅』を『ZEB』Net Zero Energy Building に建て替えることを補助したり、小規模な『ZEB』建設ができる業者との仲介や、モデル住宅として見学可能なものにすることで、比較的安価に建設することができるようなプランの提案や仲介。